

伊豆半島満足度調査事業 観光アンケート分析業務 調査結果

2025年3月



観光アンケート調査結果

アンケート調査概要

◆調査の考え方・調査方法

対象 伊豆半島に来遊する旅行者

調査主体 美しい伊豆創造センター 分析（委託）：株式会社JTＢ総合研究所

期間 2024年6月29日～2025年2月28日

方法

- ・伊豆半島内の観光関連施設に二次元バーコードを掲載したポスター及びチラシを配架
- ・関心ある旅行者が任意でWeb回答
- ・アンケート参加にあたり特定の条件無し
- ・回答協力を促進するため、伊豆半島の特産品を抽選で提供
- ・ポスターやWEBの表示言語は日本語のみ（主に日本人を対象）

集計

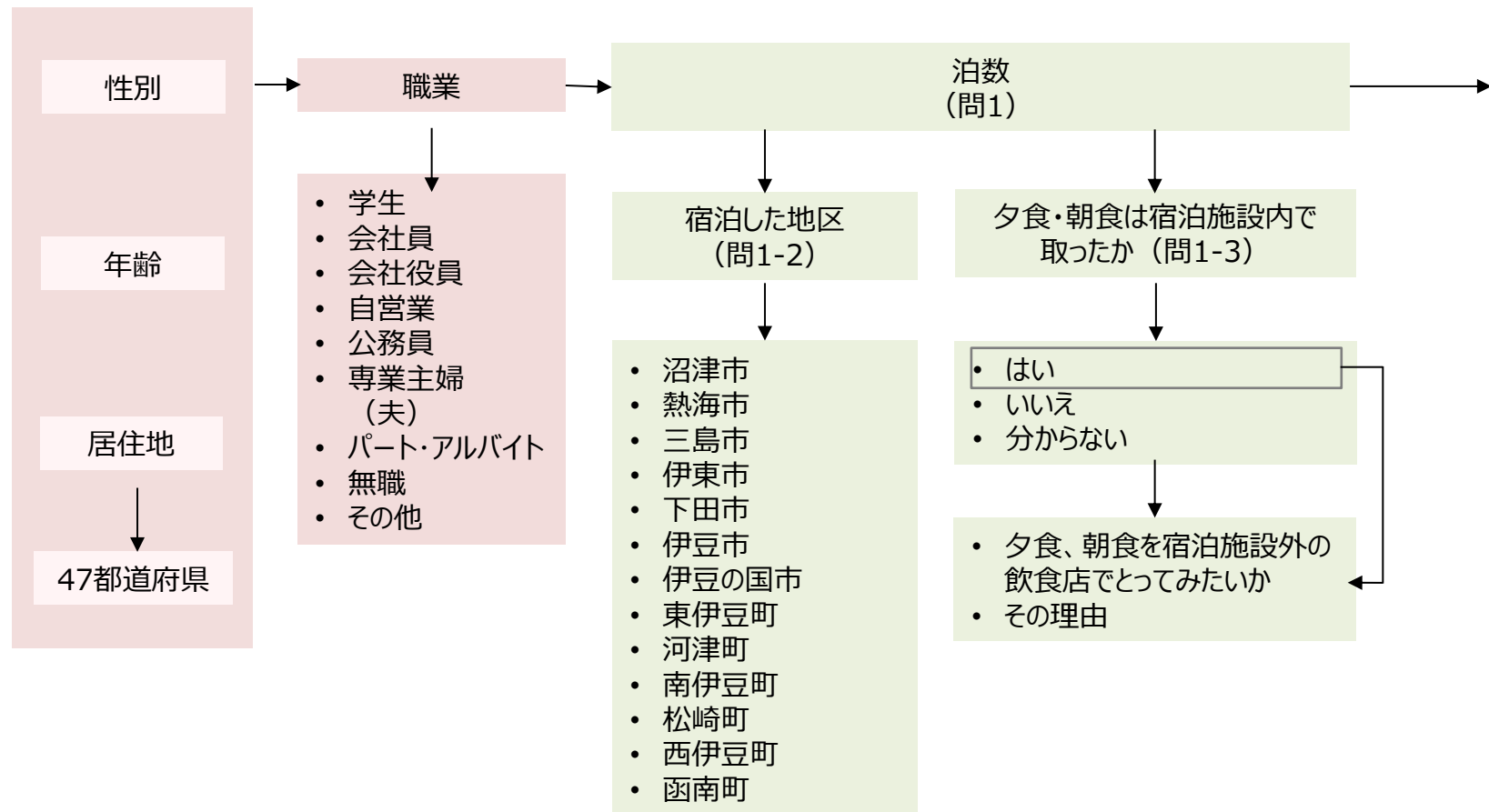
- ・回答ルールから逸脱、矛盾したものや極端な値等をクリーニング
- ・地域的な回答の偏りの補正なし、期間中の当条件下での自然回答として集計

有効回答 1,564人の有効回答を得た

その他 この方法による来遊客の行動・動態に関するデータ収集は一例であり、位置情報や決済情報等のデータベースの活用を妨げるものではない。地域や事業上の課題や特性を踏まえつつ、持続性あるデータ収集分析体制と地域経営に資するデータ構築の一助とすることを念頭に実施

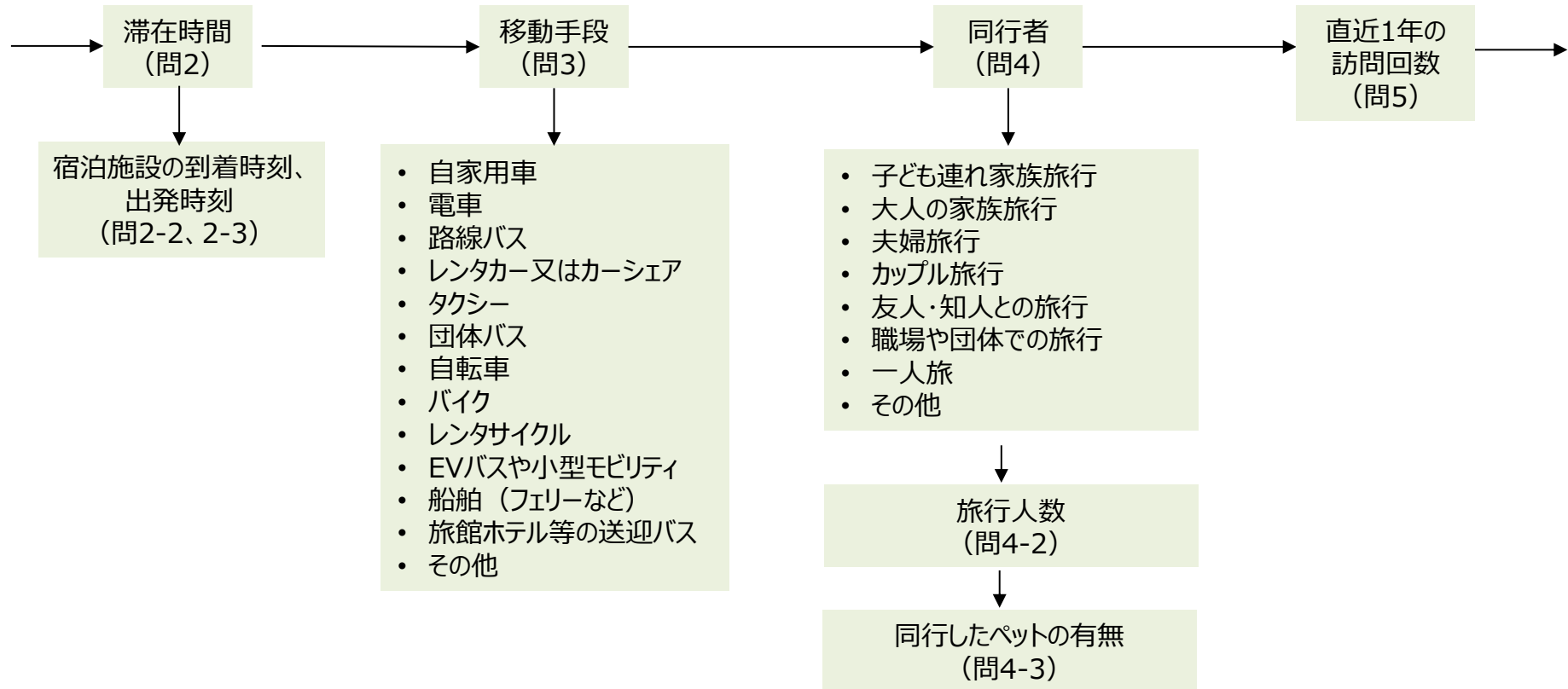
アンケート調査概要

調査設問フロー①



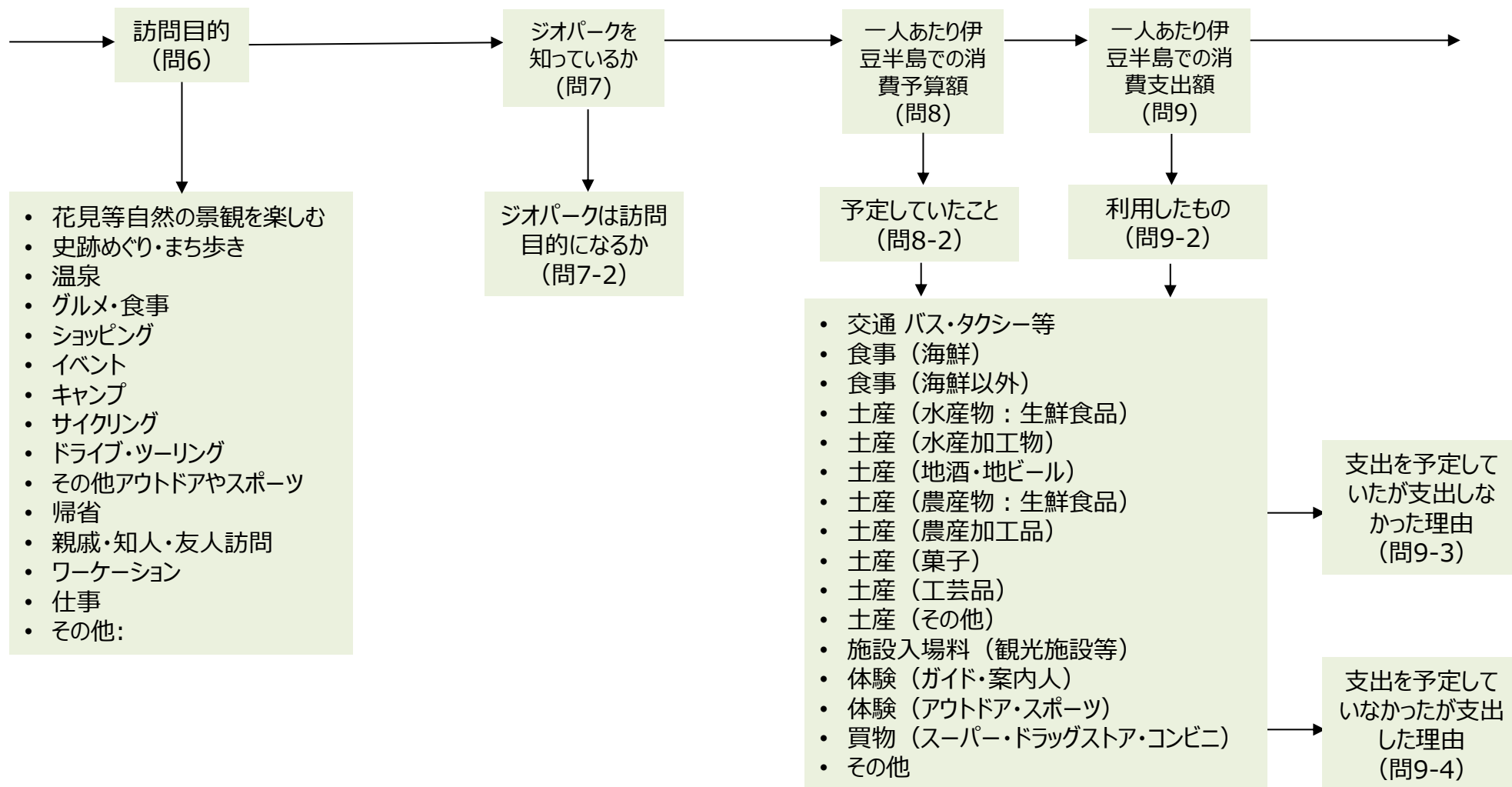
アンケート調査概要

調査設問フロー②



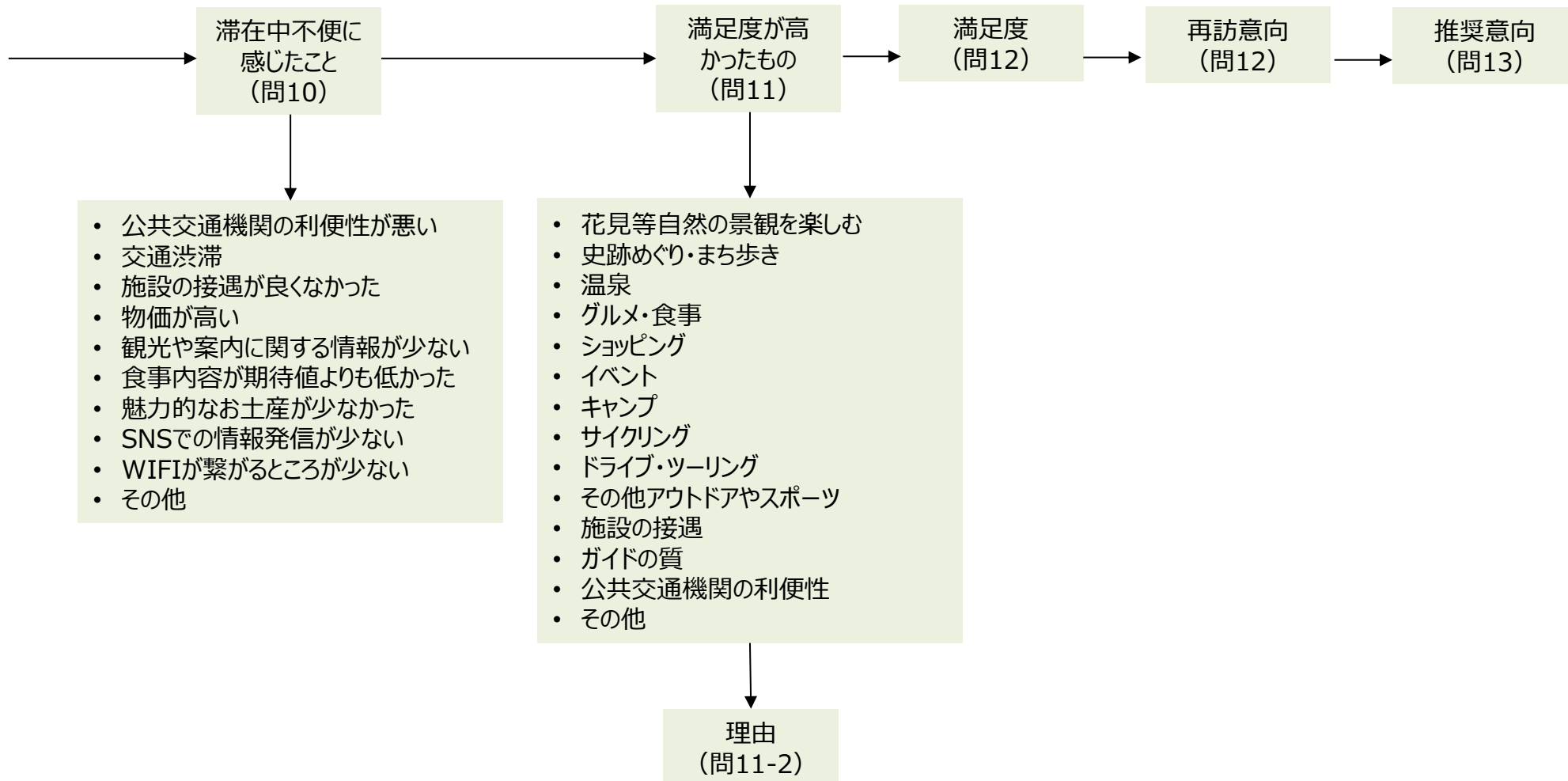
アンケート調査概要

調査設問フロー③



アンケート調査概要

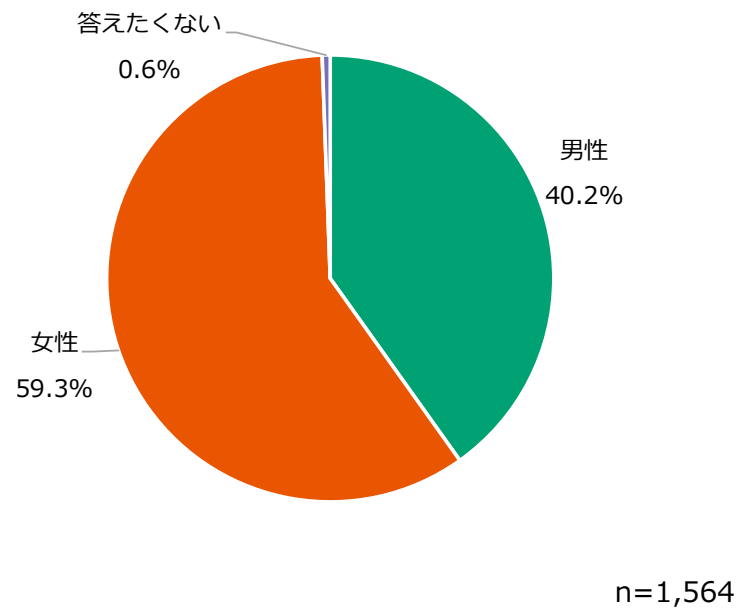
調査設問フロー④



観光アンケート 回答結果（単純集計）

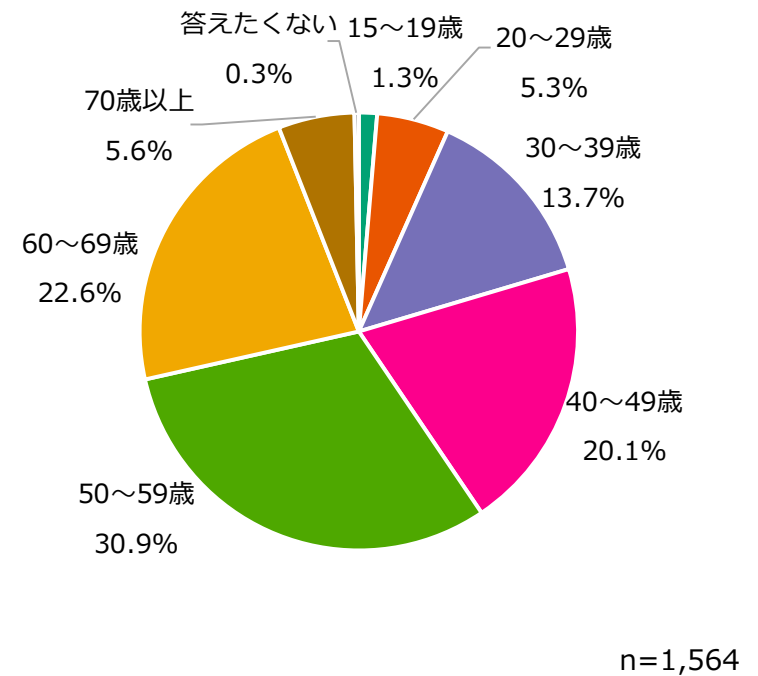
性別

- 女性が多く、59.3%を占めた。



年齢

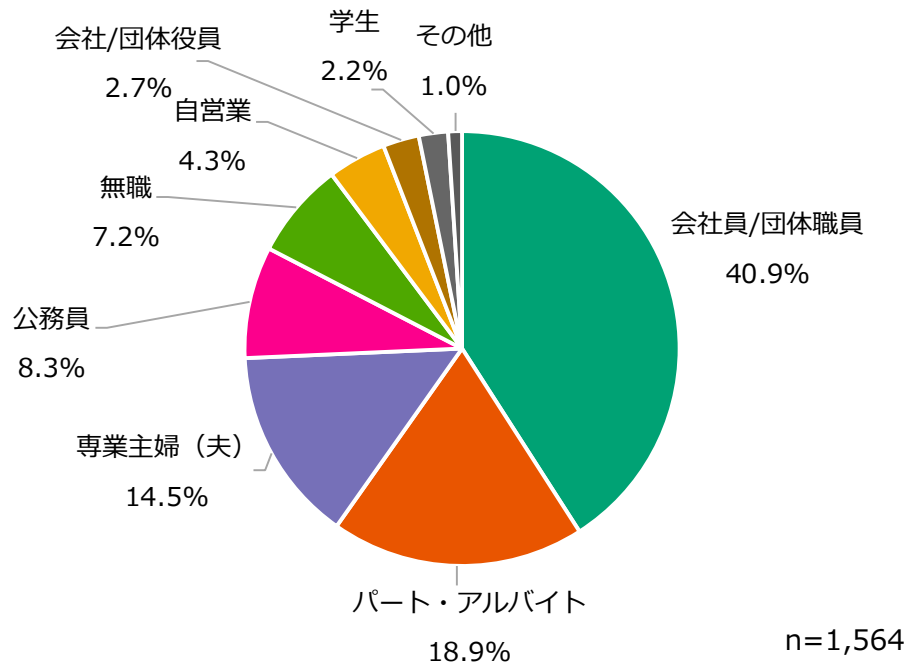
- 50代が最も多く、30.9%を占めた。
- 次いで60代が22.6%、40代が20.1%となっている。



観光アンケート 回答結果（単純集計）

職業

- ・ 会社員/団体職員が最も多く、40.9%を占めた。
- ・ 次いでパート・アルバイト、専業主婦（夫）の順となっている。

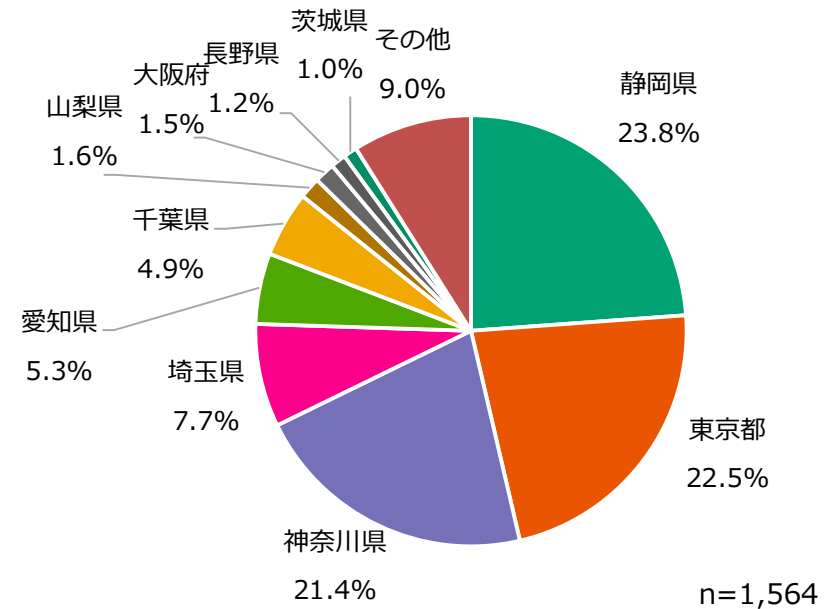


【その他】※回答数の多い順

派遣社員（4名）、フィットネス（1名、以降同じ）、フリーランス、介護士、会計年度任用職員、保育士、兼業主婦、医師、契約社員、建設作業員、看護師、自由業

居住地（都道府県名）

- ・ 静岡県23.8%、東京都22.5%、神奈川県21.4%と上位を構成する。



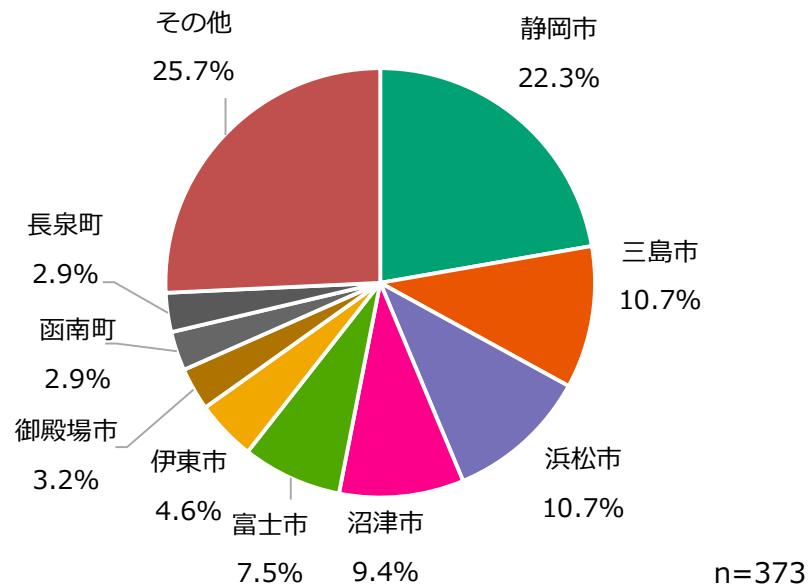
【その他】※回答数の多い順

京都府、兵庫県、群馬県、栃木県、新潟県、福島県、北海道、岐阜県、石川県、奈良県、滋賀県、福岡県、三重県、宮城県、岡山県、広島県、佐賀県、富山県、山口県、岩手県、大分県、島根県、徳島県、沖縄県、福井県、秋田県、青森県、香川県

観光アンケート 回答結果（単純集計）

静岡県に居住している場合の市町名（単一回答）

- ・ 静岡市が最も多く、22.3%を占めた。次いで三島市および浜松市が10.7%となっている。
- ・ その他では、沼津市や富士市、伊東市などが多い。

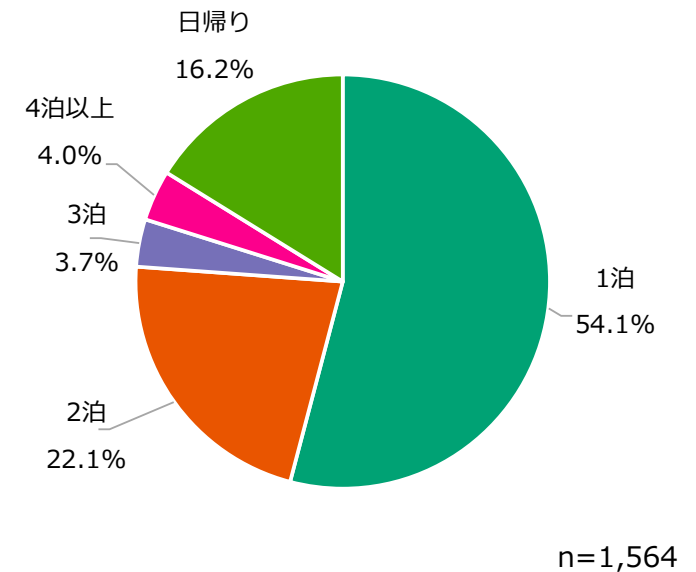


【その他】※回答数の多い順

下田市、富士宮市、磐田市、伊豆の国市、藤枝市、伊豆市、掛川市、清水町、裾野市、島田市、東伊豆町、熱海市、河津町、焼津市、小山町、牧之原市、松崎町、森町、湖西市

問1. 今回の旅行で伊豆半島に何泊しましたか。（単一回答）

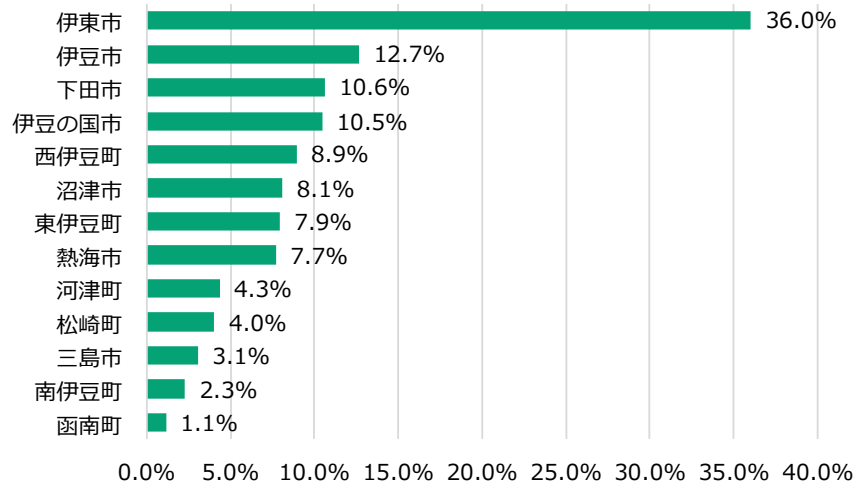
- ・ 1泊が最も多く、54.1%を占めた。
- ・ 次いで2泊が22.1%、日帰りが16.2%となっている。



観光アンケート 回答結果（単純集計）

問1-2. 今回の旅行でどこに宿泊しましたか。（複数回答）

- 宿泊者の中では伊東市での宿泊が最も多く、36.0%を占めた。
- 次いで伊豆市が12.7%、下田市が10.6%となっている。

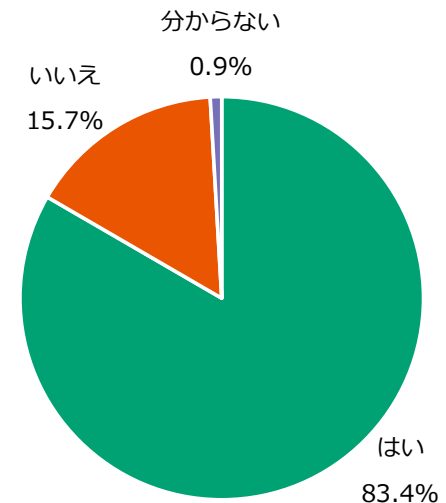


n=1,311

※地理的な偏りは補正しない

問1-3. 夕食・朝食は宿泊施設内でとりましたか。（とる予定ですか）（単一回答）

- 「はい」が圧倒的に多く、83.4%を占めた。
- 「いいえ」は15.7%となっている。

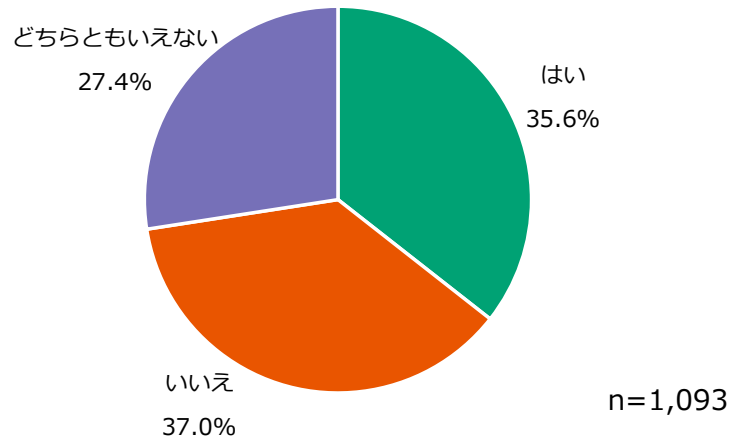


n=1,311

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問1-4. 問1-3で「はい」とお答えした方に伺います。夕食、朝食を宿泊施設以外の飲食店でとってみたいですか。（単一回答）

- 「はい」35.6%、「いいえ」37.0%で、1.4ポイントの差となっている。
- 「どちらともいえない」は27.4%となった。



その理由

「はい」

- 色々なものを食べたい
- ご当地グルメを楽しみたい
- 海鮮を楽しみたい
- 宿の食事は量が多いので、もう少し軽い食事にしたい
- 地元のお店に行ってみいたいなど

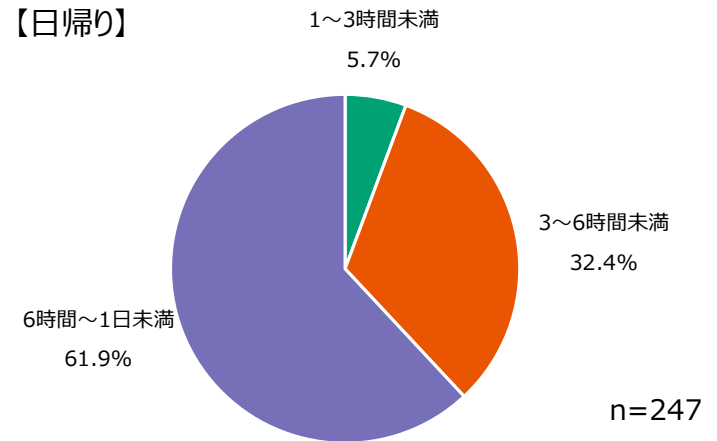
「いいえ」

- ゆっくりしたい
- 移動が面倒
- ビュッフェが好き
- ホテルの食事が目当て
- 探るのがわずらわしい
- 子連れで移動しづらいなど

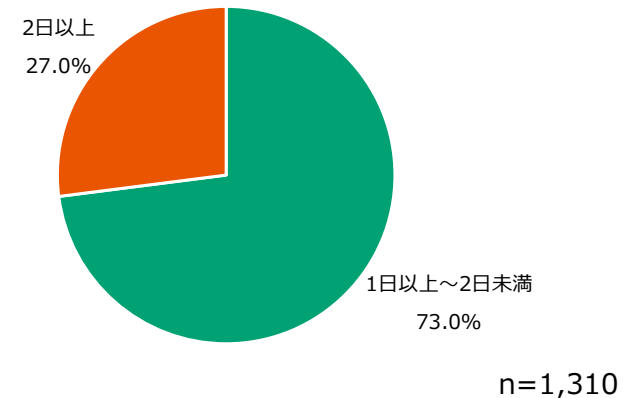
問2. 伊豆半島でのおおよその滞在時間をお答えください。

- 日帰りでは、6時間～1日未満が最も多く61.9%を占めた。次いで3～6時間未満が多い。
- 宿泊では、2日未満が73.0%を占めた。

【日帰り】



【宿泊】

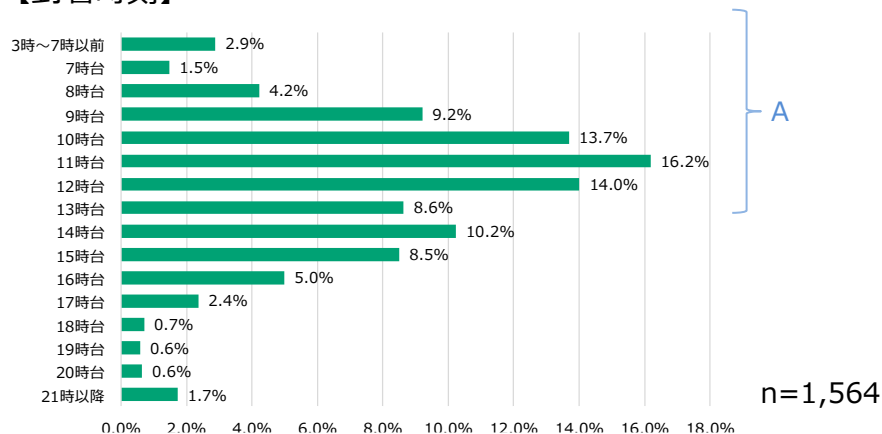


観光アンケート 回答結果（単純集計）

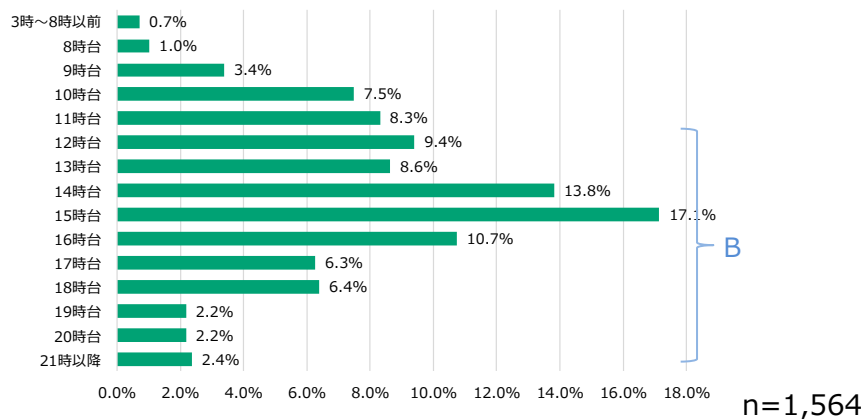
問2-2. 伊豆半島到着時刻と出発時刻を教えてください。

- 到着は11時台が最も多く、出発は15時台が最も多かった。
- 70.3%がチェックイン以前に到着し、近くで過ごしている（A）。
- 79.1%がチェックアウト後も館外で過ごしている（B）。

【到着時刻】

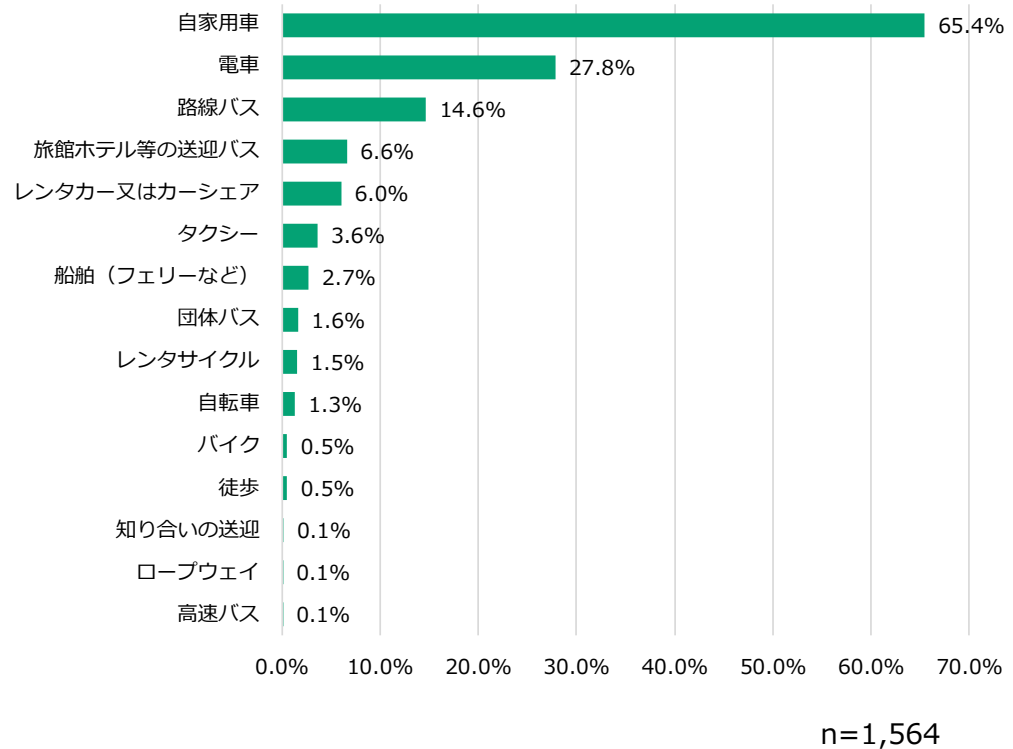


【出発時刻】



問3.伊豆半島での利用交通機関について教えてください。（複数回答）

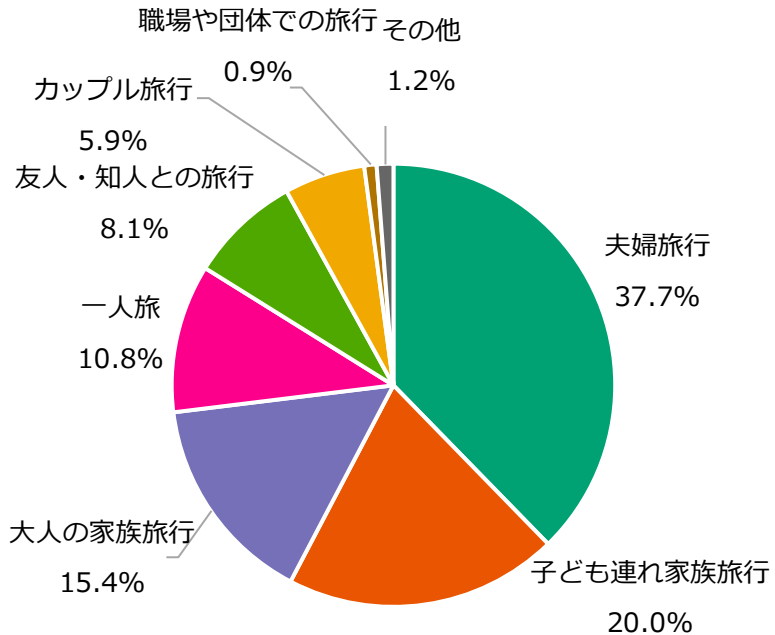
- 自家用車が65.4%を占めた。
- 次いで電車が多く、27.8%となっている。



観光アンケート 回答結果（単純集計）

問4. 今回の旅行は、どなたと一緒に来ましたか。（単一回答）

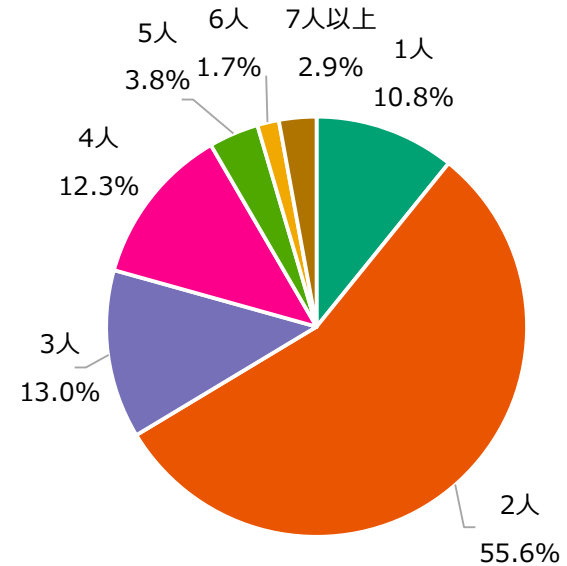
- 夫婦旅行が最も多く、37.7%を占めた。
- 次いで子ども連れ家族旅行、大人の家族旅行となっている。



n=1,564

問4-2. 今回の旅行の人数を教えてください。（単一回答）

- 2人が最も多く、55.6%を占めた。
- 次いで3人が13.0%、4人が12.3%となっている。

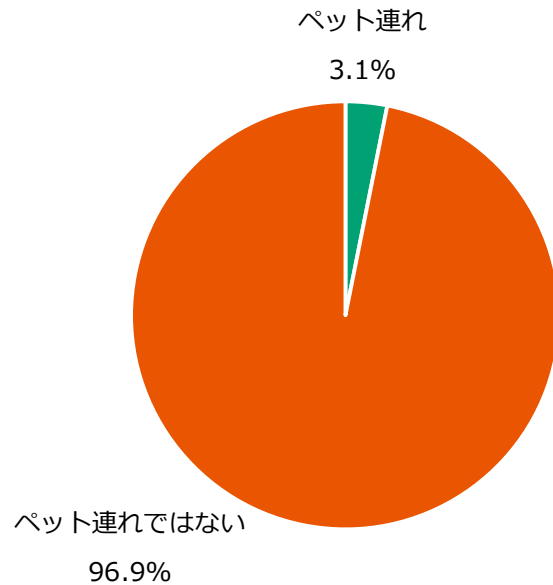


n=1,564

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問4-3. 今回の旅行はペット連れですか。（単一回答）

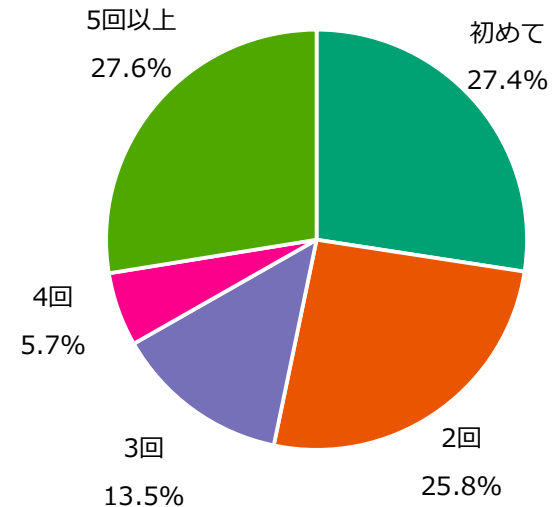
- ペット連れは3.1%となった。



n=1,564

問5. 伊豆半島への訪問頻度について、「直近1年間」での来訪回数を教えてください。（単一回答）

- 5回以上が最も多く、27.6%を占めた。
- 次いで初めてが27.4%、2回が25.8%となっている。

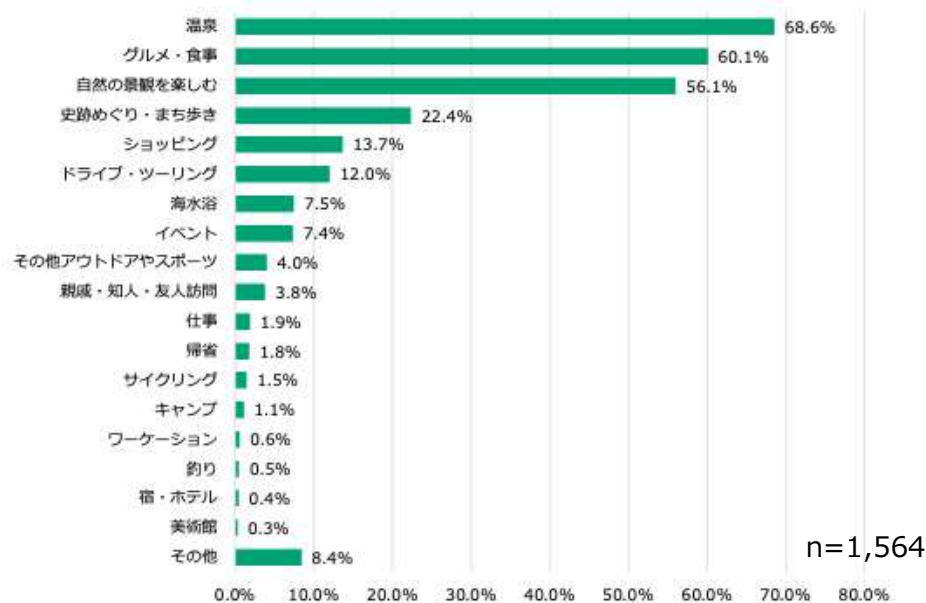


n=1,564

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問6. 今回の伊豆半島に訪れた目的をお答えください。
（複数回答）

- 「温泉」が最も多く、68.6%を占めた。
- 次いで「グルメ・食事」「自然の景観を楽しむ」「史跡めぐり・まち歩き」の順となっている。

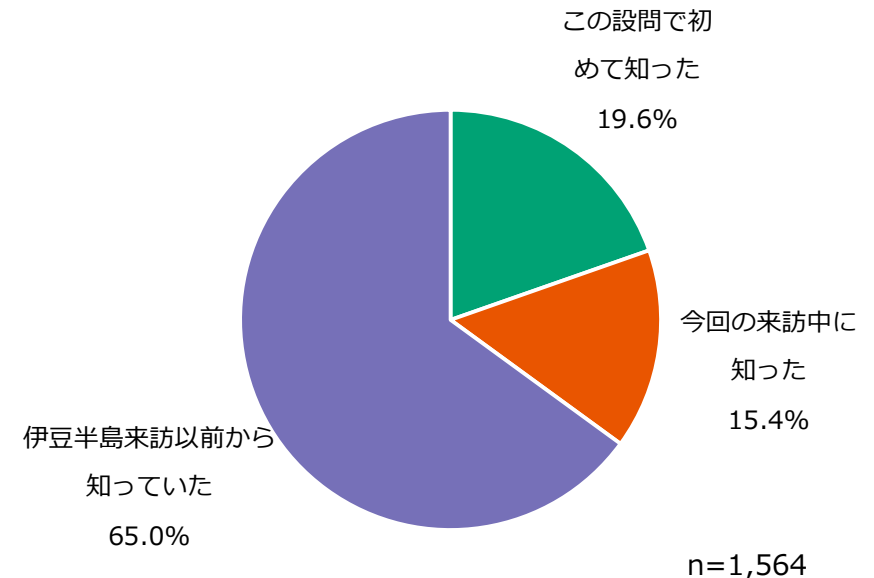


【その他】

izoo kawazoo、のんびり、ペットと楽しむ、水族館、「温泉むすめ」の聖地巡礼、移住先を探す、河津桜、動物園、道の駅めぐり、イルミネーション、プール、ゆるキャン△スタンプラリー、下田海中水族館。花火大会、結婚記念日、犬との旅行、水仙まつり、星空、造船所、誕生日祝い、虫採り、道の駅スタンプ集め、墓参り など

問7. 伊豆半島がジオパークであることをご存知ですか。

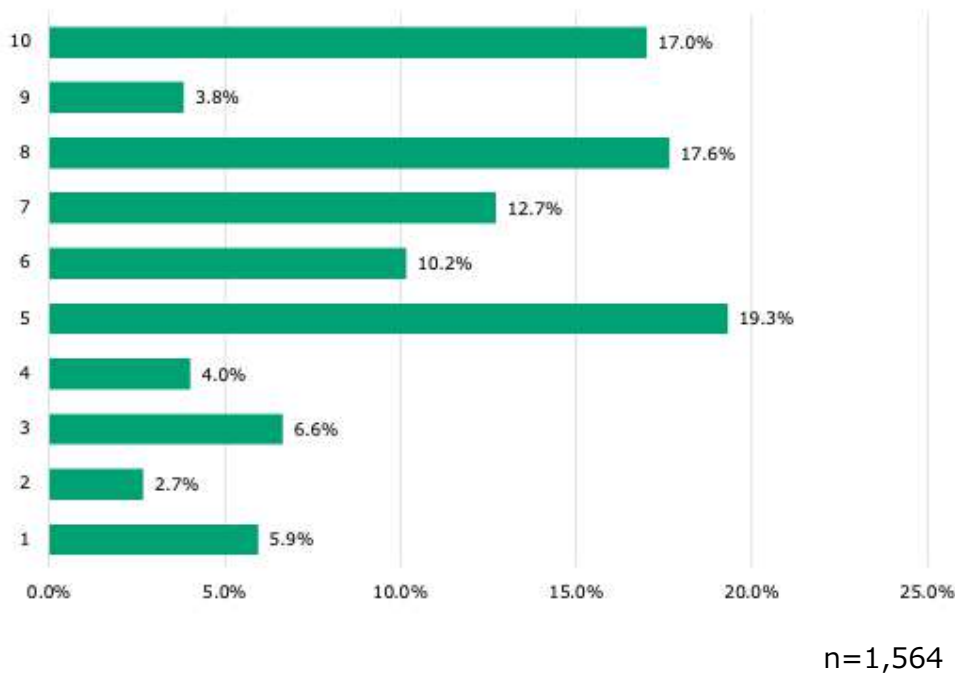
- 「伊豆半島来訪以前から知っていた」が最も多く、65.0%を占めた。
- 「この設問で初めて知った」が19.6%、「今回の来訪中に知った」が15.4%となっている。



観光アンケート 回答結果（単純集計）

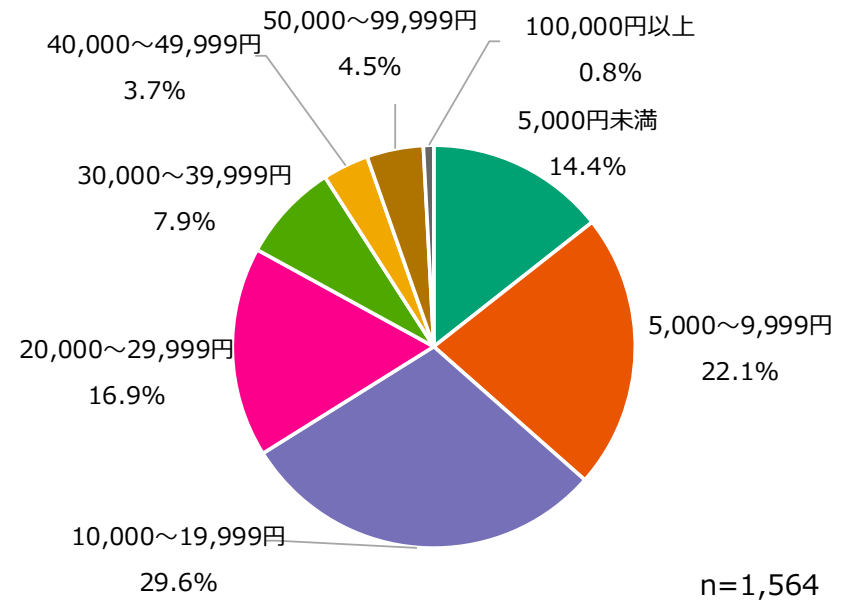
問7-1. ジオパークは、今後伊豆半島を訪れる目的になりますか。（単一回答）

- 5が最も多く、19.3%を占めた。
- 次いで8が17.6%、10が17.0%となっている。
- 平均値は6.4となった。



問8. 今回の旅行で、事前の予定では伊豆半島で一人あたり、お金をいくら使うつもりでしたか。（宿泊費を除く）（単一回答）

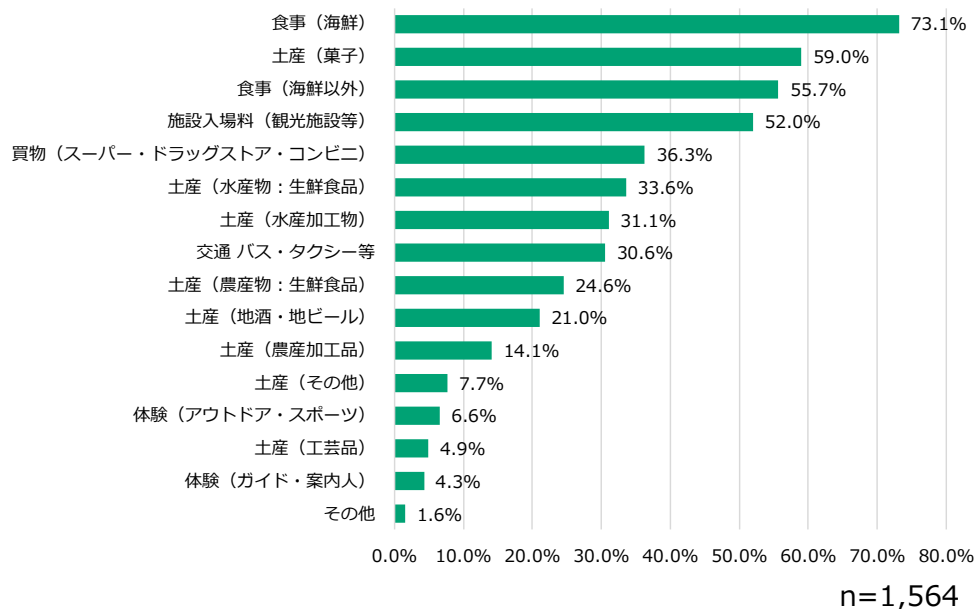
- 1万円台が最も多く、29.6%を占める。
- 次いで5,000～9,999円が22.1%、2万円台が16.9%となった。



観光アンケート 回答結果（単純集計）

問8-2. 問8でお聞きした使うつもりであった金額に含まれるものを教えてください。（複数回答）

- ・「食事（海鮮）」が最も多く、73.1%を占めた。
- ・次いで「土産（菓子）」「食事（海鮮以外）」「施設入場料（観光施設等）」の順となっている。

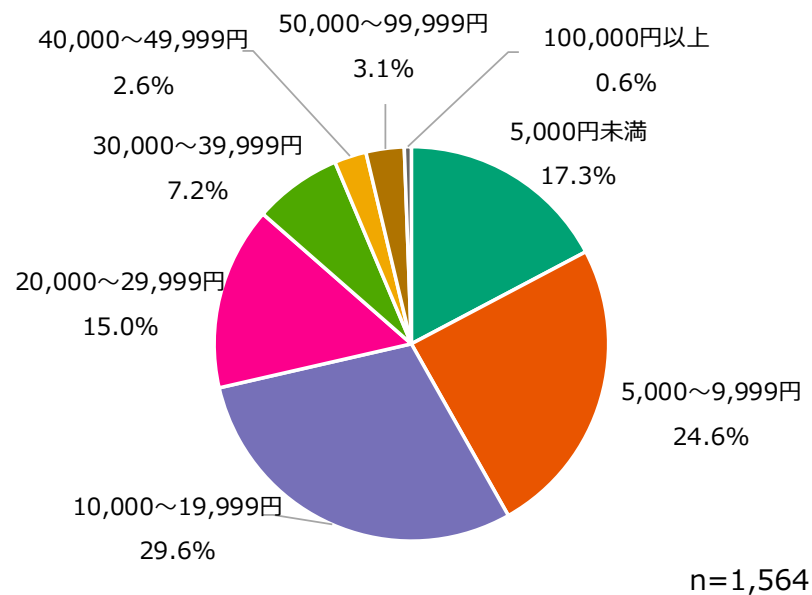


【その他】

温泉入浴料、「温泉むすめ」グッズ代、ガソリン、釣り、エステ、お寺拝観料、御朱印、お賽銭、ゴルフ、ダイビング、パーキング、ロッカー、花屋、献金、御当地グッズ、水、謎解き参加費、わからない など

問9. 今回の旅行中、伊豆半島で実際に使った一人あたりの金額（宿泊費を除く）を教えてください。（単一回答）

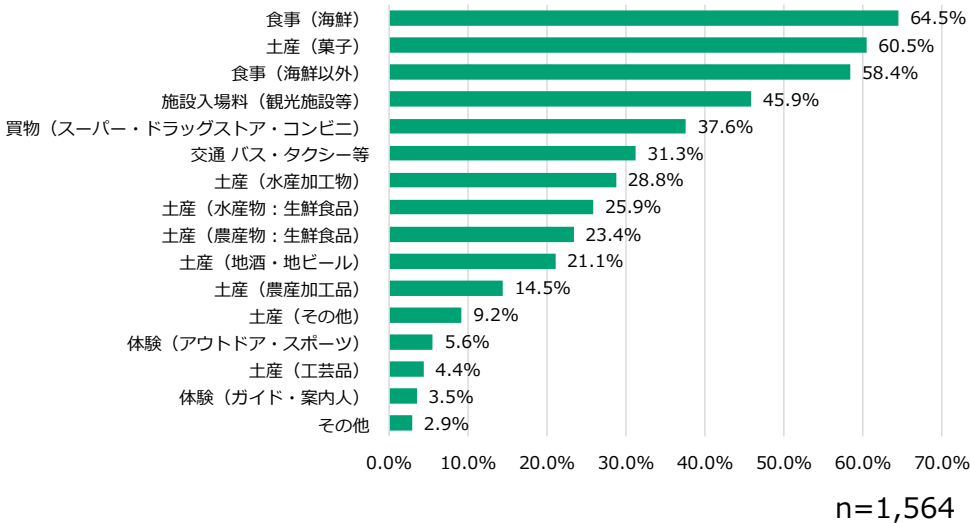
- ・1万円台が29.6%で最も多い。次いで5,000円～9,999円が24.6%となった。
- ・20,000円以上が4分の1超の割合を占める。



観光アンケート 回答結果（単純集計）

問9-2. 問9でお聞きしたお金は何に使いましたか。教えてください。
（複数回答）

- 旅行前の予定と同様に食事（海鮮）が最も多く、土産（菓子）、食事（海鮮以外）と続く。

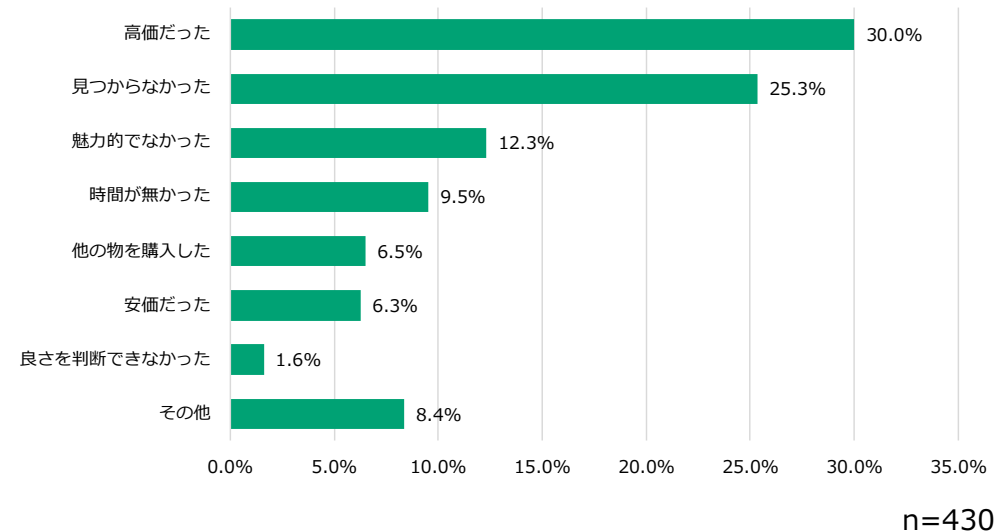


【その他】

入浴料、ガソリン、駐車場、「温泉むすめ」グッズ代、釣り、工芸体験、植物、アロエ商品、エステ、お墓参り用のお花とお線香、お賽銭、ゴルフ、ソフトクリーム、ダイビング、フェリー代、ロッカー、衣類、靴、駅メモ、花火大会、お祭り、観光遊覧船、献金、御当地グッズ、書籍、水、通行料、謎解き参加費、拝観料、御朱印、有料道路、まだ途中なので不明、なしなど

問9-3（食事）. 支出を予定していたが支出しなかったものについて理由を教えてください。[海鮮]（単一回答）

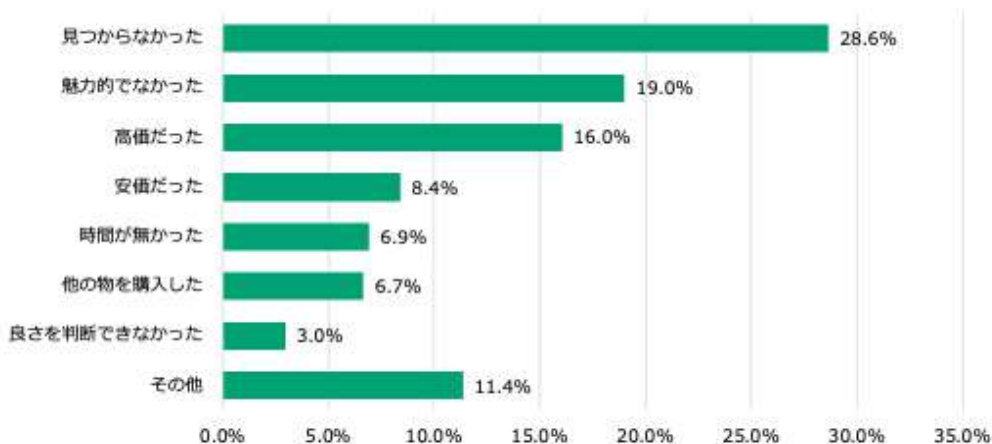
- 「高価だった」が最も多く、30.0%を占めた。
- 次いで「見つからなかった」、「魅力的でなかった」、「時間が無かった」の順となっている。



観光アンケート 回答結果（単純集計）

問9-3（食事）．支出を予定していたが支出しなかったものについて理由を教えてください。[海鮮以外]（単一回答）

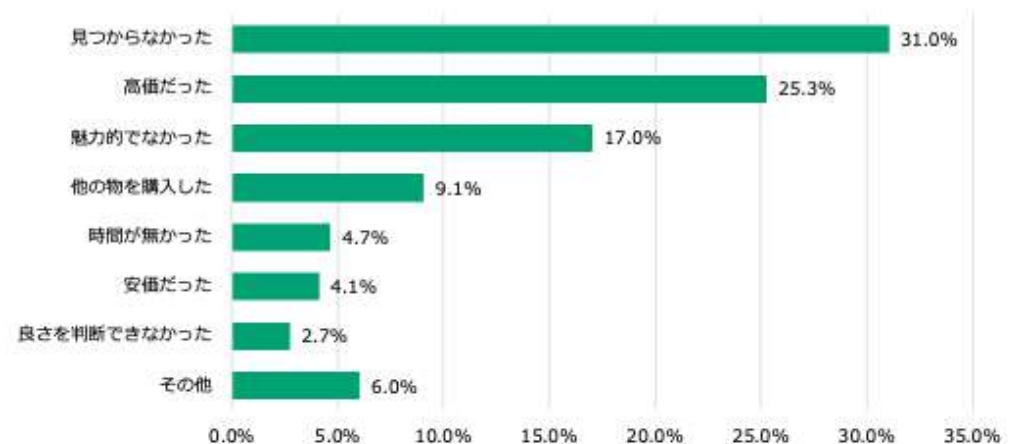
- 「見つからなかった」が最も多く、28.6%を占めた。
- 次いで「魅力的でなかった」、「高価だった」、「安価だった」の順となっている。



n=405

問9-3（土産）．支出を予定していたが支出しなかったものについて理由を教えてください。[水産物：生鮮食品]（単一回答）

- 「見つからなかった」が最も多く、31.0%を占めた。
- 次いで「高価だった」、「魅力的でなかった」、「他の物を購入した」の順となっている。

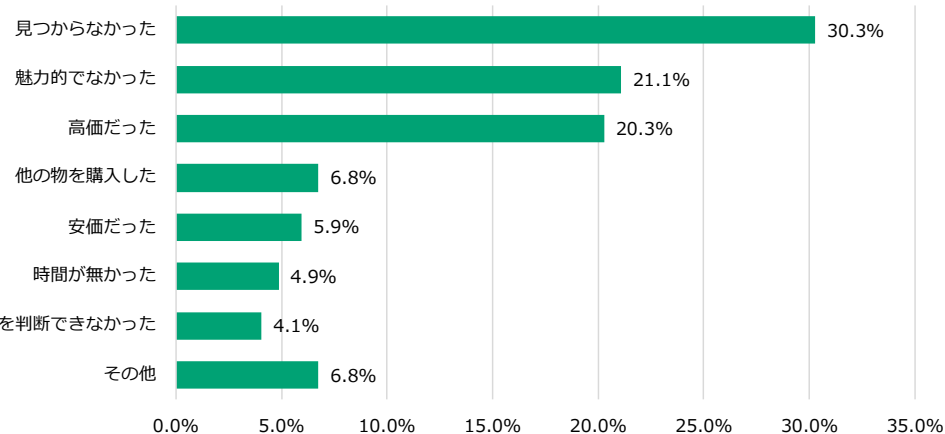


n=364

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問9-3（土産）．支出を予定していたが支出しなかったものについて理由を教えてください。[水産加工物]（単一回答）

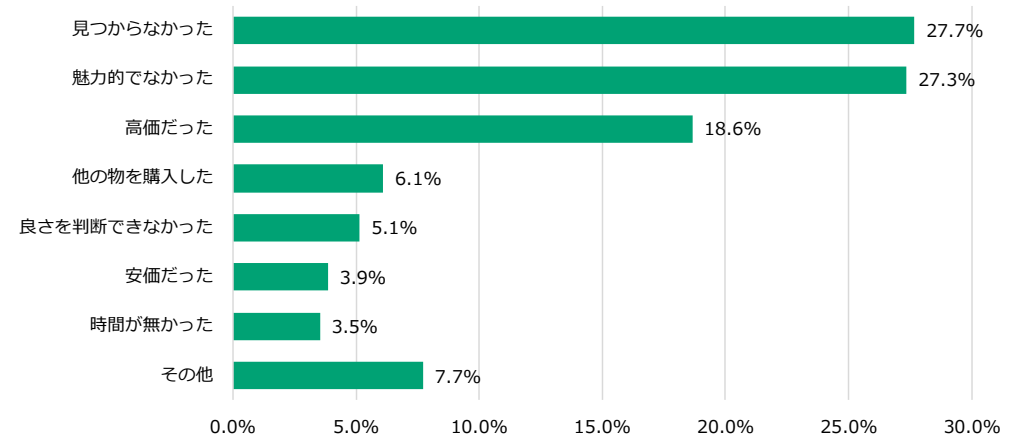
- 「見つからなかった」が最も多く、30.3%を占めた。
- 次いで「魅力的でなかった」、「高価だった」、「他の物を購入した」の順となっている。



n=370

問9-3（土産）．支出を予定していたが支出しなかったものについて理由を教えてください。[地酒・地ビール]（単一回答）

- 「見つからなかった」が最も多く、27.7%を占めた。
- 次いで「魅力的でなかった」、「高価だった」、「他の物を購入した」の順となっている。

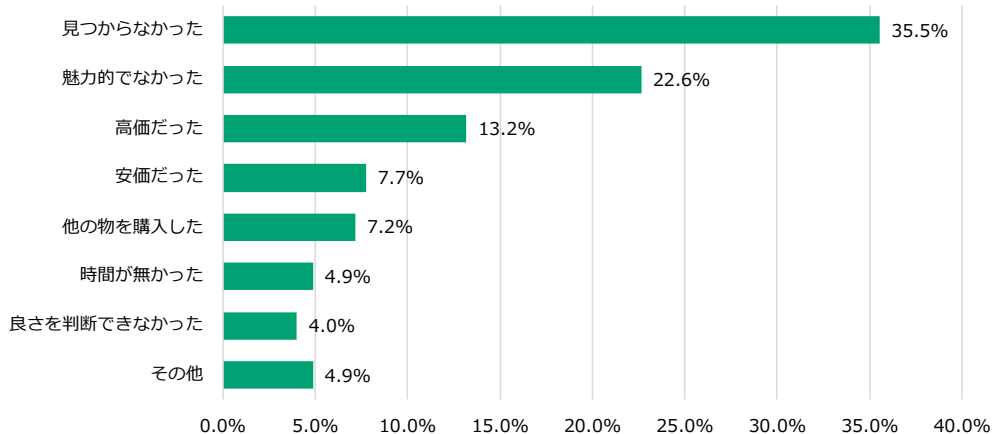


n=311

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問9-3（土産）： 支出を予定していたが支出しなかったものについて理由を教えてください。[農産物：生鮮食品]（単一回答）

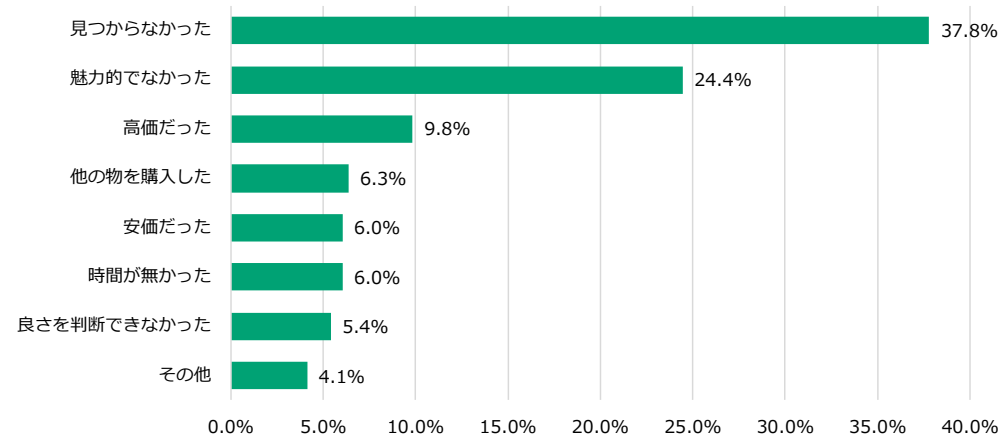
- 「見つからなかった」が最も多く、35.5%を占めた。
- 次いで「魅力的でなかった」、「高価だった」、「安価だった」の順となっている。



n=349

問9-3（土産）： 支出を予定していたが支出しなかったものについて理由を教えてください。[農産加工品]（単一回答）

- 「見つからなかった」が最も多く、37.8%を占めた。
- 次いで「魅力的でなかった」、「高価だった」、「他の物を購入した」の順となっている。

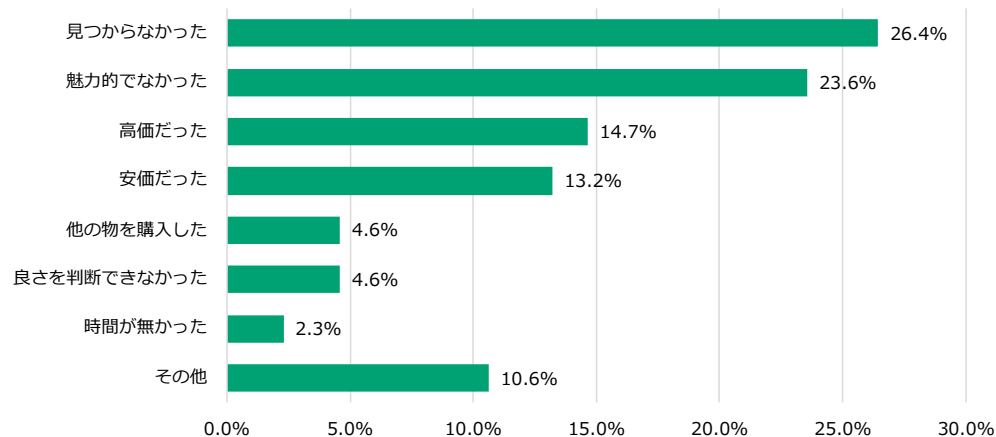


n=315

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問9-3（土産）．支出を予定していたが支出しなかったものについて理由を教えてください。[菓子]（単一回答）

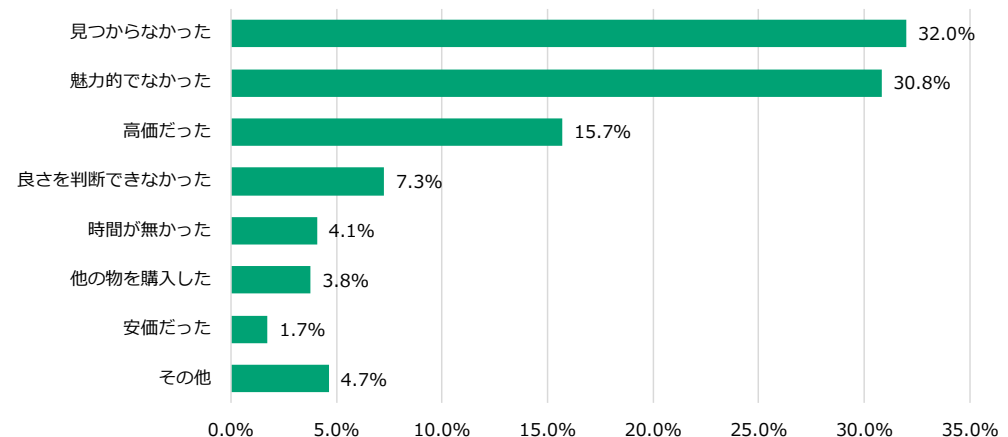
- 「見つからなかった」が最も多く、26.4%を占めた。
- 次いで「魅力的でなかった」、「高価だった」、「安価だった」の順となっている。



n=348

問9-3（土産）．支出を予定していたが支出しなかったものについて理由を教えてください。[工芸品]（単一回答）

- 「見つからなかった」が最も多く、32.0%を占めた。
- 次いで「魅力的でなかった」、「高価だった」、「良さを判断できなかった」の順となっている。

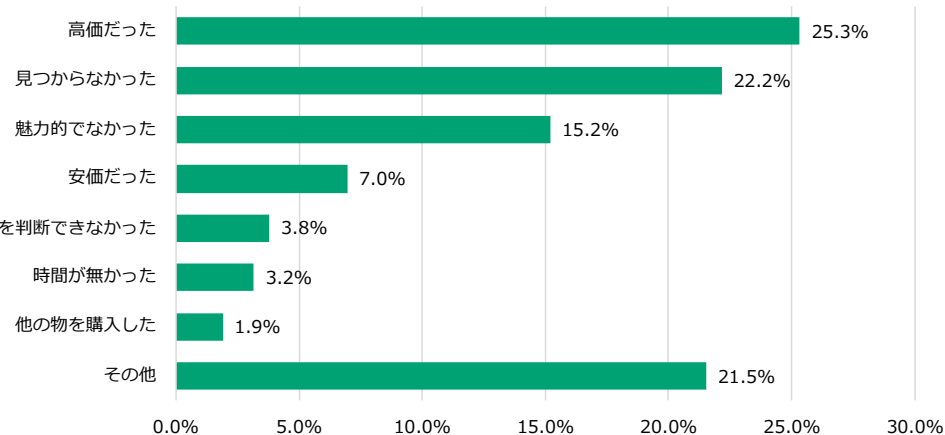


n=344

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問9-3（その他）．支出を予定していたが支出しなかったものについて理由を教えてください。[交通 バス・タクシー等](単一回答)

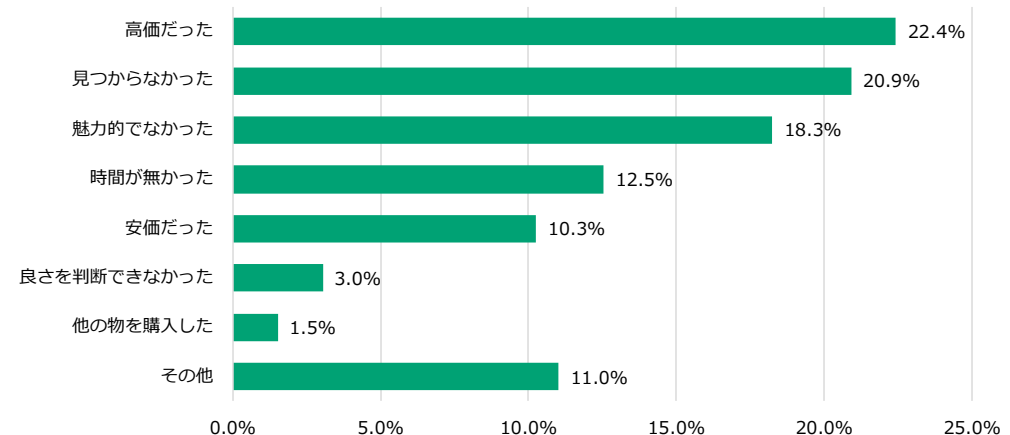
- 「高価だった」が最も多く、25.3%を占めた。
- 次いで「見つからなかった」、「魅力的でなかった」、「安価だった」の順となっている。



n=158

問9-3（その他）．支出を予定していたが支出しなかったものについて理由を教えてください。[施設入場料（観光施設等）]（単一回答）

- 「高価だった」が最も多く、22.4%を占めた。
- 次いで「見つからなかった」、「魅力的でなかった」、「時間が無かった」の順となっている。



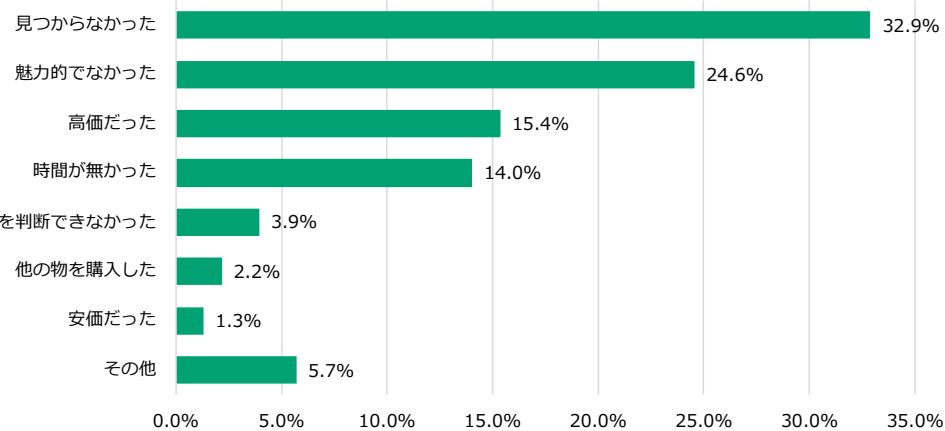
n=263

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問9-3（その他）．支出を予定していたが支出しなかったものについて理由を教えてください。[体験（ガイド・案内人）]

（単一回答）

- 「見つからなかった」が最も多く、32.9%を占めた。
- 次いで「魅力的でなかった」、「高価だった」、「時間が無かった」の順となっている。

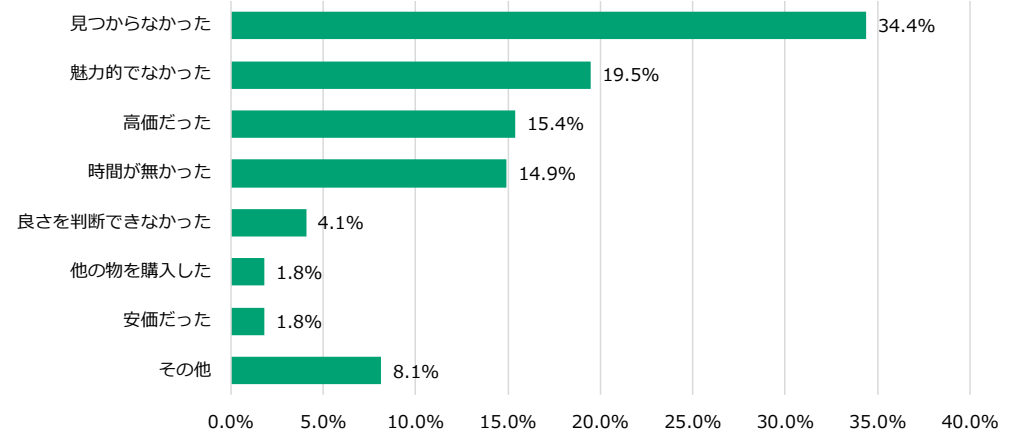


n=228

問9-3（その他）．支出を予定していたが支出しなかったものについて理由を教えてください。[体験（アウトドア・スポーツ）]

（単一回答）

- 「見つからなかった」が最も多く、34.4%を占めた。
- 次いで「魅力的でなかった」、「高価だった」、「時間が無かった」の順となっている。



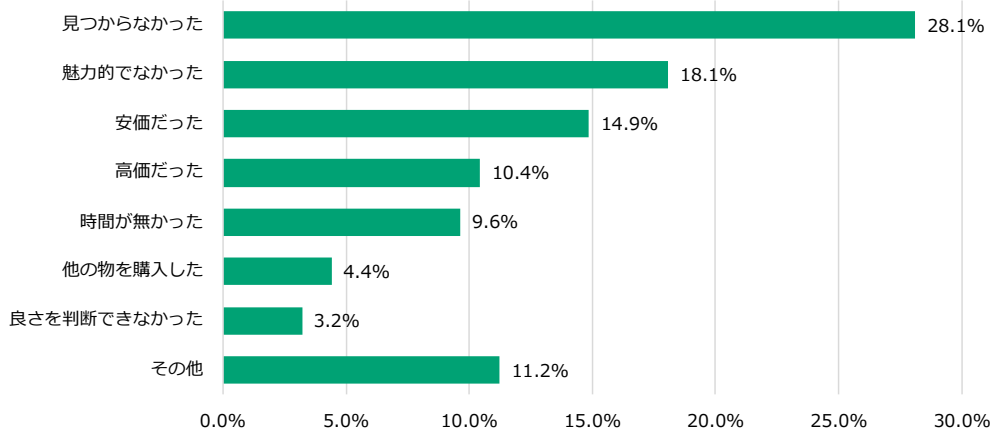
n=221

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問9-3（その他）．支出を予定していたが支出しなかったものについて理由を教えてください。[買物（スーパー・コンビニ等）]

（単一回答）

- 「見つからなかった」が最も多く、28.1%を占めた。
- 次いで「魅力的でなかった」、「安価だった」、「高価だった」の順となっている。

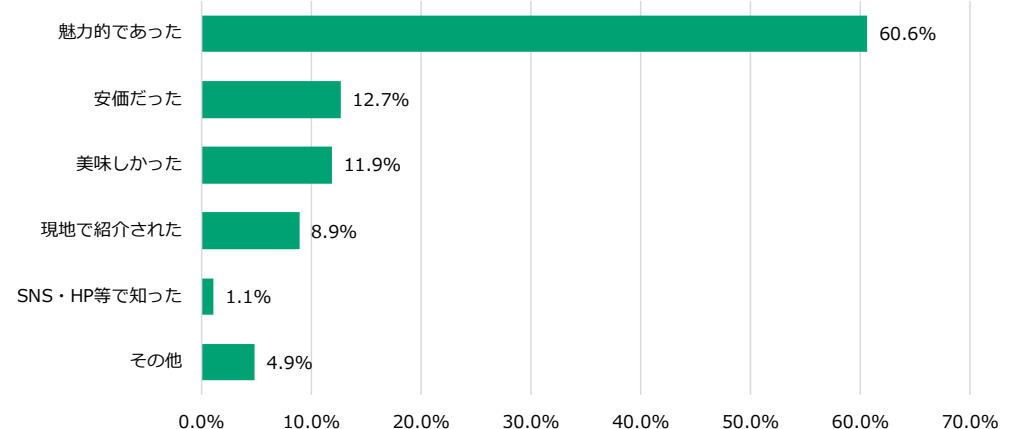


n=249

問9-4（食事）．支出を予定していなかったが支出したものについて理由を教えてください。[海鮮]

（単一回答）

- 「魅力的であった」が最も多く、60.6%を占めた。
- 次いで「安価だった」、「美味しかった」、「現地で紹介された」の順となっている。

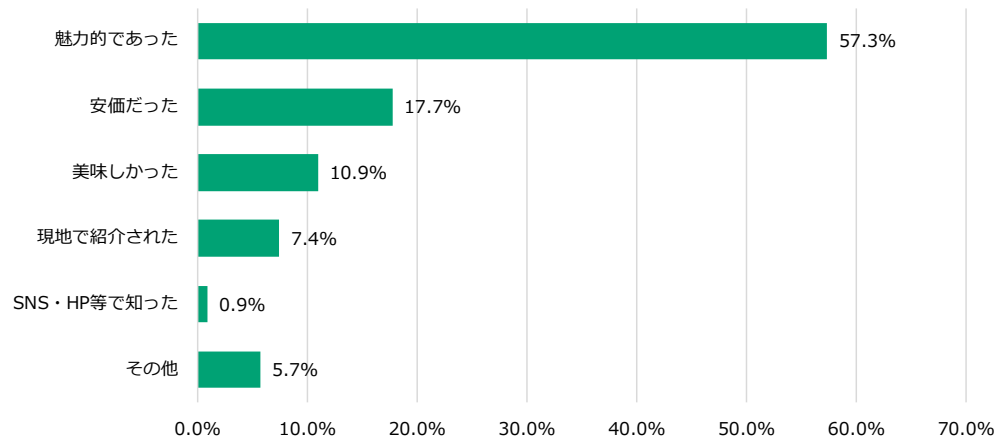


n=371

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問9-4（食事）．支出を予定していなかったが支出したものについて理由を教えてください。[海鮮以外]（単一回答）

- 「魅力的であった」が最も多く、57.3%を占めた。
- 次いで「安価だった」、「美味しかった」、「現地で紹介された」の順となっている。

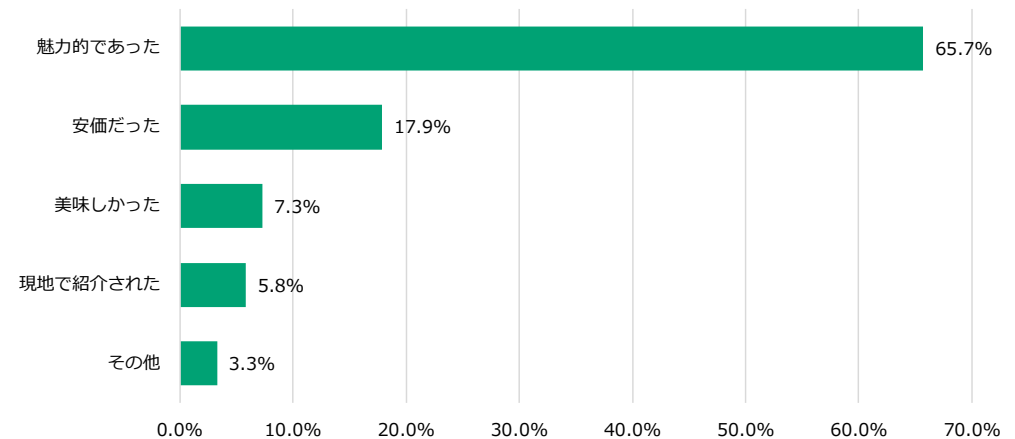


n=457

問9-4（土産）．支出を予定していなかったが支出したものについて理由を教えてください。[水産物：生鮮食品]

（単一回答）

- 「魅力的であった」が最も多く、65.7%を占めた。
- 次いで「安価だった」、「美味しかった」、「現地で紹介された」の順となっている。

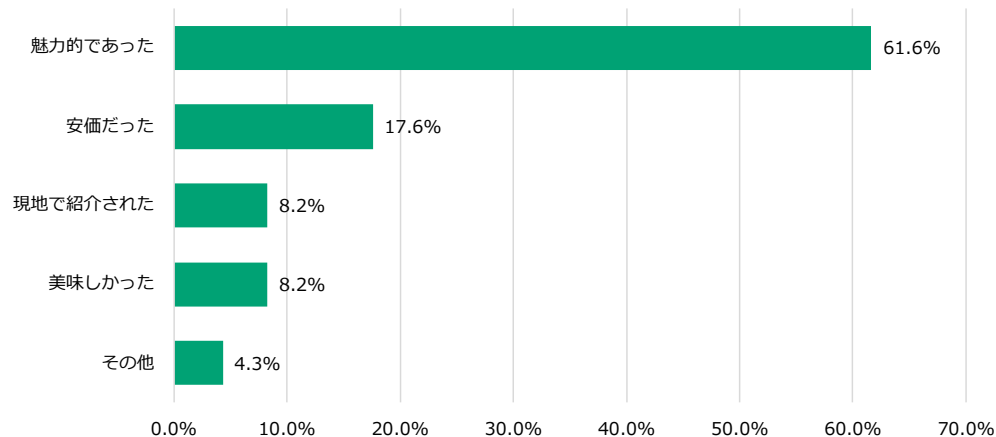


n=274

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問9-4（土産）．支出を予定していなかったが支出したのについて理由を教えてください。[水産加工物]（単一回答）

- 「魅力的であった」が最も多く、61.6%を占めた。
- 次いで「安価だった」、「現地で紹介された」および「美味しかった」の順となっている。

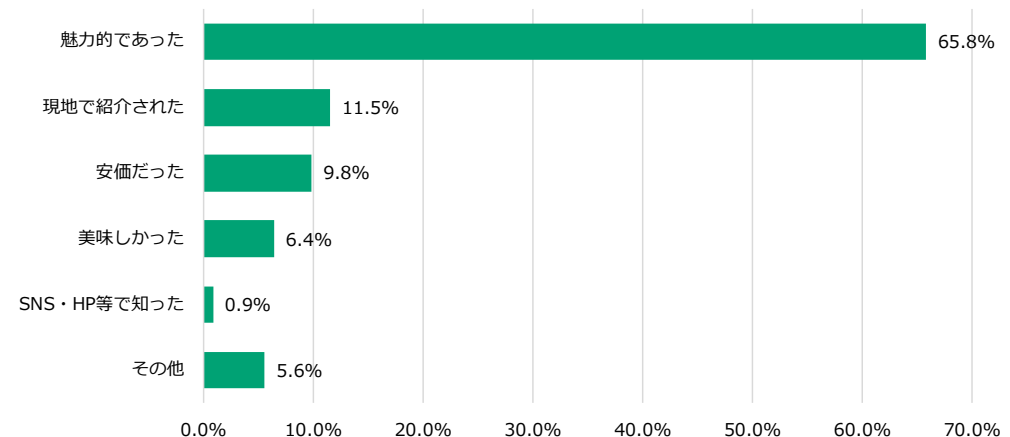


n=279

問9-4（土産）．支出を予定していなかったが支出したのについて理由を教えてください。[地酒・地ビール]

（単一回答）

- 「魅力的であった」が最も多く、65.8%を占めた。
- 次いで「現地で紹介された」、「安価だった」、「美味しかった」の順となっている。

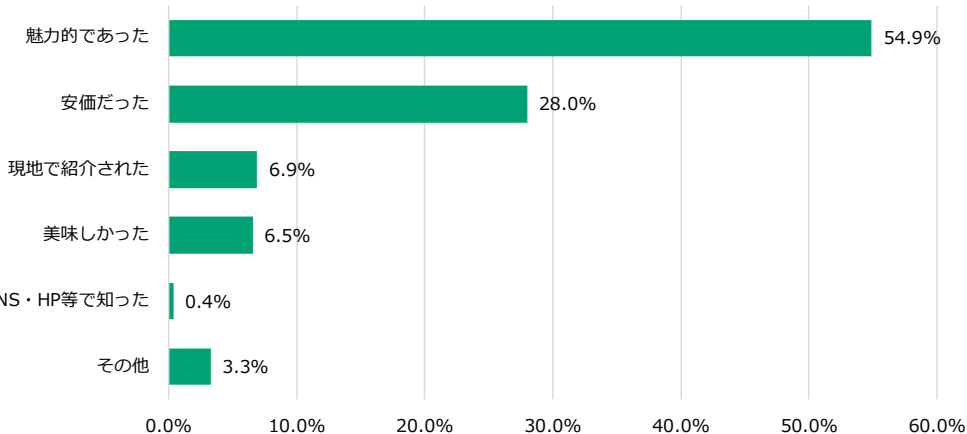


n=234

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問9-4（土産）．支出を予定していなかったが支出したものについて理由を教えてください。【農産物：生鮮食品】（単一回答）

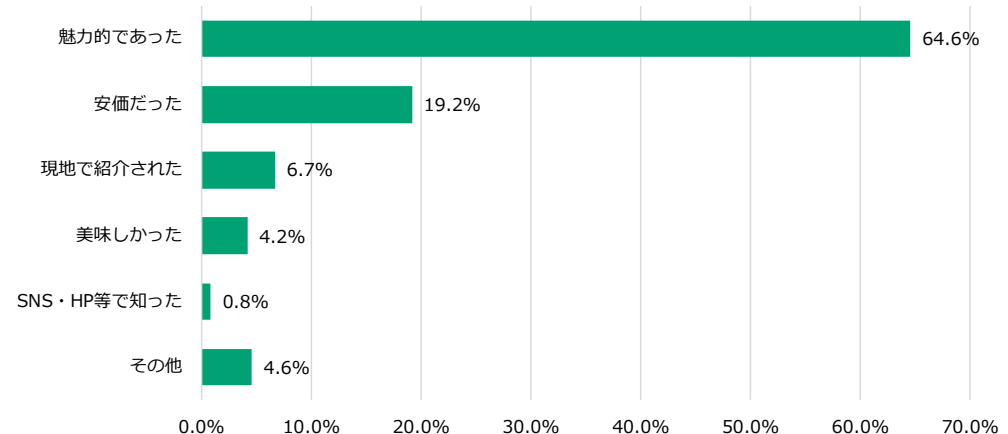
- 「魅力的であった」が最も多く、54.9%を占めた。
- 次いで「安価だった」、「現地で紹介された」、「美味しかった」の順となっている。



n=275

問9-4（土産）．支出を予定していなかったが支出したものについて理由を教えてください。【農産加工品】（単一回答）

- 「魅力的であった」が最も多く、64.6%を占めた。
- 次いで「安価だった」、「現地で紹介された」、「美味しかった」の順となっている。

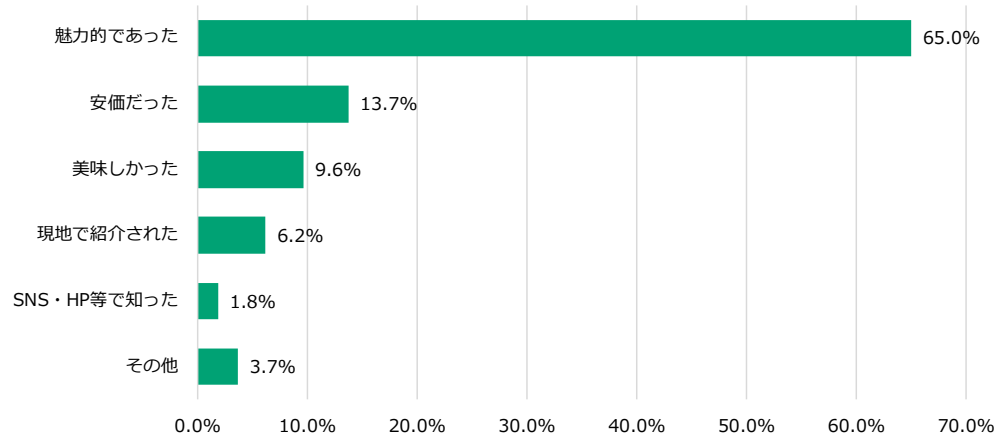


n=240

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問9-4（土産）．支出を予定していなかったが支出したものについて理由を教えてください。[菓子]（単一回答）

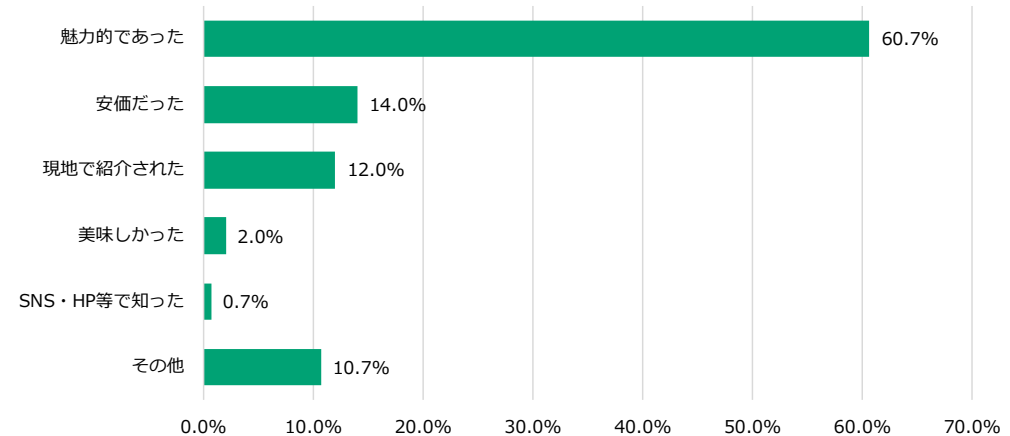
- 「魅力的であった」が最も多く、65.0%を占めた。
- 次いで「安価だった」、「美味しかった」、「現地で紹介された」の順となっている。



n=437

問9-4（土産）．支出を予定していなかったが支出したものについて理由を教えてください。[工芸品]（単一回答）

- 「魅力的であった」が最も多く、60.7%を占めた。
- 次いで「安価だった」、「現地で紹介された」、「美味しかった」の順となっている。

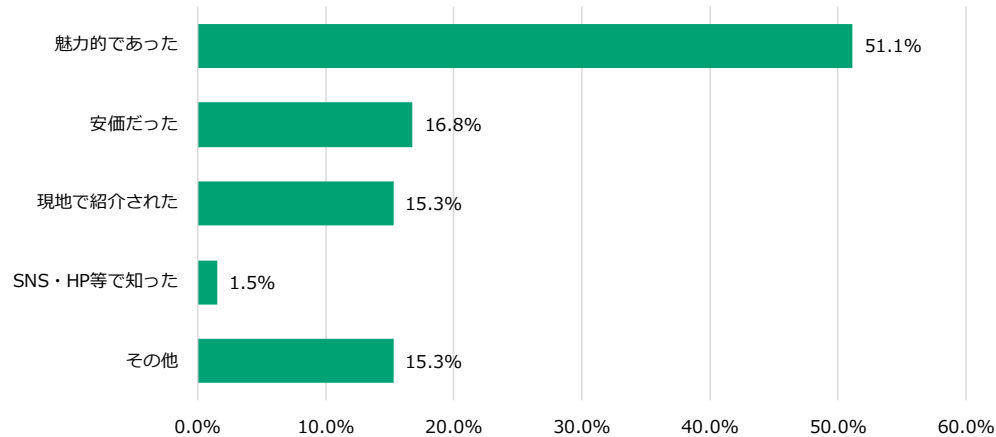


n=150

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問9-4（その他）．支出を予定していなかったが支出したのについて理由を教えてください。[交通 バス・タクシー等]（単一回答）

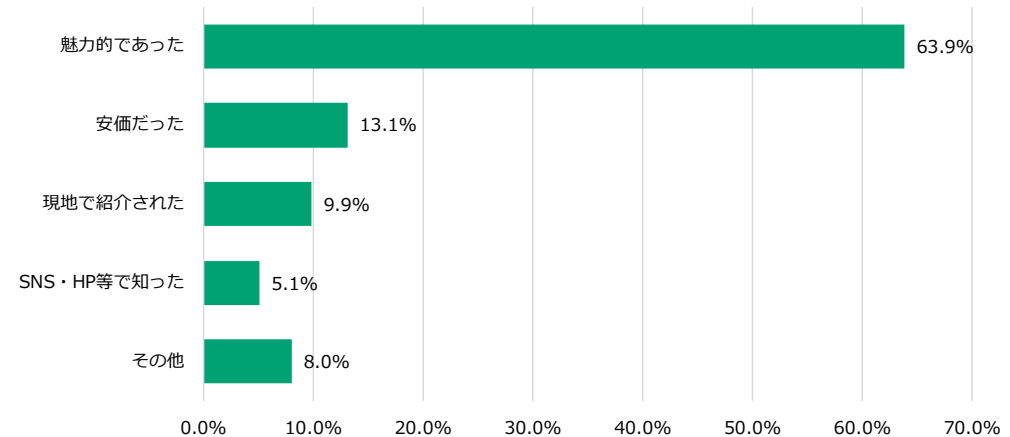
- 「魅力的であった」が最も多く、51.1%を占めた。
- 次いで「安価だった」、「現地で紹介された」、「SNS・HP等で知った」の順となっている。



n=131

問9-4（その他）．支出を予定していなかったが支出したのについて理由を教えてください。[施設入場料（観光施設等）]（単一回答）

- 「魅力的であった」が最も多く、63.9%を占めた。
- 次いで「安価だった」、「現地で紹介された」、「SNS・HP等で知った」の順となっている。



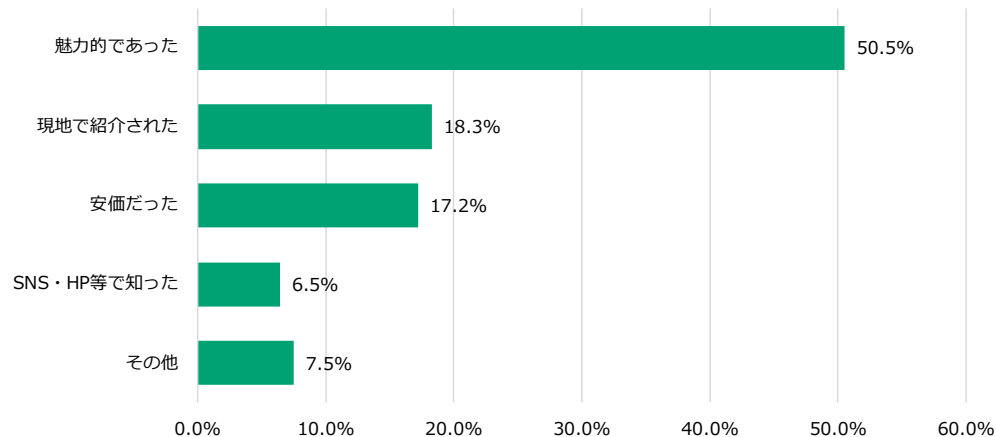
n=274

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問9-4（その他）．支出を予定していなかったが支出したのについて理由を教えてください。[体験（ガイド・案内人）]

（単一回答）

- 「魅力的であった」が最も多く、50.5%を占めた。
- 次いで「現地で紹介された」、「安価だった」、「SNS・HP等で知った」の順となっている。

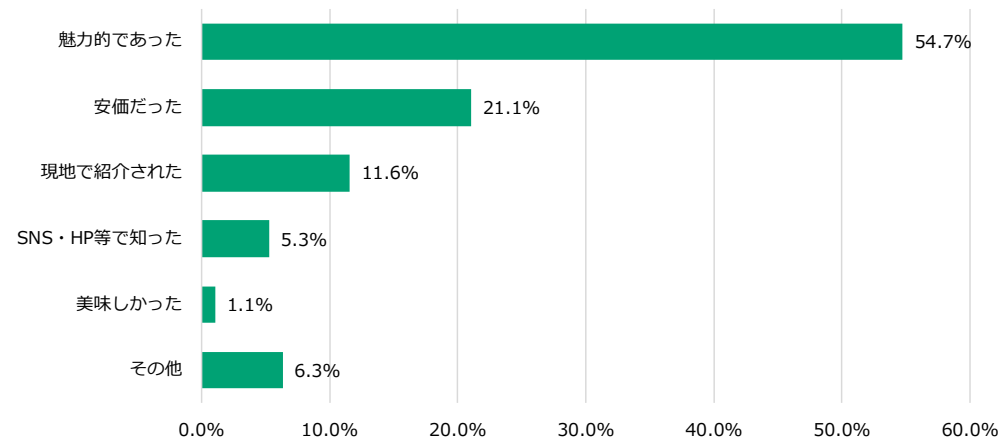


n=93

問9-4（その他）．支出を予定していなかったが支出したのについて理由を教えてください。[体験（アウトドア・スポーツ）]

（単一回答）

- 「魅力的であった」が最も多く、54.7%を占めた。
- 次いで「安価だった」、「現地で紹介された」、「SNS・HP等で知った」の順となっている。



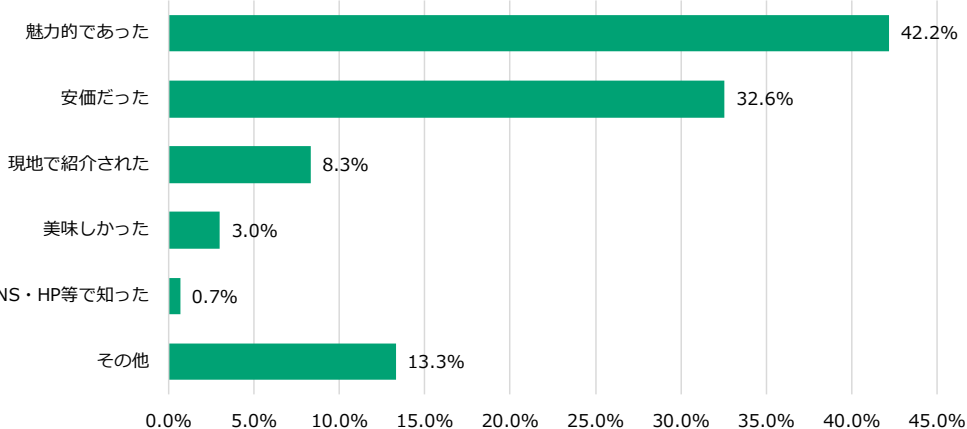
n=95

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問9-4（その他）．支出を予定していなかったが支出したのについて理由を教えてください。[買物（スーパー・コンビニ等）]

（単一回答）

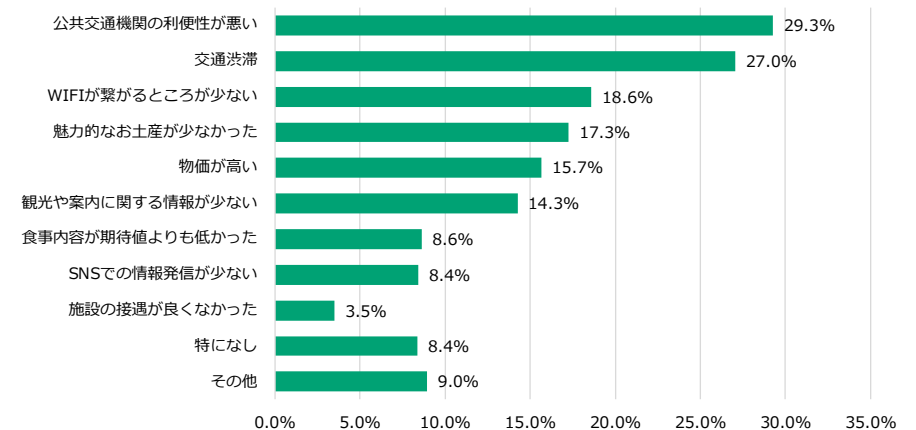
- ・「魅力的であった」が最も多く、42.2%を占めた。
- ・次いで「安価だった」、「現地で紹介された」、「美味しかった」の順となっている。



n=301

問10. 今回の伊豆半島での滞在において不便に感じたことを教えてください。（複数回答）

- ・「公共交通機関の利便性が悪い」が最も多く、29.3%を占めた。
- ・次いで、「交通渋滞」、「Wi-Fiが繋がるところが少ない」、「魅力的なお土産が少なかった」の順となっている。



n=1,564

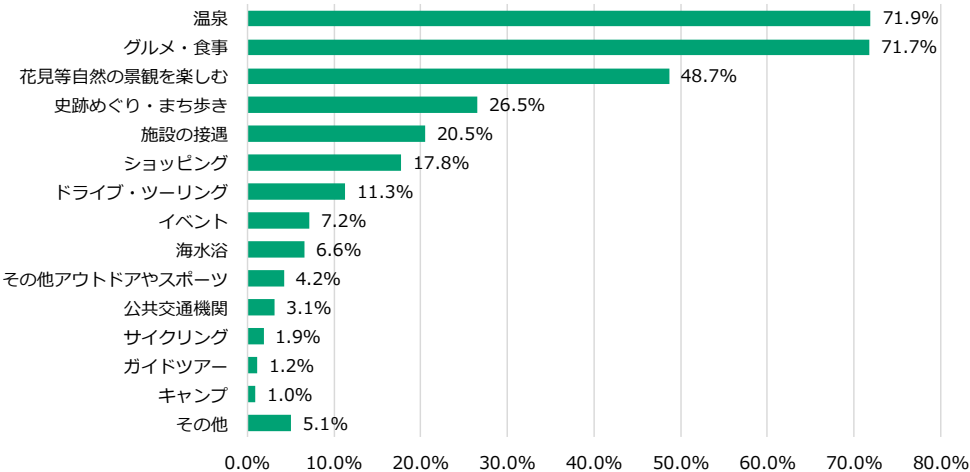
【その他】

- ・ ペット連れで利用できる施設が少ない
- ・ ETCが使えない道路が不便
- ・ タクシーが捕まらない
- ・ レストランが少ない
- ・ 天候が悪い時の過ごし方が少ない
- ・ 幼児を連れて入れる店が少ない
- ・ 携帯の電波が悪い
- ・ 道が狭い
- ・ 駐車場が少ない・駐車場代が高い など

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問11. 今回の伊豆半島での滞在において満足度が高かったものを3つお答えください。（複数回答）

- 「温泉」が最も多く、71.9%を占めた。
- 次いで「グルメ・食事」、「花見等自然の景観を楽しむ」、「史跡めぐり・まち歩き」の順となっている。



n=1,564

【その他】※回答数の多い順

宿泊施設、美術館、izoo、水族館、道の駅、シャボテン公園、花火、「温泉むすめ」聖地巡礼、イルミネーション、オラッチェでのえさやり、お祭り、お寺巡り、お土産が色々あったこと、ジオパークスポット、スーパーでの買い物、ストリートピアノ、ハイキング、ハトヤグッズ、バナナワニ園、プール、ホテルのチェックアウトの時間が11時でゆったりできた、みかん狩り、伊豆ぐらイルミネーション、伊豆パノラマパーク など

問11-2. 問11で選んだ3項目について、その理由をお答えください。

【温泉】

- 温泉施設が良かった
- 源泉の温泉が気持ち良い
- リラックスできた
- 海中温泉に初めて行けて嬉しかった
- 泉質が良かった
- ぬるめでゆっくり入れた など

【グルメ・食事】

- 宿の食事が美味しかった
- 初めてアマゴを食べたが、鮭より繊細な味で美味しかった
- 水産品が美味しい
- 塩カツオうどんがさっぱりして好きだった
- 海鮮丼が美味しかった
- スイカが美味しかった など

【花見等自然の景観を楽しむ】

- 滝や川の水量が多く迫力があって良かった
- 海山森と自然豊かで、どこに行ってもその魅力を体感できた
- 天気がよく何処からでも富士山が綺麗に見えた
- 季節、時間限定のユウスゲが綺麗だった
- 海を見ながらドライブができるので良かった
- 夜景が綺麗だった など

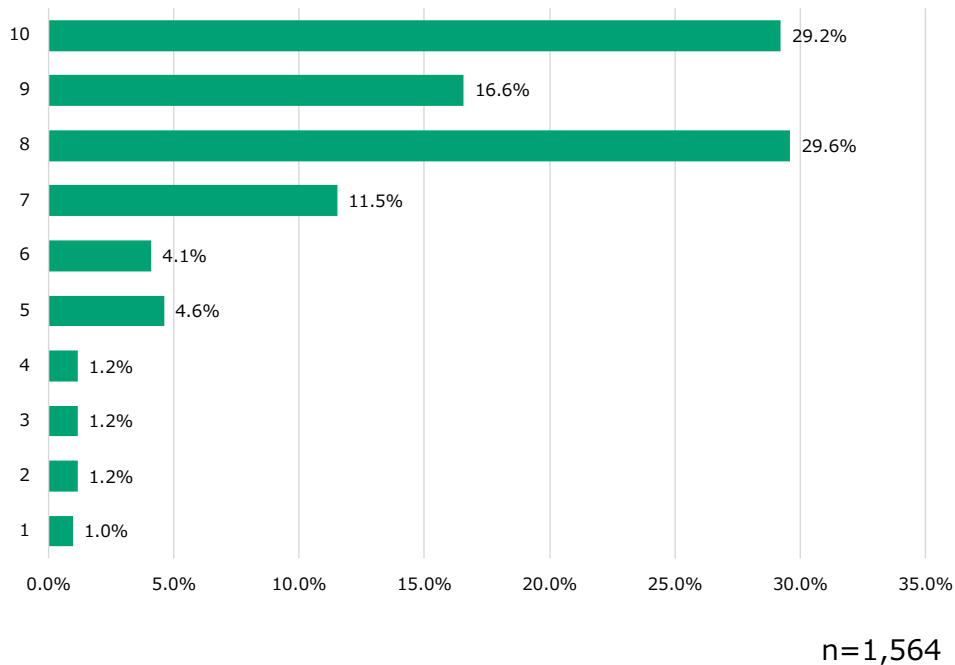
【史跡めぐり・まち歩き】

- 東海館が素敵だった
- のんびり街歩きを楽しめるのが良い
- 三嶋大社や修善寺などが素晴らしかった など

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問12. 今回の伊豆半島旅行の満足度はどのくらいでしたか？
（単一回答）

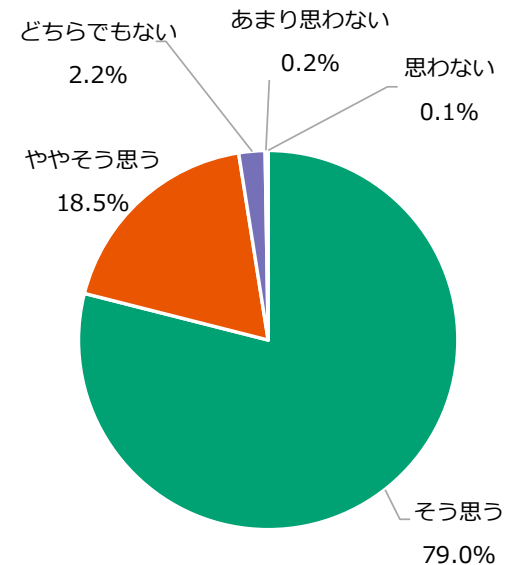
- 8が最も多く、29.6%を占めた。
- 次いで10が29.2%、9が16.6%となっている。



↓ 次ページに月ごとの平均満足度を記載

問13. 今後、伊豆半島に来たいと思いますか。（単一回答）

- 「そう思う」が圧倒的に多く、79.0%を占めた。
- 「ややそう思う」との合算では、97.5%に達している。



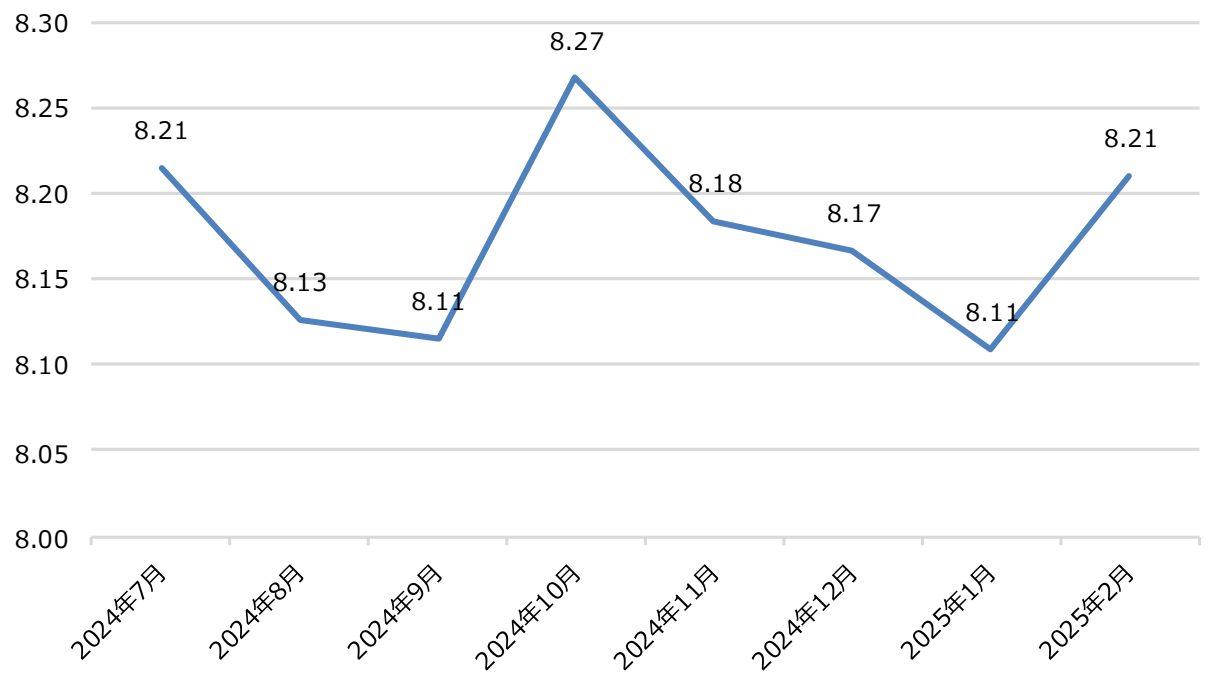
n=1,564

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問12. 今回の伊豆半島旅行の満足度はどのくらいでしたか？

（単一回答）

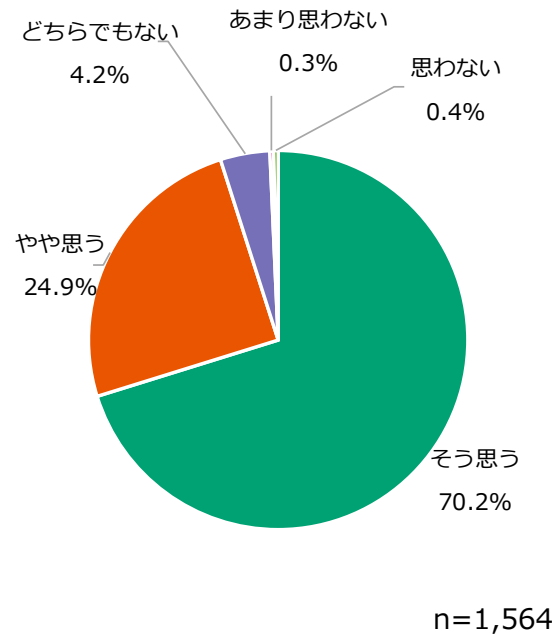
- 月ごとの平均満足度は2024年10月が最も高く、8.27となった。次いで、2024年7月および2025年2月が8.21となっている。
- 2024年9月および2025年1月が最も低く、8.11に留まった。次いで2024年8月が8.13となっている。期間中、各月で大きな差はない。



n=1,564

問14. あなたの身近な人に伊豆半島の訪問を勧めたいと思いますか。（単一回答）

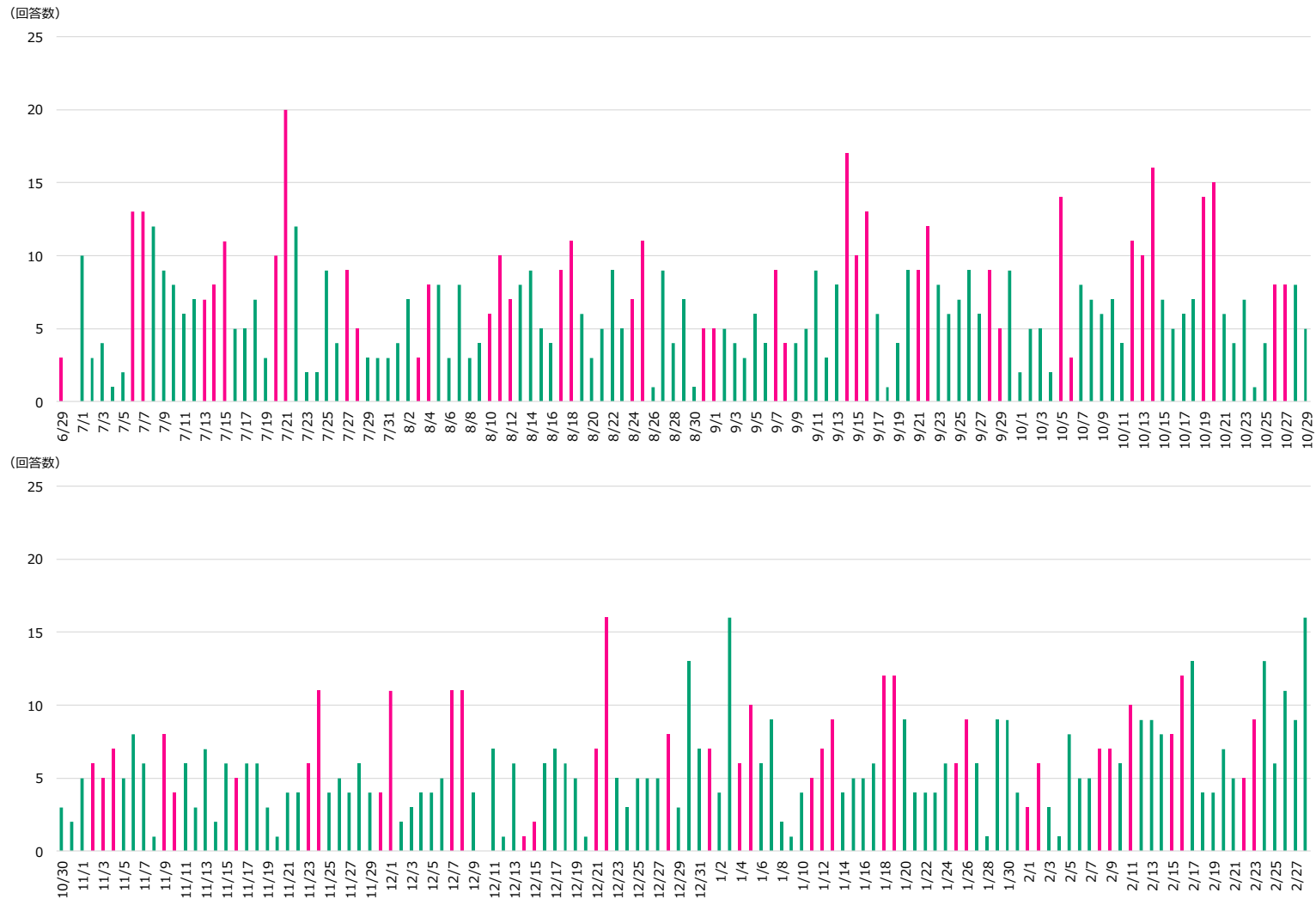
- ・「そう思う」が多く、70.2%を占めた。
- ・「やや思う」との合算では、95.1%に達している。



観光アンケート 回答結果（単純集計）

回答日

- 平日の回答数は914で、全体の58.4%を占めた。
- 土日および祝日の回答数は650で、全体の41.6%を占めている。
- 11月、12月は回答数が比較的少ない。



n=1,564

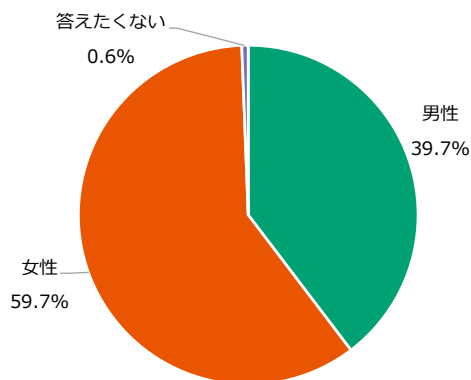
観光アンケート 回答結果（クロス分析）

宿泊者全体の状況－基本属性

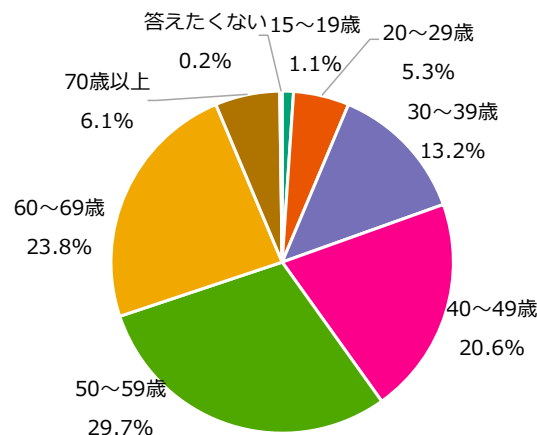
- ・性別はおおよそ男女割合が6：4。年齢では、50代が最も多く（29.7%）、次いで60代（23.8%）が多い。50代以上が全体の約6割を占める。
- ・来訪回数は初めてが最も多く（29.9%）、次いで2回（27.6%）が多い。
- ・居住地では東京都（24.6%）が最も多く、神奈川県（21.7%）、静岡県（17.3%）・・・と続く。上位6都県で83.9%を占める。

宿泊者全体

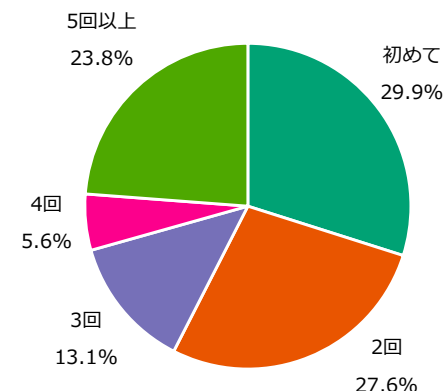
■性別（n=1,311）



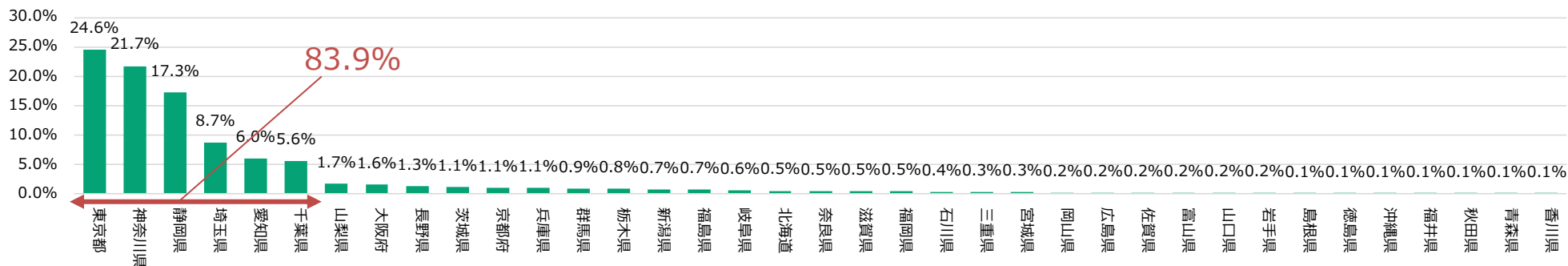
■年齢（n=1,311）



■来訪回数（n=1,311）



■居住地（n=1,311）



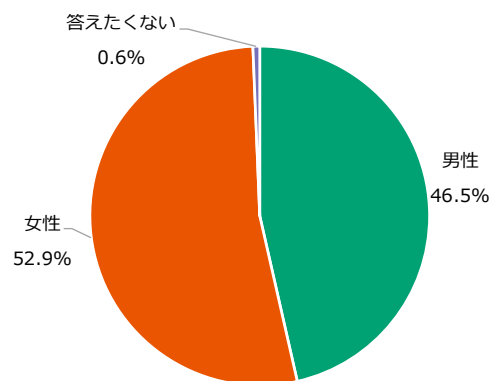
観光アンケート 回答結果（クロス分析）

滞在期間（泊数）2泊以上周遊者の状況－基本属性

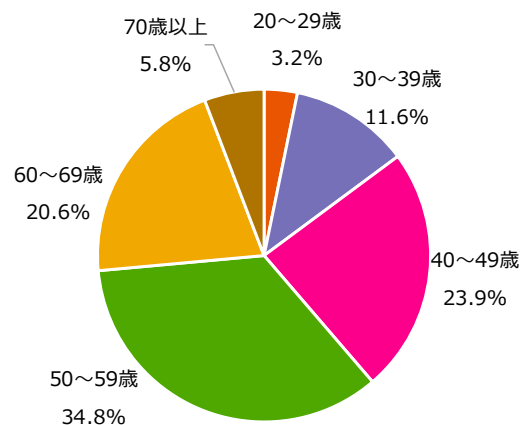
- ・年齢では50代が最も多く（34.8%）、次いで40代が多い（23.9%）。宿泊者全体と同じく、50代以上が約6割となっている。
- ・来訪回数は初めてが多く（33.5%）、次いで2回（31.0%）。宿泊者全体と比べ、初めての割合は3.6ポイント大きい。
- ・居住地は東京の割合が最も高く（17.4%）、次いで埼玉県および神奈川県（13.5%）、愛知県（11.0%）となっている。

2泊以上周遊者属性

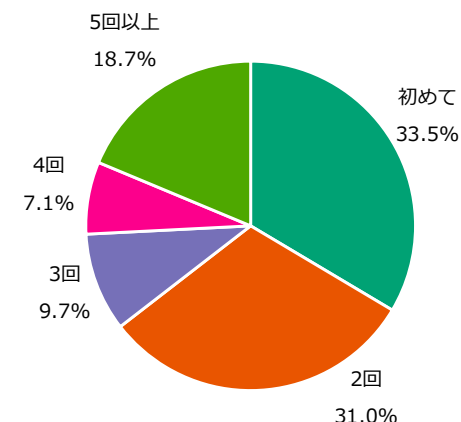
■ 性別（n=155）



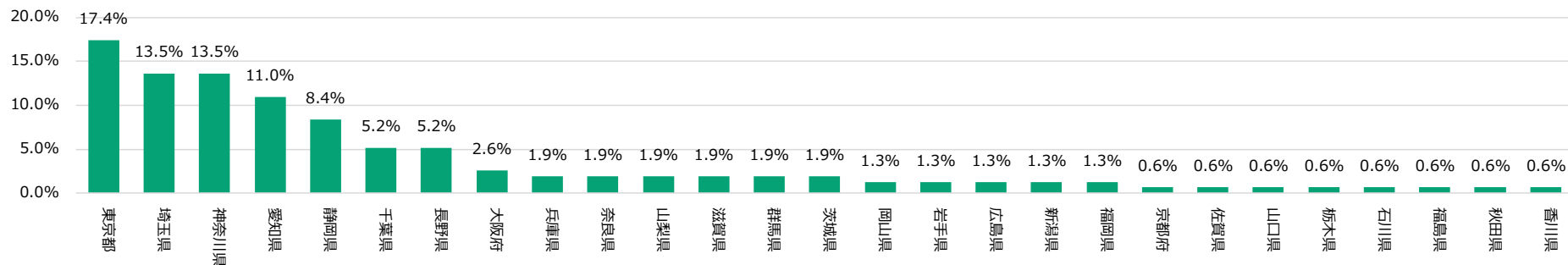
■ 年齢（n=155）



■ 来訪回数（n=155）



■ 居住地（n=155）



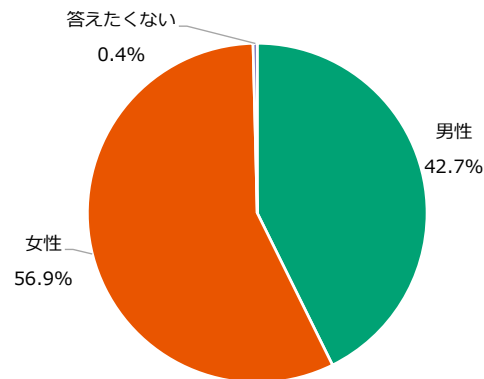
観光アンケート 回答結果（クロス分析）

滞在期間（泊数）日帰りの状況－基本属性

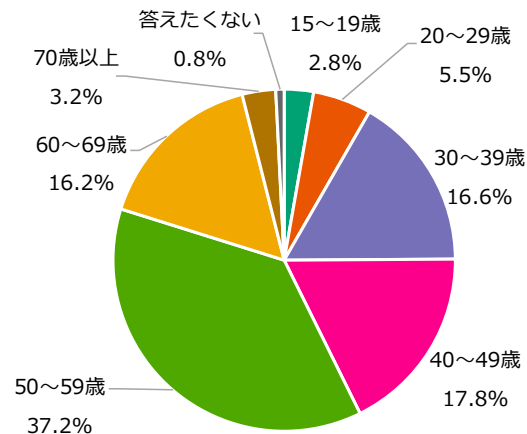
- ・年齢では50代が最も多く（37.2%）、次いで40代（17.8%）、30代（16.6%）となっている。
- ・来訪回数は5回以上が最も多い（47.0%）。
- ・居住地では、静岡県内の割合が圧倒的に多い。

日帰り

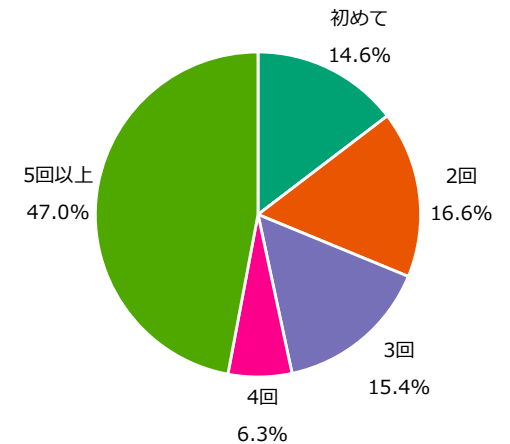
■ 性別（n=253）



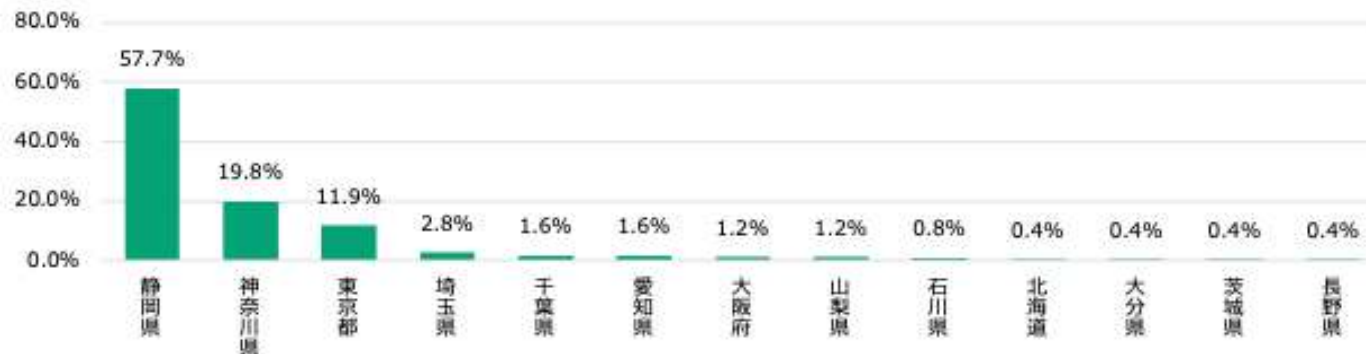
■ 年齢（n=253）



■ 来訪回数（n=253）



■ 居住地（n=253）

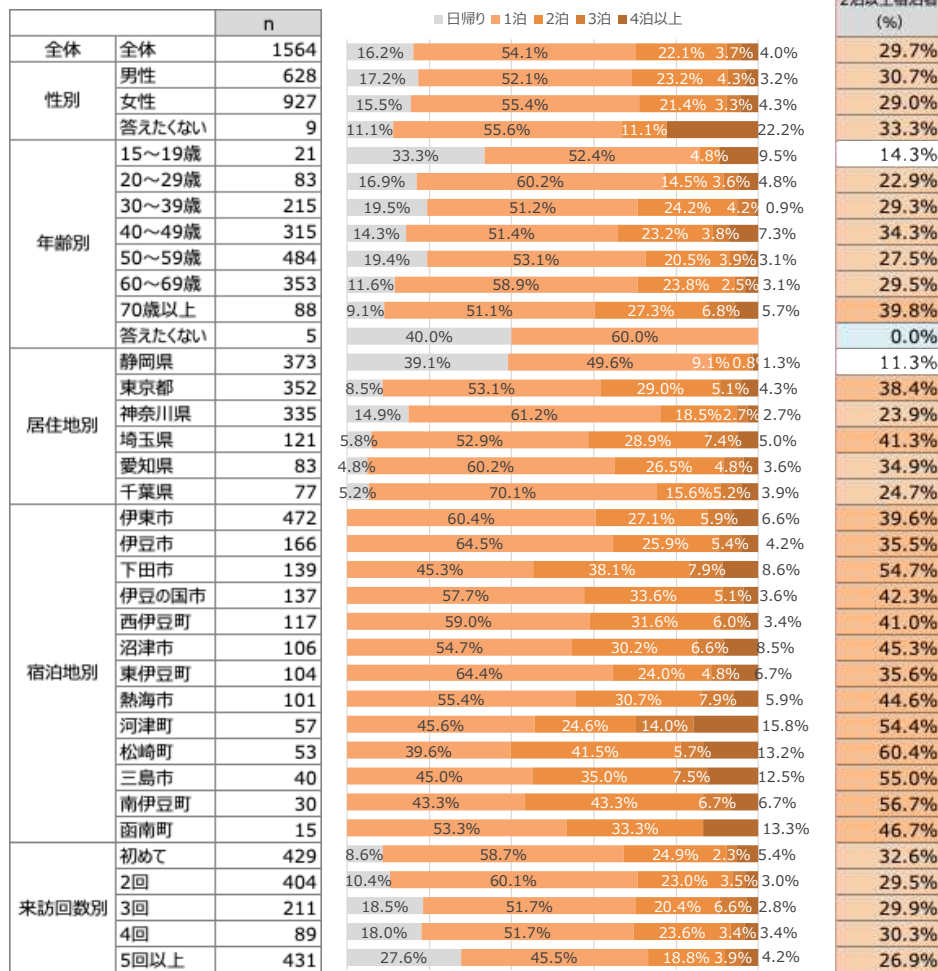


観光アンケート 回答結果（クロス分析）

滞在期間（泊数）の状況－基本属性別

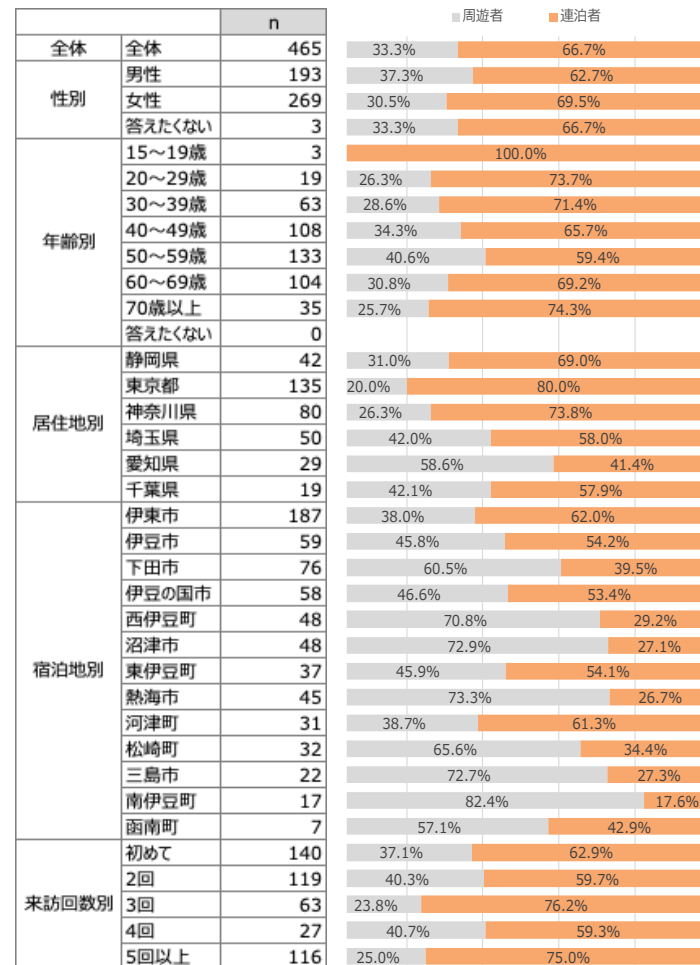
- ・南伊豆町、下田市、河津町、松崎町、三島市の滞在者は5割超が2泊以上となっている。
- ・初めての来訪者が最も宿泊率が高い。2泊以上では37.1%が周遊者となっている。
- ・同一市町への連泊率が最も高いのは伊東市。次いで河津町、伊豆市、東伊豆町と続く。

伊豆半島旅行者数



2泊以上宿泊者ベース

2泊以上宿泊者の「連泊旅行」or「周遊旅行」状況



観光アンケート 回答結果（クロス分析）

滞在期間（泊数）の状況－滞在地別

- ・連泊率が高いのは伊東市、伊豆市、伊豆の国市。
- ・周遊率が高いのは伊東市、下田市、沼津市、西伊豆町、熱海市。
- ・周遊の組み合わせとして高い割合を示しているのは三島市と沼津市、東伊豆町と伊東市、河津町と伊東市などが挙げられる。

2泊以上連泊者の宿泊地



		n	三島市	下田市	伊東市	伊豆の国市	伊豆市	函南町	南伊豆町	東伊豆町	松崎町	河津町	沼津市	熱海市	西伊豆町
全体	全体	310	1.9%	9.7%	37.4%	10.0%	10.3%	1.0%	1.0%	6.5%	3.5%	6.1%	4.2%	3.9%	4.5%
性別	男性	121	2.5%	10.7%	38.0%	14.0%	8.3%	0.8%	0.8%	5.0%	4.1%	5.0%	1.7%	5.0%	4.1%
	女性	187	1.6%	9.1%	37.4%	7.5%	10.7%	1.1%	1.1%	7.5%	3.2%	7.0%	5.9%	3.2%	4.8%
年齢別	答えたくない	2	-	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
	15～19歳	3	-	-	33.3%	-	33.3%	-	-	-	-	33.3%	-	-	-
	20～29歳	14	-	14.3%	35.7%	-	28.6%	-	-	-	-	21.4%	-	-	-
	30～39歳	45	-	13.3%	35.6%	2.2%	15.6%	-	2.2%	6.7%	2.2%	6.7%	2.2%	11.1%	-
	40～49歳	71	2.8%	8.5%	25.4%	14.1%	5.6%	2.8%	-	9.9%	9.9%	8.5%	5.6%	4.2%	2.8%
	50～59歳	79	3.8%	12.7%	41.8%	3.8%	7.6%	-	1.3%	6.3%	2.5%	6.3%	3.8%	5.1%	5.1%
	60～69歳	72	1.4%	5.6%	38.9%	18.1%	13.9%	1.4%	1.4%	6.9%	-	6.9%	-	1.4%	4.2%
	70歳以上	26	-	7.7%	57.7%	15.4%	-	-	-	-	3.8%	3.8%	-	11.5%	-
居住地別	答えたくない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	静岡県	29	-	20.7%	41.4%	-	17.2%	-	3.4%	-	3.4%	-	3.4%	3.4%	6.9%
	東京都	108	2.8%	6.5%	39.8%	12.0%	6.5%	0.9%	0.9%	6.5%	1.9%	8.3%	4.6%	7.4%	1.9%
	神奈川県	59	-	8.5%	32.2%	20.3%	10.2%	-	1.7%	3.4%	5.1%	6.8%	3.4%	3.4%	5.1%
	埼玉県	29	3.4%	17.2%	44.8%	3.4%	6.9%	-	-	6.9%	-	10.3%	-	-	6.9%
	千葉県	11	-	-	36.4%	-	18.2%	-	-	27.3%	-	-	9.1%	-	9.1%
宿泊地別	愛知県	12	-	8.3%	58.3%	8.3%	-	-	-	-	8.3%	8.3%	-	-	8.3%
	三島市	6	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	下田市	30	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	伊東市	116	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	伊豆の国市	31	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	伊豆市	32	-	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
	函南町	3	-	-	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-
	南伊豆町	3	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-
	東伊豆町	20	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	-
	松崎町	11	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	-	-	-
来訪回数別	河津町	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	-	-
	沼津市	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	-
	熱海市	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	-
	西伊豆町	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%
	初めて	88	2.3%	9.1%	39.8%	3.4%	11.4%	-	1.1%	8.0%	5.7%	4.5%	6.8%	3.4%	4.5%
	2回	71	-	15.5%	25.4%	14.1%	16.9%	1.4%	1.4%	5.6%	-	5.6%	5.6%	2.8%	5.6%
	3回	48	-	10.4%	35.4%	8.3%	10.4%	2.1%	2.1%	4.2%	6.3%	12.5%	2.1%	4.2%	2.1%
	4回	16	6.3%	6.3%	31.3%	-	6.3%	-	-	25.0%	6.3%	12.5%	-	6.3%	-
	5回以上	87	3.4%	5.7%	47.1%	16.1%	4.6%	1.1%	-	3.4%	2.3%	3.4%	2.3%	4.6%	5.7%

2泊以上周遊者の宿泊地



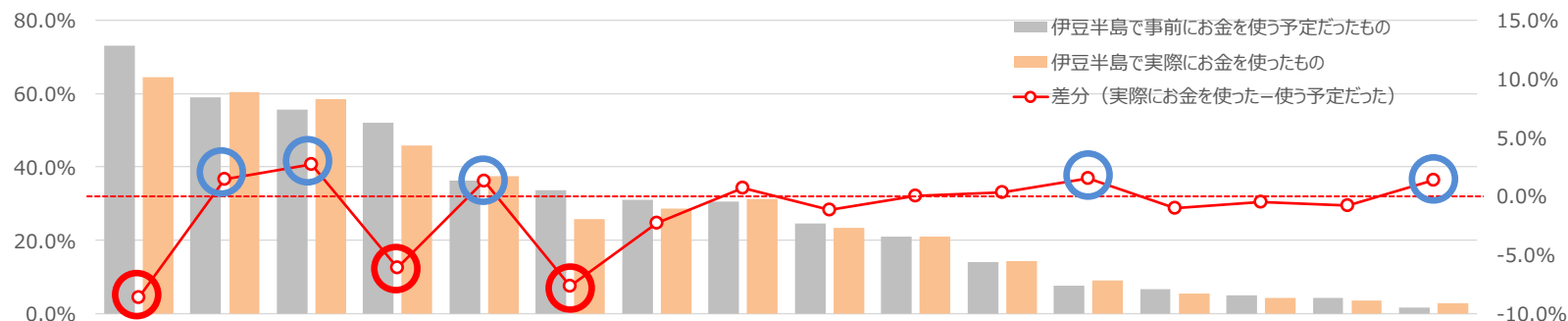
		n	三島市	下田市	伊東市	伊豆の国市	伊豆市	函南町	南伊豆町	東伊豆町	松崎町	河津町	沼津市	熱海市	西伊豆町
全体	全体	155	10.3%	29.7%	45.8%	17.4%	17.4%	2.6%	9.0%	11.0%	13.5%	7.7%	22.6%	21.3%	21.9%
性別	男性	72	4.2%	31.9%	48.6%	20.8%	15.3%	2.8%	9.7%	5.6%	18.1%	9.7%	26.4%	22.2%	18.1%
	女性	82	14.6%	28.0%	42.7%	14.6%	19.5%	2.4%	8.5%	15.9%	9.8%	6.1%	19.5%	20.7%	25.6%
年齢別	答えたくない	1	100.0%	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15～19歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	5	-	20.0%	60.0%	20.0%	40.0%	-	-	-	-	60.0%	-	40.0%	-
	30～39歳	18	11.1%	27.8%	44.4%	11.1%	11.1%	-	-	11.1%	11.1%	5.6%	44.4%	16.7%	27.8%
	40～49歳	37	13.5%	45.9%	40.5%	21.6%	18.9%	5.4%	13.5%	5.4%	18.9%	5.4%	27.0%	16.2%	21.6%
	50～59歳	54	11.1%	27.8%	46.3%	16.7%	13.0%	3.7%	7.4%	11.1%	14.8%	9.3%	20.4%	22.2%	18.5%
	60～69歳	32	3.1%	18.8%	53.1%	18.8%	18.8%	-	9.4%	12.5%	9.4%	3.1%	15.6%	25.0%	25.0%
	70歳以上	9	22.2%	22.2%	33.3%	11.1%	33.3%	-	22.2%	33.3%	11.1%	-	11.1%	22.2%	33.3%
居住地別	答えたくない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	静岡県	13	7.7%	23.1%	15.4%	23.1%	15.4%	7.7%	15.4%	15.4%	30.8%	-	30.8%	15.4%	38.5%
	東京都	27	3.7%	44.4%	55.6%	11.1%	18.5%	3.7%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	7.4%	18.5%	18.5%
	神奈川県	21	9.5%	14.3%	33.3%	42.9%	19.0%	4.8%	-	-	42.9%	9.5%	14.3%	14.3%	28.6%
	埼玉県	21	9.5%	38.1%	33.3%	9.5%	4.8%	-	14.3%	4.8%	4.8%	9.5%	38.1%	23.8%	23.8%
	千葉県	8	-	12.5%	62.5%	12.5%	12.5%	-	25.0%	-	-	25.0%	37.5%	12.5%	12.5%
宿泊地別	愛知県	17	23.5%	11.8%	58.8%	23.5%	17.6%	-	-	5.9%	11.8%	-	23.5%	29.4%	5.9%
	三島市	16	100.0%	12.5%	25.0%	18.8%	18.8%	6.3%	-	18.8%	-	-	37.5%	18.8%	18.8%
	下田市	46	4.3%	100.0%	34.8%	8.7%	10.9%	4.3%	4.3%	8.7%	13.0%	6.5%	17.4%	13.0%	17.4%
	伊東市	71	5.6%	22.5%	100.0%	11.3%	14.1%	1.4%	9.9%	14.1%	7.0%	9.9%	14.1%	23.9%	5.6%
	伊豆の国市	27	11.1%	14.8%	29.6%	100.0%	25.9%	11.1%	3.7%	-	18.5%	3.7%	25.9%	11.1%	18.5%
	伊豆市	27	11.1%	18.5%	37.0%	25.9%	100.0%	3.7%	3.7%	3.7%	7.4%	11.1%	11.1%	29.6%	18.5%
	函南町	4	25.0%	50.0%	25.0%	75.0%	25.0%	100.0%	-	-	-	-	75.0%	-	-
	南伊豆町	14	-	14.3%	50.0%	7.1%	7.1%	-	100.0%	-	7.1%	-	21.4%	14.3%	14.3%
	東伊豆町	17	17.6%	23.5%	58.8%	-	5.9%	-	-	100.0%	5.9%	-	11.8%	11.8%	29.4%
	松崎町	21	-	28.6%	23.8%	23.8%	9.5%	-	4.8%	4.8%	100.0%	-	14.3%	4.8%	28.6%
来訪回数別	河津町	12	-	25.0%	58.3%	8.3%	25.0%	-	-	-	-	100.0%	16.7%	8.3%	-
	沼津市	35	17.1%	22.9%	28.6%	20.0%	8.6%	8.6%	8.6%	5.7%	8.6%	5.7%	100.0%	8.6%	20.0%
	熱海市	33	9.1%	18.2%	51.5%	9.1%	24.2%	-	6.1%	6.1%	3.0%	3.0%	9.1%	100.0%	12.1%
	西伊豆町	34	8.8%	23.5%	11.8%	14.7%	14.7%	-	5.9%	14.7%	17.6%	-	20.6%	11.8%	100.0%
	初めて	52	19.2%	30.8%	50.0%	15.4%	23.1%	5.8%	9.6%	17.3%	9.6%	5.8%	19.2%	30.8%	13.5%
	2回	48	4.2%	35.4%	45.8%	16.7%	12.5%	2.1%	6.3%	12.5%	14.6%	12.5%	18.8%	10.4%	18.8%
	3回	15	-	40.0%	33.3%	6.7%	20.0%	-	13.3%	6.7%	20.0%	6.7%	40.0%	20.0%	40.0%
	4回	11	-	-	72.7%	45.5%	18.2%	-	9.1%	-	-	-	18.2%	18.2%	27.3%
	5回以上	29	13.8%	24.1%	34.5%	17.2%	13.8%	-	10.3%	3.4%	20.7%	6.9%	27.6%	24.1%	31.0%

観光アンケート 回答結果（クロス分析）

事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- ・ 差分マイナス＝予定よりもそのカテゴリについてのお金を使っていない（機会ロス）は、食事（海鮮）、施設入場料（観光施設等）、土産（水産物:生鮮食品）の3カテゴリが目立つ結果となった。
- ・ 土産（菓子）、食事（海鮮以外）、買物（スーパー・ドラッグストア・コンビニ）、土産（その他）、その他などの差分がプラスとなっている。

全体



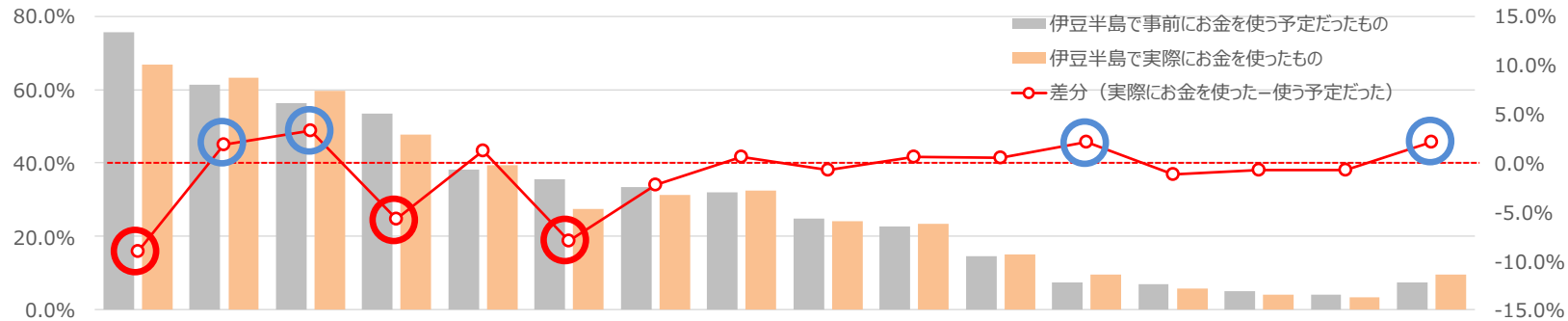
	n	食事（海鮮）	土産（菓子）	食事（海鮮以外）	施設入場料（観光施設等）	買物（スーパー・ドラッグストア・コンビニ）	土産（水産物：生鮮食品）	土産（水産加工物）	交通バス・タクシー等	土産（農産物：生鮮食品）	土産（地酒・地ビール）	土産（農産加工品）	土産（その他）	体験（アウトドア・スポーツ）	土産（工芸品）	体験（ガイド・案内人）	その他
伊豆半島で事前にお金を使う予定だったもの	1564	73.1%	59.0%	55.7%	52.0%	36.3%	33.6%	31.1%	30.6%	24.6%	21.0%	14.1%	7.7%	6.6%	4.9%	4.3%	1.6%
伊豆半島で実際にお金を使ったもの	1564	64.5%	60.5%	58.4%	45.9%	37.6%	25.9%	28.8%	31.3%	23.4%	21.1%	14.5%	9.2%	5.6%	4.4%	3.5%	2.9%
差分（実際にお金を使ったー使う予定だった）	1564	-8.6%	1.5%	2.7%	-6.1%	1.3%	-7.7%	-2.3%	0.7%	-1.2%	0.1%	0.3%	1.5%	-1.0%	-0.5%	-0.8%	1.3%

観光アンケート 回答結果（クロス分析）

事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 機会ロスは、全体と同じく食事（海鮮）、施設入場料（観光施設等）、土産（水産物:生鮮食品）の3カテゴリが目立つ結果となった。
- 土産（菓子）、食事（海鮮以外）土産（その他）、その他などの差分がプラスとなっている。

宿泊者全体



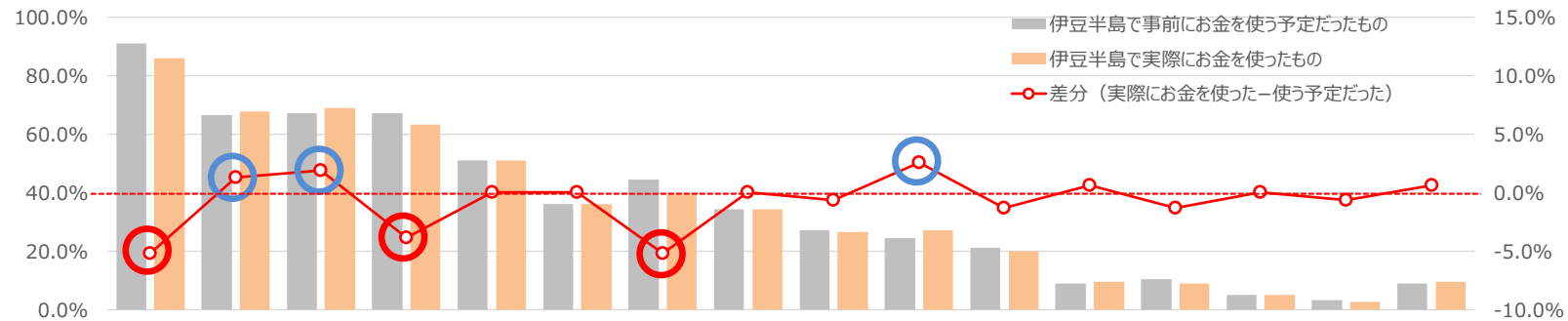
	n	食事（海鮮）	土産（菓子）	食事（海鮮以外）	施設入場料（観光施設等）	買物（スーパー・ドラッグス）	土産（水産物：生鮮食品）	土産（水産加工物）	交通（バス・タクシー等）	土産（農産物：生鮮食品）	土産（地酒・地ビール）	土産（農産加工品）	土産（その他）	体験（アウトドア・スポーツ）	土産（工芸品）	体験（ガイド・案内人）	その他
伊豆半島で事前にお金を使う予定だったもの	1311	75.7%	61.3%	56.4%	53.4%	38.2%	35.5%	33.4%	32.0%	24.9%	22.7%	14.6%	7.5%	6.9%	5.0%	4.0%	7.5%
伊豆半島で実際にお金を使ったもの	1311	66.7%	63.2%	59.7%	47.7%	39.4%	27.5%	31.2%	32.6%	24.2%	23.3%	15.1%	9.6%	5.8%	4.2%	3.4%	9.6%
差分（実際にお金を使ったー使う予定だった）	1311	-9.0%	1.9%	3.3%	-5.7%	1.2%	-8.0%	-2.2%	0.6%	-0.8%	0.6%	0.5%	2.1%	-1.1%	-0.8%	-0.7%	2.1%

観光アンケート 回答結果（クロス分析）

事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 機会ロスは、食事（海鮮）、施設入場料（観光施設等）、土産（水産加工物）の3カテゴリが目立つ結果となった。
- 土産（菓子）、食事（海鮮以外）土産（地酒・地ビール）などの差分がプラスとなっている。

2泊以上周遊者属性



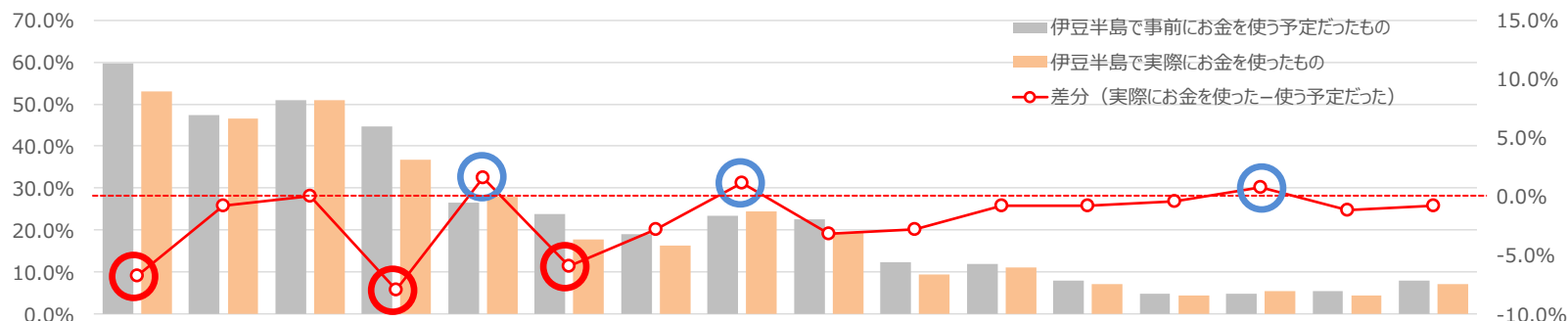
	n	食事（海鮮）	土産（菓子）	食事（海鮮以外）	施設入場料（観光施設等）	買物（スーパー・ドラッグス）	土産（水産物：生鮮食品）	土産（水産加工物）	交通（バス・タクシー等）	土産（農産物：生鮮食品）	土産（地酒・地ビール）	土産（農産加工品）	土産（その他）	体験（アウトドア・スポーツ）	土産（工芸品）	体験（ガイド・案内人）	その他
伊豆半島で事前にお金を使う予定だったもの	155	91.0%	66.5%	67.1%	67.1%	51.0%	36.1%	44.5%	34.2%	27.1%	24.5%	21.3%	9.0%	10.3%	5.2%	3.2%	9.0%
伊豆半島で実際にお金を使ったもの	155	85.8%	67.7%	69.0%	63.2%	51.0%	36.1%	39.4%	34.2%	26.5%	27.1%	20.0%	9.7%	9.0%	5.2%	2.6%	9.7%
差分（実際にお金を使ったー使う予定だった）	155	-5.2%	1.3%	1.9%	-3.9%	0.0%	0.0%	-5.2%	0.0%	-0.6%	2.6%	-1.3%	0.6%	-1.3%	0.0%	-0.6%	0.6%

観光アンケート 回答結果（クロス分析）

事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 機会ロスは、全体と同じく食事（海鮮）、施設入場料（観光施設等）、土産（水産物：生鮮食品）の3カテゴリが目立つ結果となった。
- 買物（スーパー・ドラッグストア・コンビニ）、交通 バス・タクシー等、土産（工芸品）の差分がプラスとなっている。

日帰り



	n	食事（海鮮）	土産（菓子）	食事（海鮮以外）	施設入場料（観光施設等）	買物（スーパー・コンビニ）	土産（水産物：生鮮食品）	土産（水産加工物）	交通（バス・タクシー等）	土産（農産物：生鮮食品）	土産（地酒・地ビール）	土産（農産加工品）	土産（その他）	体験（アウトドア・スポーツ）	土産（工芸品）	体験（ガイド・案内人）	その他
伊豆半島で事前にお金を使う予定だったもの	253	59.7%	47.4%	51.0%	44.7%	26.5%	23.7%	19.0%	23.3%	22.5%	12.3%	11.9%	7.9%	4.7%	4.7%	5.5%	7.9%
伊豆半島で実際にお金を使ったもの	253	53.0%	46.6%	51.0%	36.8%	28.1%	17.8%	16.2%	24.5%	19.4%	9.5%	11.1%	7.1%	4.3%	5.5%	4.3%	7.1%
差分（実際にお金を使ったー使う予定だった）	253	-6.7%	-0.8%	0.0%	-7.9%	1.6%	-5.9%	-2.8%	1.2%	-3.2%	-2.8%	-0.8%	-0.8%	-0.4%	0.8%	-1.2%	-0.8%

観光アンケート 回答結果（クロス分析）

事前の消費意向と実際の使途の分析（属性別）

- 40代～70代で、食事（海鮮）の差分（機会ロス）が10%前後発生している。
- 60代や1泊の宿泊者は、土産（水産物：生鮮食品）の機会ロスが10%前後と大きい。
- 30～50代や4泊以上の宿泊者において、施設入場料（観光施設等）での機会ロスが大きい。

事前にお金を使う予定だったもの

		n	食事 (海鮮)	土産 (水産物：生鮮食品)	施設 入場料 (観光施設等)
全体	全体	1564	73.1%	33.6%	52.0%
性別	男性	628	74.8%	35.2%	48.2%
	女性	927	72.2%	32.5%	54.7%
	答えたくない	9	55.6%	33.3%	33.3%
年齢別	15～19歳	21	61.9%	28.6%	28.6%
	20～29歳	83	84.3%	31.3%	63.9%
	30～39歳	215	70.7%	27.0%	60.5%
	40～49歳	315	74.9%	31.1%	56.2%
	50～59歳	484	72.9%	35.5%	48.8%
	60～69歳	353	70.8%	37.7%	47.3%
	70歳以上	88	77.3%	36.4%	47.7%
	答えたくない	5	40.0%	0.0%	40.0%
居住地別	首都圏1都3県	885	76.0%	35.0%	50.3%
	静岡県	373	64.1%	28.2%	49.6%
	その他	306	75.8%	35.9%	59.8%
宿泊地別	南伊豆	105	78.1%	49.5%	54.3%
	東伊豆	586	73.9%	32.8%	52.4%
	中伊豆	272	71.0%	31.6%	49.6%
	西伊豆	181	74.0%	40.9%	50.3%
泊数別	日帰り	253	59.7%	23.7%	44.7%
	1泊	846	72.1%	35.0%	50.9%
	2泊	345	80.6%	35.7%	59.1%
	3泊	58	93.1%	37.9%	53.4%
	4泊以上	62	82.3%	38.7%	54.8%

実際にお金を使ったもの

食事 (海鮮)	土産 (水産物：生鮮食品)	施設 入場料 (観光施設等)
64.5%	25.9%	45.9%
66.7%	29.6%	40.8%
63.1%	23.4%	49.5%
55.6%	22.2%	33.3%
57.1%	23.8%	33.3%
81.9%	28.9%	63.9%
63.3%	22.8%	50.7%
64.4%	24.8%	48.6%
64.7%	27.5%	42.4%
61.5%	26.1%	41.6%
65.9%	27.3%	47.7%
40.0%	0.0%	40.0%
68.5%	27.9%	44.1%
55.2%	18.8%	42.9%
64.4%	28.8%	54.9%
74.3%	37.1%	52.4%
64.3%	23.7%	45.7%
59.2%	22.4%	43.8%
64.1%	32.0%	43.1%
53.0%	17.8%	36.8%
62.2%	25.2%	45.4%
72.8%	29.3%	53.6%
82.8%	39.7%	48.3%
80.6%	37.1%	45.2%

機会ロス = 差分(実際 - 予定)

食事 (海鮮)	土産 (水産物：生鮮食品)	施設 入場料 (観光施設等)
-8.6%	-7.7%	-6.1%
-8.1%	-5.6%	-7.5%
-9.1%	-9.1%	-5.2%
0.0%	-11.1%	0.0%
-4.8%	-4.8%	4.8%
-2.4%	-2.4%	0.0%
-7.4%	-4.2%	-9.8%
-10.5%	-6.3%	-7.6%
-8.3%	-8.1%	-6.4%
-9.3%	-11.6%	-5.7%
-11.4%	-9.1%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%
-7.6%	-7.1%	-6.2%
-8.8%	-9.4%	-6.7%
-11.4%	-7.2%	-4.9%
-3.8%	-12.4%	-1.9%
-9.6%	-9.0%	-6.7%
-11.8%	-9.2%	-5.9%
-9.9%	-8.8%	-7.2%
-6.7%	-5.9%	-7.9%
-9.9%	-9.8%	-5.6%
-7.8%	-6.4%	-5.5%
-10.3%	1.7%	-5.2%
-1.6%	-1.6%	-9.7%

観光アンケート 回答結果（クロス分析）

事前の消費意向と実際の使途の分析（予実金額層別）

- 比較的ボリュームゾーンである「実際の支出が5,000～9,999円」の回答者層は、食事（海鮮）・土産（水産物：生鮮食品）のカテゴリで大きな機会ロスが生じている。
- 実際の支出が「10,000～19,999円」～「30,000～39,999円」の回答者層は、3つのカテゴリで機会ロスが生じているものの、10%未満に留まった。
- 実際の支出が50,000円以上になると、差分がプラスになっている項目が多い。

予定額		事前にお金を使う予定だったもの			実際にお金を使ったもの			機会ロス = 差分(実際-予定)		
	n	(食事 海鮮)	(土産 水産物 生鮮食品)	(等) (施設 観光入 施場設 料)	(食事 海鮮)	(土産 水産物 生鮮食品)	(等) (施設 観光入 施場設 料)	(食事 海鮮)	(土産 水産物 生鮮食品)	(等) (施設 観光入 施場設 料)
全体	1564	73.1%	33.6%	52.0%	64.5%	25.9%	45.9%	-8.6%	-7.7%	-6.1%
5,000円未満	225	44.0%	12.9%	35.6%	34.2%	11.6%	28.9%	-9.8%	-1.3%	-6.7%
5,000～9,999円	346	64.2%	28.3%	45.4%	51.7%	17.3%	41.3%	-12.4%	-11.0%	-4.0%
10,000～19,999円	463	78.8%	35.9%	52.7%	71.7%	28.1%	45.6%	-7.1%	-7.8%	-7.1%
20,000～29,999円	264	84.5%	42.8%	61.0%	76.9%	30.3%	55.3%	-7.6%	-12.5%	-5.7%
30,000～39,999円	124	87.1%	45.2%	68.5%	79.8%	37.1%	61.3%	-7.3%	-8.1%	-7.3%
40,000～49,999円	58	89.7%	43.1%	65.5%	82.8%	39.7%	56.9%	-6.9%	-3.4%	-8.6%
50,000～99,999円	71	87.3%	46.5%	59.2%	83.1%	52.1%	49.3%	-4.2%	5.6%	-9.9%
100,000円以上	13	100.0%	38.5%	46.2%	92.3%	23.1%	69.2%	-7.7%	-15.4%	23.1%

実際の支出額										
	n	(食事 海鮮)	(土産 水産物 生鮮食品)	(等) (施設 観光入 施場設 料)	(食事 海鮮)	(土産 水産物 生鮮食品)	(等) (施設 観光入 施場設 料)	(食事 海鮮)	(土産 水産物 生鮮食品)	(等) (施設 観光入 施場設 料)
全体	1564	73.1%	33.6%	52.0%	64.5%	25.9%	45.9%	-8.6%	-7.7%	-6.1%
5,000円未満	270	45.6%	16.3%	35.6%	32.2%	11.9%	25.6%	-13.3%	-4.4%	-10.0%
5,000～9,999円	384	66.1%	31.3%	49.0%	56.0%	17.4%	41.7%	-10.2%	-13.8%	-7.3%
10,000～19,999円	463	80.6%	35.2%	52.9%	73.2%	28.1%	48.6%	-7.3%	-7.1%	-4.3%
20,000～29,999円	235	89.4%	44.7%	64.3%	80.9%	35.7%	58.7%	-8.5%	-8.9%	-5.5%
30,000～39,999円	113	88.5%	45.1%	60.2%	85.0%	42.5%	56.6%	-3.5%	-2.7%	-3.5%
40,000～49,999円	41	85.4%	56.1%	73.2%	82.9%	39.0%	63.4%	-2.4%	-17.1%	-9.8%
50,000～99,999円	49	81.6%	36.7%	61.2%	79.6%	51.0%	61.2%	-2.0%	14.3%	0.0%
100,000円以上	9	100.0%	11.1%	55.6%	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	22.2%	11.1%

参考：伊豆半島内での支出予定品目と実際の支出品目との比較（全体）

- 順位が下がった品目は、土産（水産物：生鮮食品）である。
- 順位が上がった品目は、交通 バス・タクシー等である。

予定品目ランキング

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場料（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	土産（水産物：生鮮食品）
7.	土産（水産加工物）
8.	交通 バス・タクシー等
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=1,564)

実際の支出品目ランキング

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場料（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	交通 バス・タクシー等
7.	土産（水産加工物）
8.	土産（水産物：生鮮食品）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=1,564)

参考：伊豆半島内での支出予定品目の比較

青：全体と比較して順位が2段階以上上がったもの
赤：全体と比較して順位が2段階以上下がったもの

全体のランキング（予定）

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場料（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	土産（水産物：生鮮食品）
7.	土産（水産加工物）
8.	交通 バス・タクシー等
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=1,564)

男性・女性ランキング（予定）

男性

女性

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	食事（海鮮以外）
3.	土産（菓子）
4.	施設入場料（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	土産（水産物：生鮮食品）
7.	土産（水産加工物）
8.	交通 バス・タクシー等
9.	土産（地酒・地ビール）
10.	土産（農産物：生鮮食品）

(n=628)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場料（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	土産（水産物：生鮮食品）
7.	交通 バス・タクシー等
8.	土産（水産加工物）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=927)

旅行形態・年齢ランキング（予定）

居住地ランキング（予定）

夫婦・カップル旅行

子ども連れ家族旅行

2泊以上

首都圏1都3県

静岡県

それ以外

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	土産（水産物：生鮮食品）
6.	買物（スーパー等）
7.	土産（水産加工物）
8.	土産（農産物：生鮮食品）
9.	交通 バス・タクシー等
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=681)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	施設入場（観光施設等）
4.	食事（海鮮以外）
5.	買物（スーパー等）
6.	土産（水産物：生鮮食品）
7.	土産（水産加工物）
8.	交通 バス・タクシー等
9.	土産（地酒・地ビール）
10.	土産（農産物：生鮮食品）

(n=310)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	食事（海鮮以外）
3.	土産（菓子）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	土産（水産加工物）
7.	交通 バス・タクシー等
8.	土産（水産物：生鮮食品）
9.	土産（地酒・地ビール）
10.	土産（農産物：生鮮食品）

(n=465)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	交通 バス・タクシー等
7.	土産（水産物：生鮮食品）
8.	土産（水産加工物）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=885)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	土産（水産物：生鮮食品）
7.	土産（農産物：生鮮食品）
8.	土産（水産加工物）
9.	交通 バス・タクシー等
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=373)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	施設入場（観光施設等）
4.	食事（海鮮以外）
5.	買物（スーパー等）
6.	土産（水産加工物）
7.	土産（水産物：生鮮食品）
8.	交通 バス・タクシー等
9.	土産（地酒・地ビール）
10.	土産（農産物：生鮮食品）

(n=306)

参考：伊豆半島内での実際の支出品目の比較

青：予定と比較して順位が2段階以上上がったもの
赤：予定と比較して順位が2段階以上下がったもの

全体のランキング（実際）

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場料（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	交通 バス・タクシー等 ↑
7.	土産（水産加工物）
8.	土産（水産物：生鮮食品） ↓
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=1,564)

男性・女性ランキング（実際）

男性

女性

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	食事（海鮮以外）
3.	土産（菓子）
4.	施設入場料（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	交通 バス・タクシー等 ↑
7.	土産（水産加工物）
8.	土産（水産物：生鮮食品） ↓
9.	土産（地酒・地ビール）
10.	土産（農産物：生鮮食品）

(n=628)

順位	品目
1.	土産（菓子）
2.	食事（海鮮）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場料（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	交通 バス・タクシー等
7.	土産（水産加工物）
8.	土産（農産物：生鮮食品）
9.	土産（水産物：生鮮食品） ↓
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=927)

旅行形態・年齢ランキング（実際）

夫婦・カップル旅行

子ども連れ家族旅行

2泊以上

首都圏1都3県

静岡県

それ以外

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	土産（水産加工物）
7.	土産（農産物：生鮮食品）
8.	土産（水産物：生鮮食品） ↓
9.	交通 バス・タクシー等
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=681)

順位	品目
1.	土産（菓子）
2.	食事（海鮮）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	交通 バス・タクシー等 ↑
7.	土産（水産加工物）
8.	土産（水産物：生鮮食品） ↓
9.	土産（地酒・地ビール）
10.	土産（農産物：生鮮食品）

(n=310)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	食事（海鮮以外）
3.	土産（菓子）
4.	買物（スーパー等）
5.	施設入場（観光施設等）
6.	土産（水産加工物）
7.	交通 バス・タクシー等
8.	土産（水産物：生鮮食品）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=465)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	交通 バス・タクシー等
7.	土産（水産加工物）
8.	土産（水産物：生鮮食品）
9.	土産（地酒・地ビール）
10.	土産（農産物：生鮮食品）

(n=885)

順位	品目
1.	土産（菓子）
2.	食事（海鮮）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	土産（水産加工物） ↑
7.	交通 バス・タクシー等 ↑
8.	土産（水産物：生鮮食品） ↓
9.	土産（農産物：生鮮食品） ↓
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=373)

順位	品目
1.	土産（菓子）
2.	食事（海鮮）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	土産（水産加工物）
7.	交通 バス・タクシー等
8.	土産（水産物：生鮮食品）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=306)

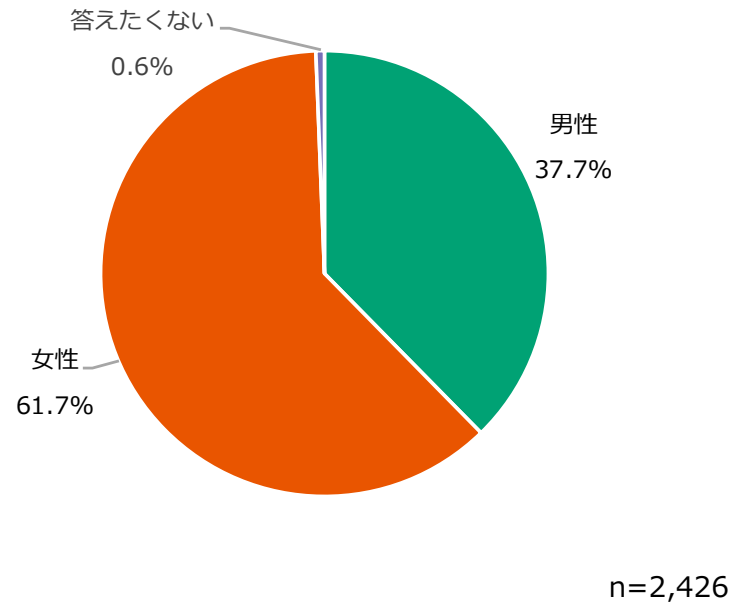
観光アンケート調査結果
2023年度（2023年7月～2024年2月）と
2024年度（2024年7月～2025年2月）の比較

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

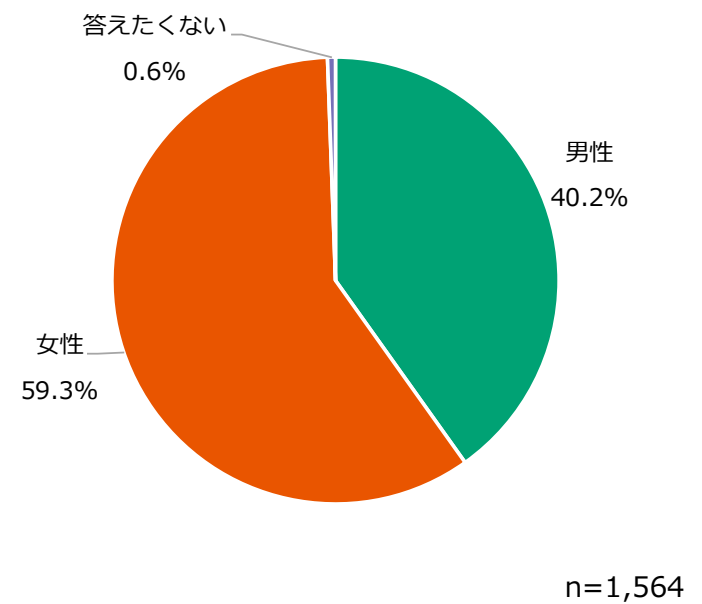
性別

- 2024年度は、2023年度と同じく女性が約6割を占めた。

2023年度



2024年度

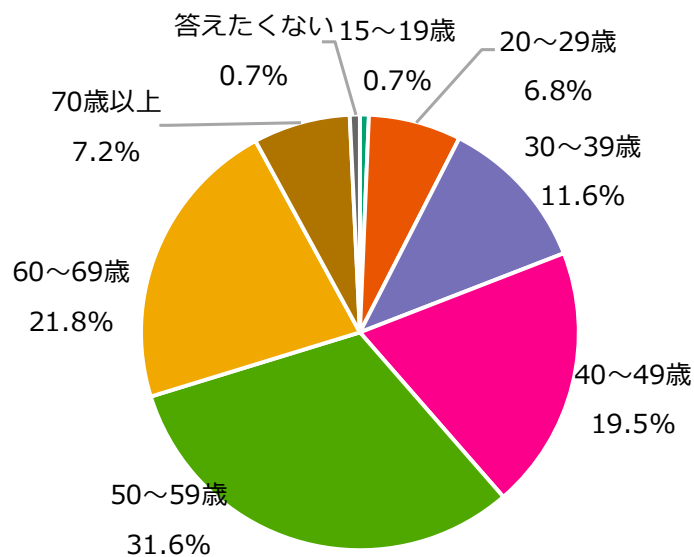


観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

年齢

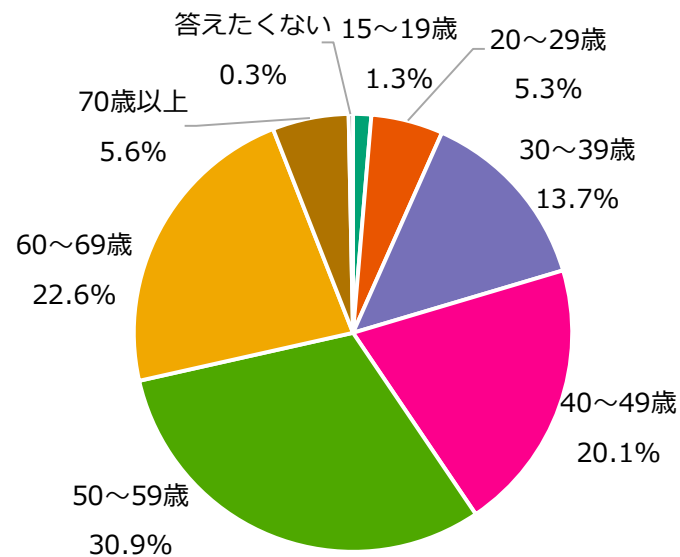
- 2023年度と比べて、2024年度は30代の割合が2.1ポイント増加した。
- 20代が1.5ポイント、70歳以上が1.6ポイント減少している。

2023年度



n=2,426

2024年度



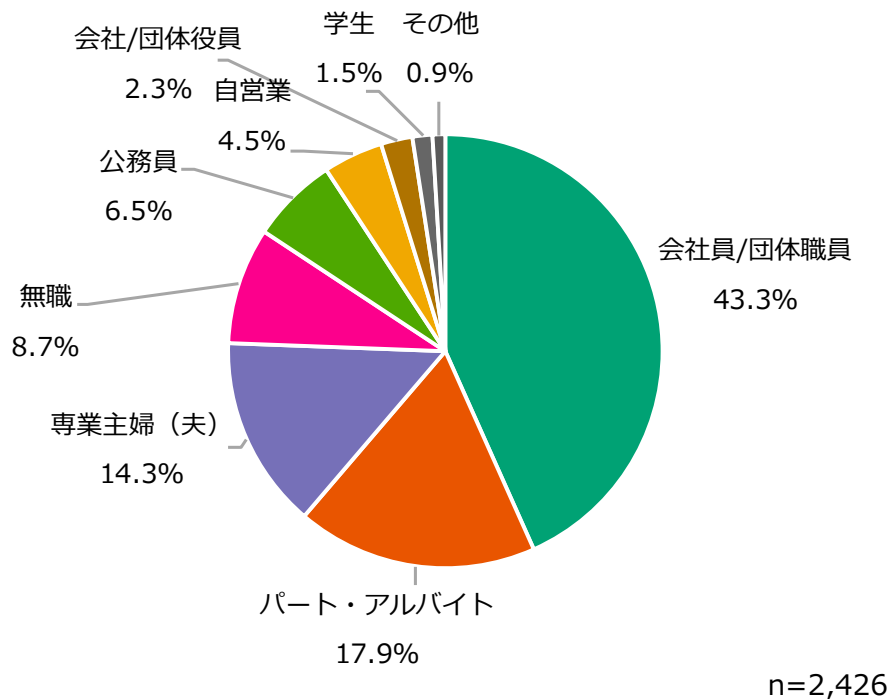
n=1,564

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

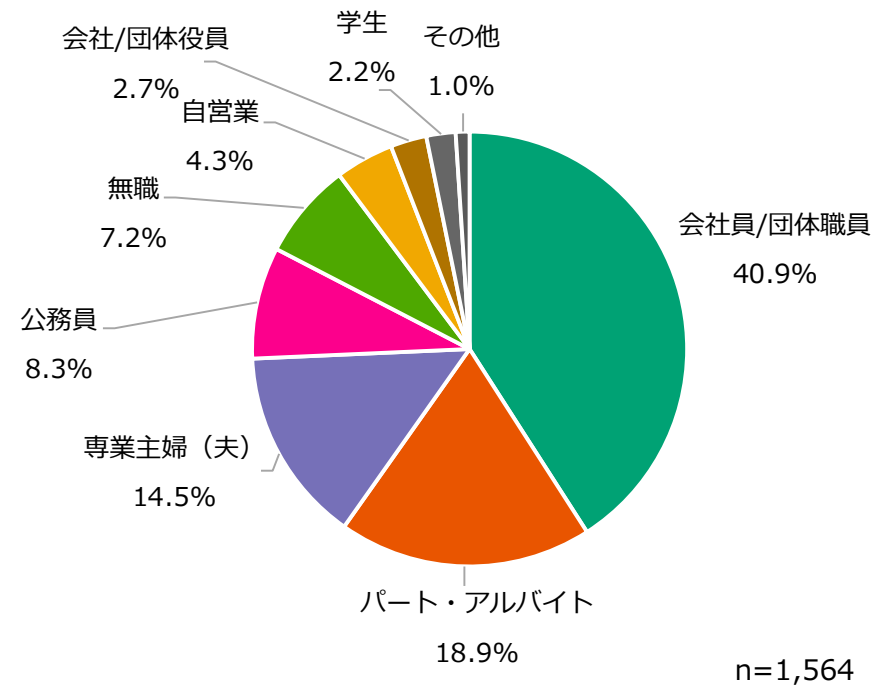
職業

- 2023年度と比べて、2024年度は会社員/団体職員の割合が2.4ポイント減少した。
- パート・アルバイトは1.0ポイント増加している。

2023年度



2024年度



【その他】※回答数の多い順

派遣社員（6名）、医師（3名）、教員（3名）、契約社員（2名）、看護師（2名）、ドライバー（1名、以降同じ）、フリーランス、介護士、放課後児童支援員、牧師、雑誌編集、非常勤職員

【その他】※回答数の多い順

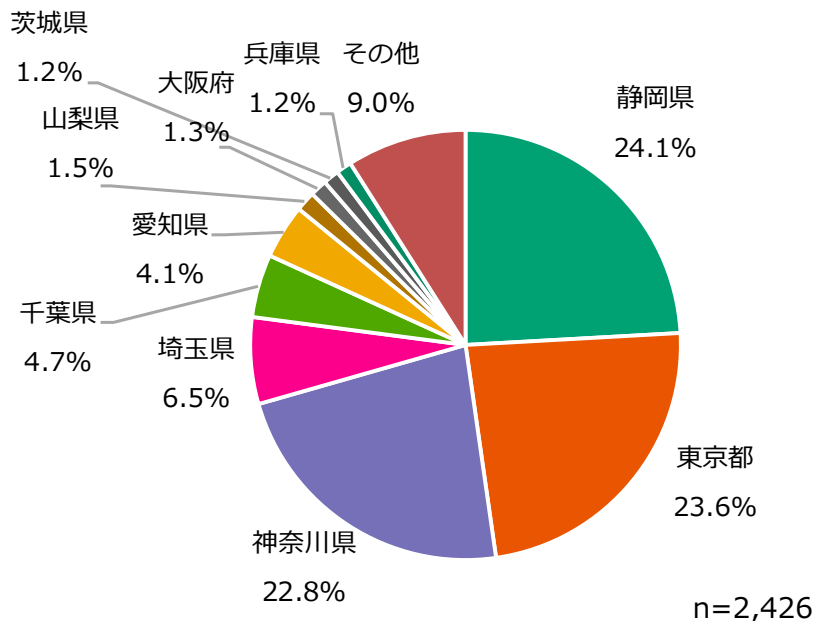
派遣社員（4名）、フィットネス（1名、以降同じ）、フリーランス、介護士、会計年度任用職員、保育士、兼業主婦、医師、契約社員、建設作業員、看護師、自由業

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

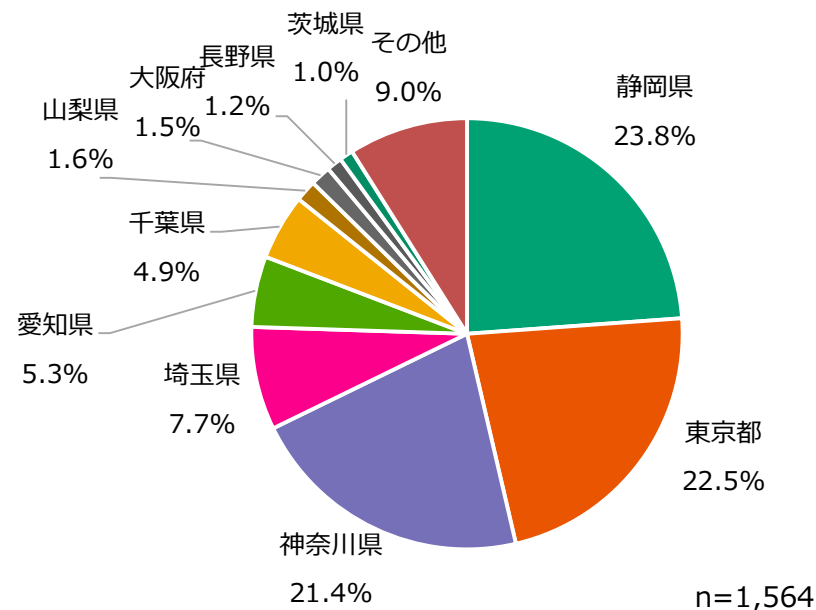
居住地（都道府県名）

- 2024年度は、2023年度と同じく静岡県、東京都、神奈川県、埼玉県の順となった。
- 愛知県の割合が1.2ポイント増加しており、2023年度の6位から5位に浮上した。

2023年度



2024年度



【その他】※回答数の多い順

長野県、栃木県、京都府、群馬県、新潟県、三重県、宮城県、福島県、北海道、岐阜県、滋賀県、岡山県、奈良県、山形県、岩手県、広島県、青森県、島根県、石川県、福岡県、高知県、和歌山県、秋田県、大分県、宮崎県、富山県、徳島県、愛媛県、沖縄県、熊本県、福井県、香川県

【その他】※回答数の多い順

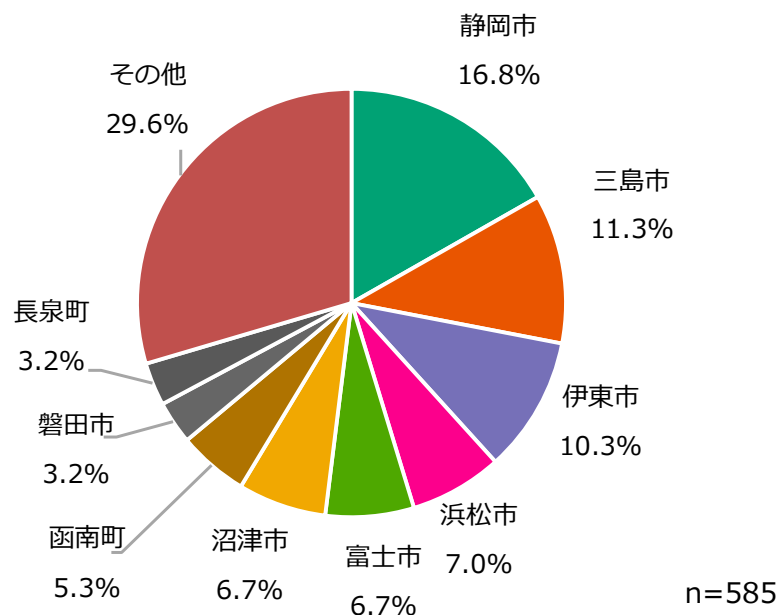
京都府、兵庫県、群馬県、栃木県、新潟県、福島県、北海道、岐阜県、石川県、奈良県、滋賀県、福岡県、三重県、宮城県、岡山県、広島県、佐賀県、富山県、山口県、岩手県、大分県、島根県、徳島県、沖縄県、福井県、秋田県、青森県、香川県

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

静岡県に居住している場合の市町名（単一回答）

- 2024年度で最も多くを占めたのは、2023年度と同じく静岡市となった。割合は5.5ポイント増加している。
- 2023年度は伊東市が3位だったのに対し、2024年度は浜松市が3位となった。

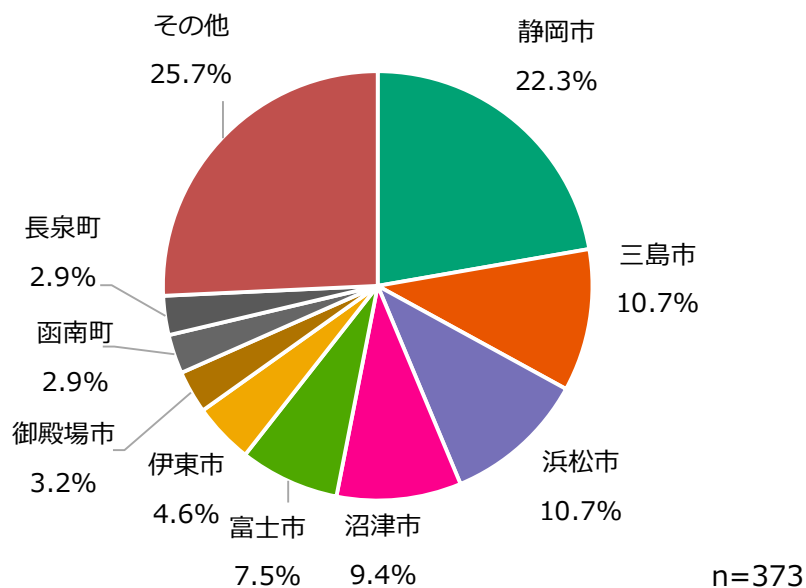
2023年度



【その他】※回答数の多い順

伊豆の国市、富士宮市、裾野市、御殿場市、藤枝市、下田市、伊豆市、掛川市、清水町、熱海市、袋井市、東伊豆町、南伊豆町、島田市、焼津市、菊川市、河津町、西伊豆町、松崎町、牧之原市、吉田町、御前崎市、森町、湖西市

2024年度



【その他】※回答数の多い順

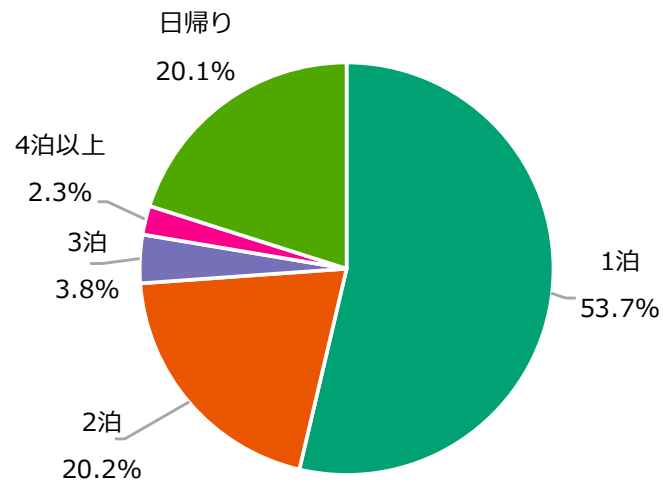
下田市、富士宮市、磐田市、伊豆の国市、藤枝市、伊豆市、掛川市、清水町、裾野市、島田市、東伊豆町、熱海市、河津町、焼津市、小山町、牧之原市、松崎町、森町、湖西市

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

問1. 今回の旅行で伊豆半島に何泊しましたか。（単一回答）

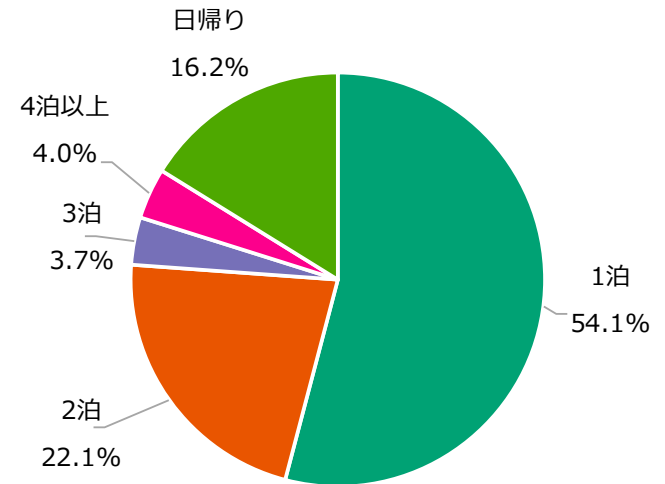
- 2024年度は、2023年度と比べて2泊の割合が1.9ポイント増加した。4泊以上も1.7ポイント増加している。
- 日帰りは3.9ポイント減少した。

2023年度



n=2,426

2024年度



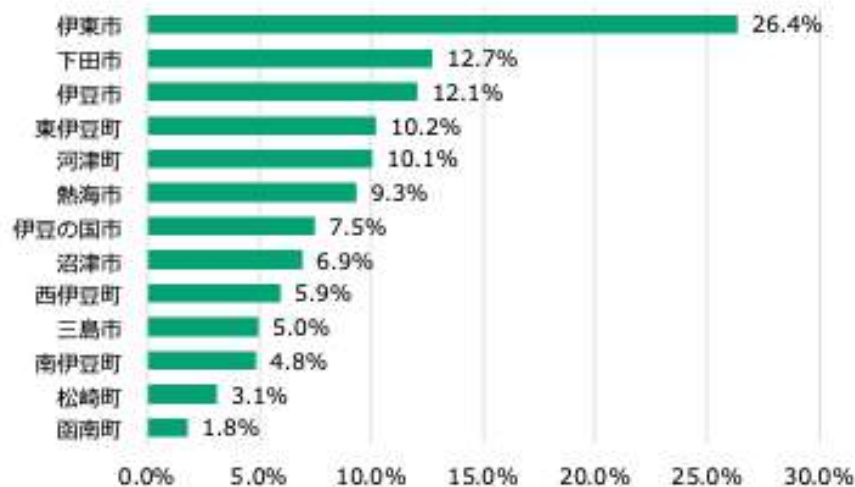
n=1,564

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

問1-2. 今回の旅行でどこに宿泊しましたか。（複数回答）

- 2024年度は、2023年度と同じく伊東市が最も多くを占めた。割合は9.6ポイント増加している。
- 2023年度では7位だった伊豆の国市が、2024年度では4位に浮上した。

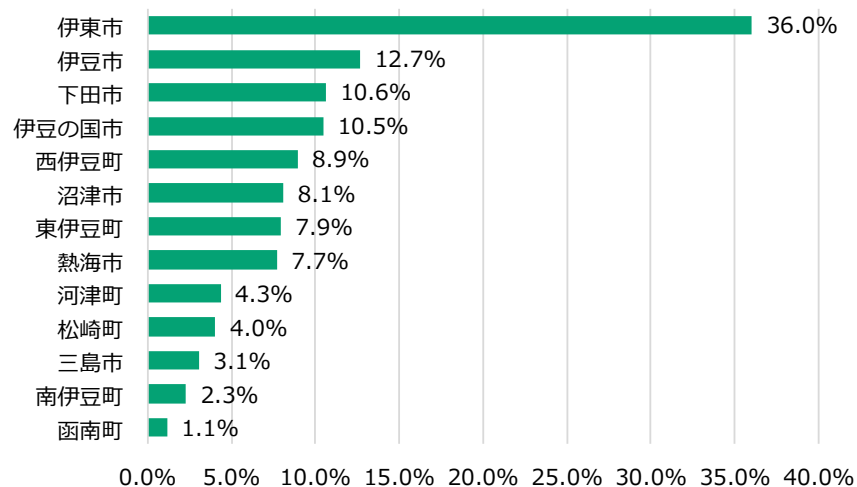
2023年度



n=1,939

※地理的な偏りは補正しない

2024年度



n=1,311

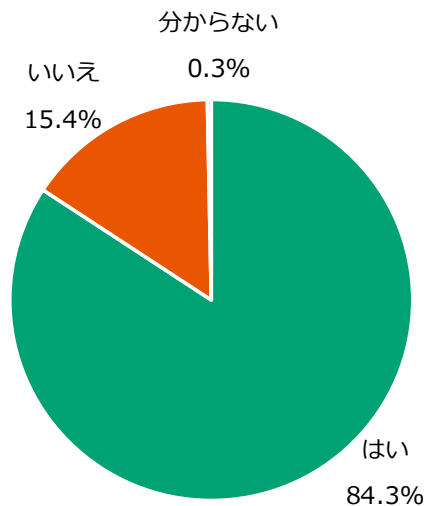
※地理的な偏りは補正しない

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

問1－3. 夕食・朝食は宿泊施設内でとりましたか。（とる予定ですか）（単一回答）

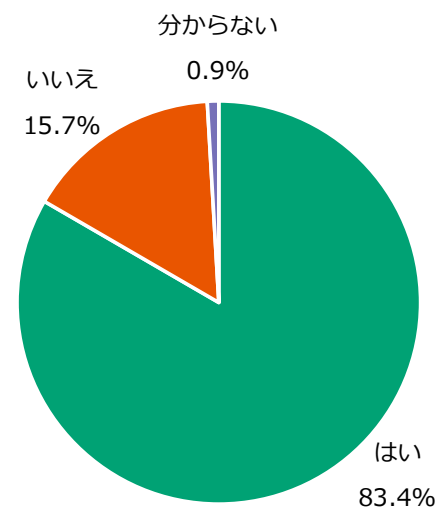
- 2023年度と比べて、2024年度は「はい」が0.9ポイント減少した。

2023年度



n=1,937

2024年度



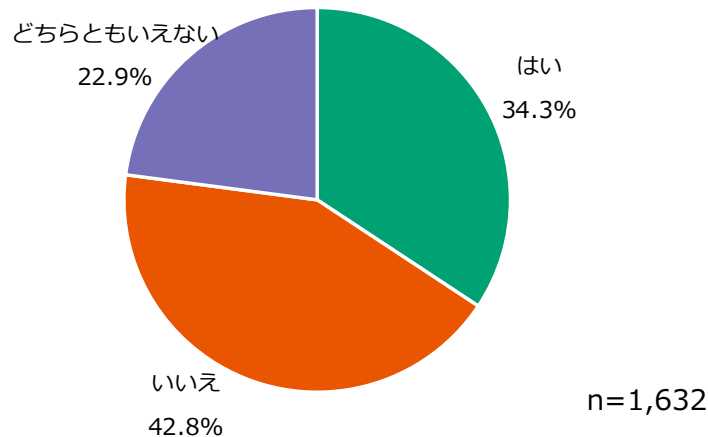
n=1,311

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

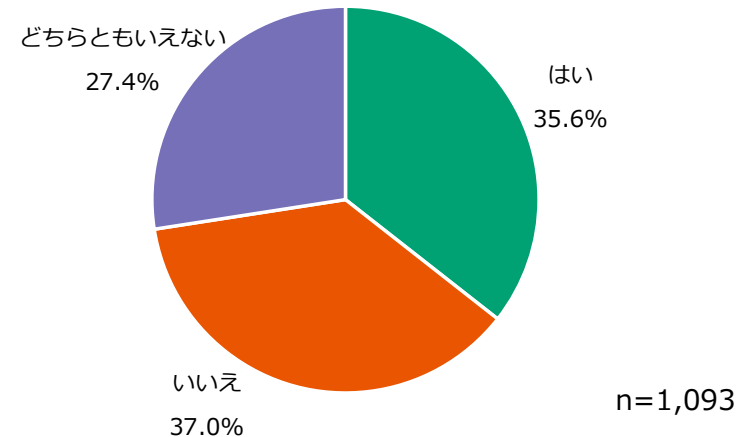
問1-4. 問1-3で「はい」とお答えした方に伺います。夕食、朝食を宿泊施設以外の飲食店でとってみたいですか。（単一回答）

- 2024年度は、2023年度と比較して「はい」が1.3ポイント、「どちらともいえない」が4.5ポイント増加した。
- 「いいえ」は5.8ポイント減少している。

2023年度



2024年度



その理由

「はい」

- 地元の飲食店を楽しみたい
- 新鮮な海鮮を食べたい
- 伊豆を満喫したい
- 街の魅力を知りたい
- 色々なものを食べたい
- 地元民が良く行くところに行きたい
- など

「いいえ」

- ゆっくりしたい、移動したくない
- 食事を優先して宿を選んでいる
- 晩酌すると車に乗れない
- 徒歩圏内に飲食店がない
- 探るのが面倒
- 土地勘がない
- など

その理由

「はい」

- 色々なものを食べたい
- ご当地グルメを楽しみたい
- 海鮮を楽しみたい
- 宿の食事は量が多いので、もう少し軽い食事になりたい
- 地元のお店に行ってみたい
- など

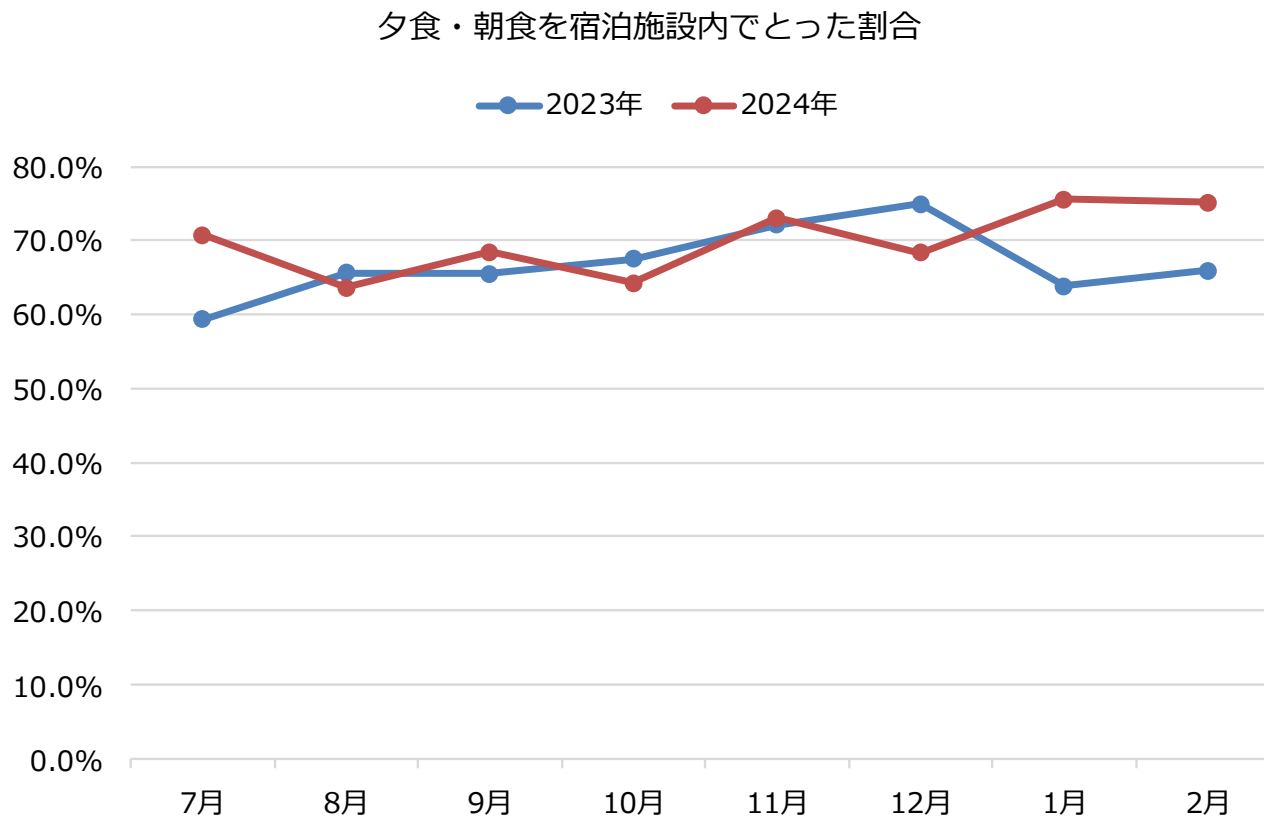
「いいえ」

- ゆっくりしたい
- 移動が面倒
- ビュッフェが好き
- ホテルの食事が目当て
- 探するのがわずらわしい
- 子連れで移動しづらい
- など

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

問1-3. 夕食・朝食は宿泊施設内でとりましたか。（とる予定ですか）（単一回答）

- 2024年度は、2023年度と比べて7月、9月、11月、1月、2月において宿泊施設内で夕食・朝食をとった割合が大きかった。



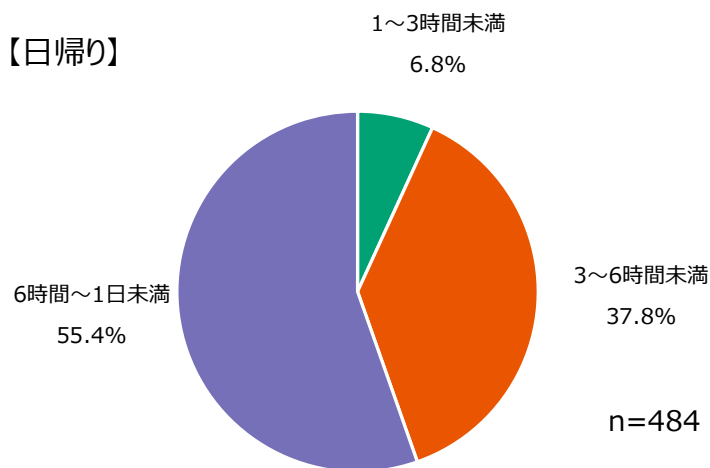
観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

問2.伊豆半島でのおおよその滞在時間をお答えください。

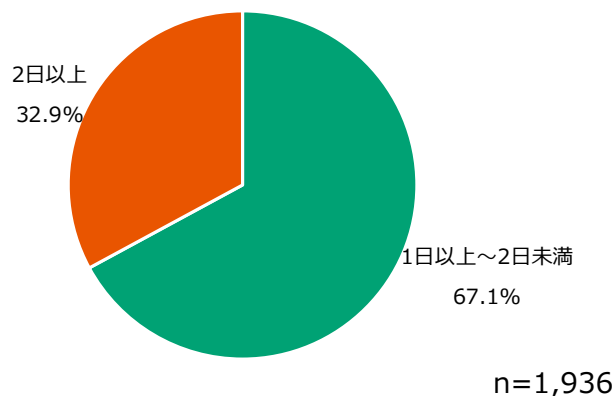
- 2024年度は、2023年度と比較して日帰りの滞在時間が増加傾向となった。
- 宿泊では、2023年度と比べて2日以上が5.9ポイント減少している。

2023年度

【日帰り】

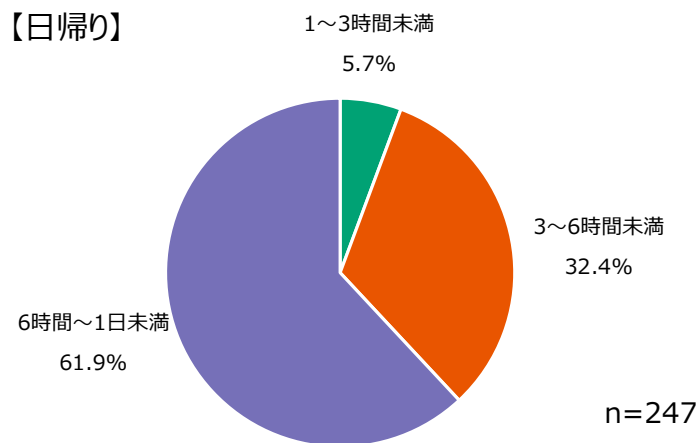


【宿泊】

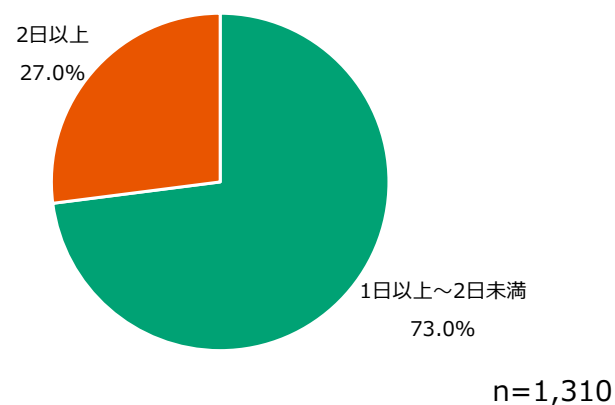


2024年度

【日帰り】



【宿泊】



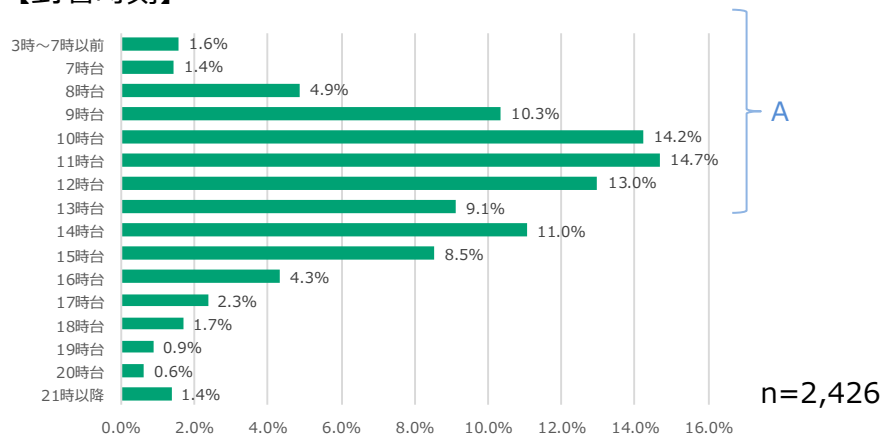
観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

問2-2. 伊豆半島到着時刻と出発時刻を教えてください。

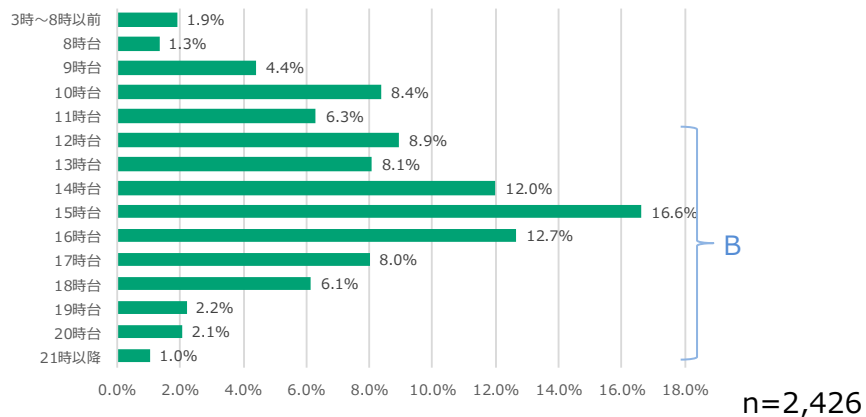
- 2024年度と2023年度は、いずれも到着は11時台が最も多く、出発は15時台が最も多かった。
- チェックイン以前に到着し、近くで過ごしている割合（A）が1.1ポイント増加している。
- チェックアウト後に館外で過ごしている割合（B）も1.4ポイント増加した。

2023年度

【到着時刻】

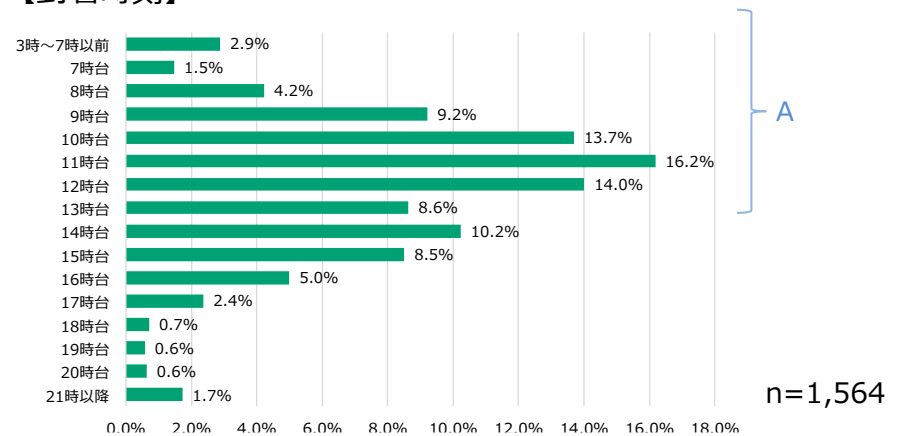


【出発時刻】

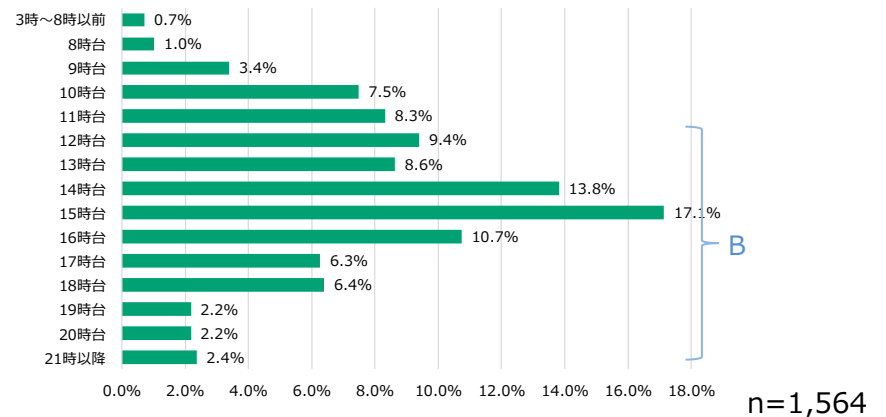


2024年度

【到着時刻】



【出発時刻】

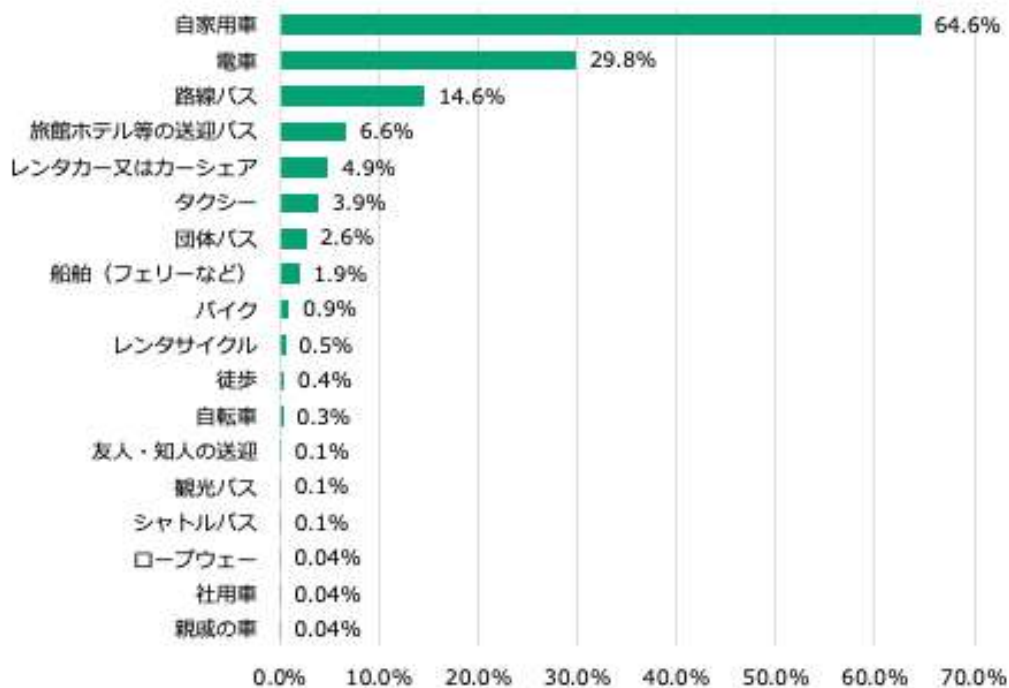


観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

問3.伊豆半島での利用交通機関について教えてください。（複数回答）

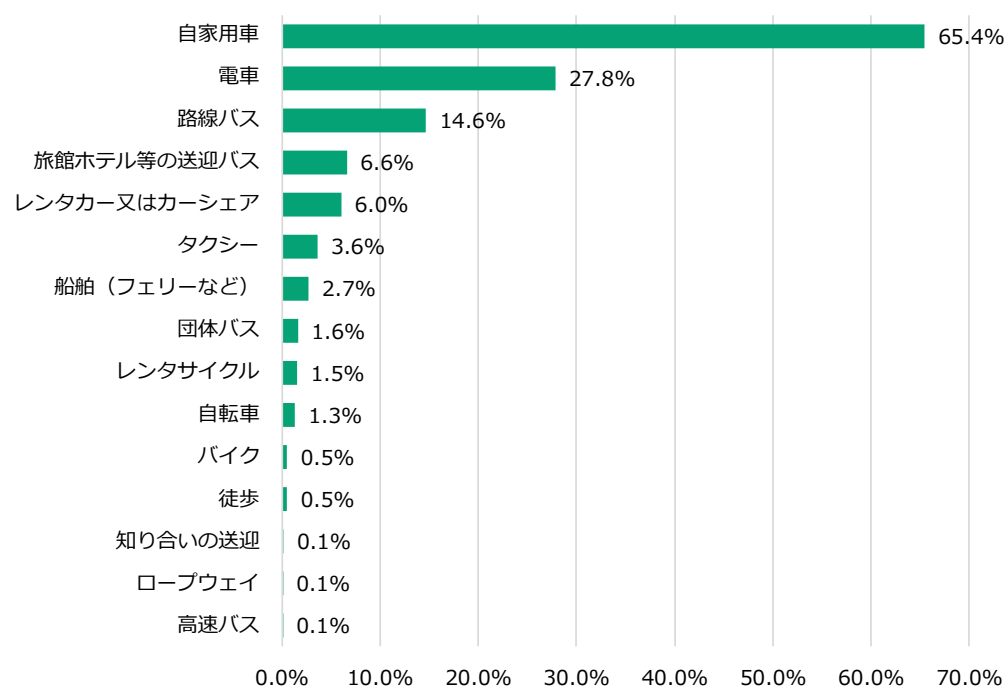
- 2024年度は、2023年度と比べて自家用車が0.8ポイント増加した。
- 電車は2.0ポイント減少している。

2023年度



n=2,426

2024年度



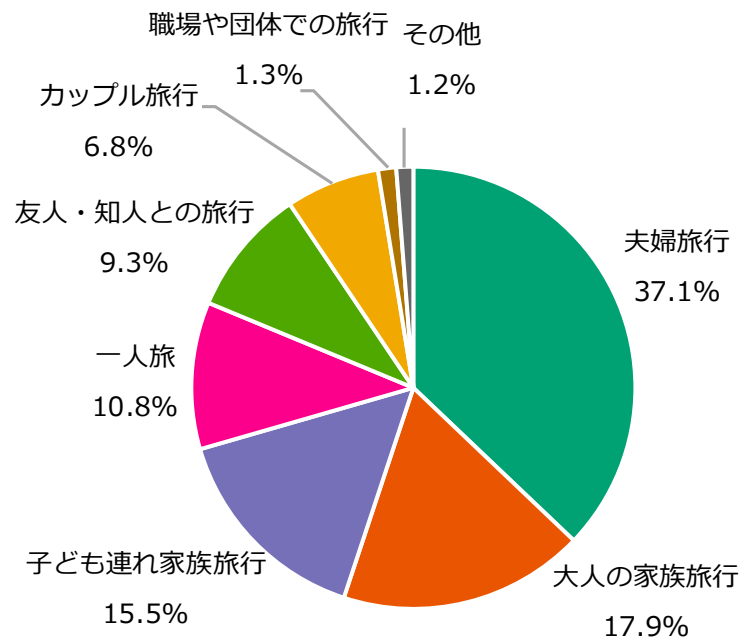
n=1,564

伊豆旅行アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

問4. 今回の旅行は、どなたと一緒に来ましたか。（単一回答）

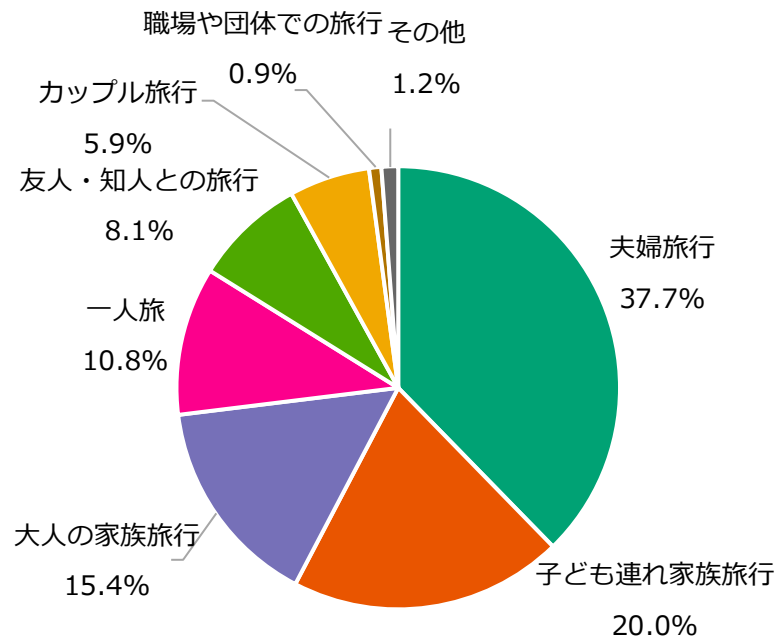
- 2024年度は、2023年度と同じく夫婦旅行が最も多く、37.7%を占めた。
- 子ども連れ家族旅行が4.5ポイント増加し、3位から2位に浮上している。

2023年度



n=2,426

2024年度



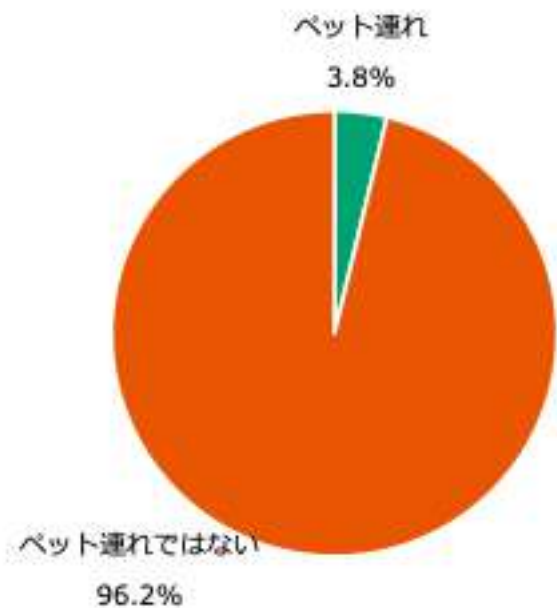
n=1,564

伊豆旅行アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

問4-3. 今回の旅行はペット連れですか。（単一回答）

- 2024年度は、ペット連れが3.1%となった。
- 2023年度と比較すると、0.7ポイント減少している。

2023年度



n=2,426

2024年度



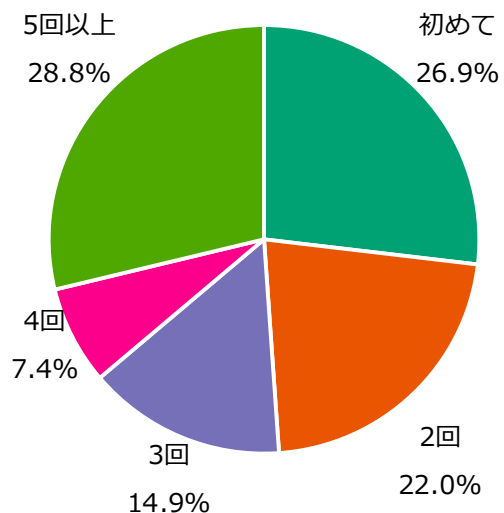
n=1,564

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

問5. 伊豆半島への訪問頻度について、「直近1年間」での来訪回数を教えてください。（単一回答）

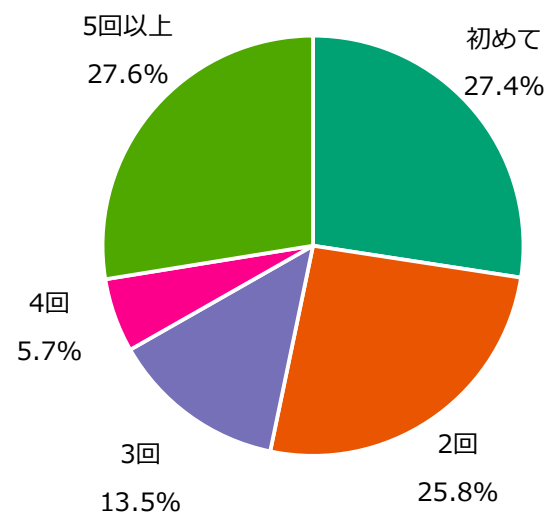
- 2024年度は、2023年度と比較して初めて、2回の割合が増加した。
- 一方で、3回、4回、5回以上の割合が減少している。

2023年度



n=2,426

2024年度



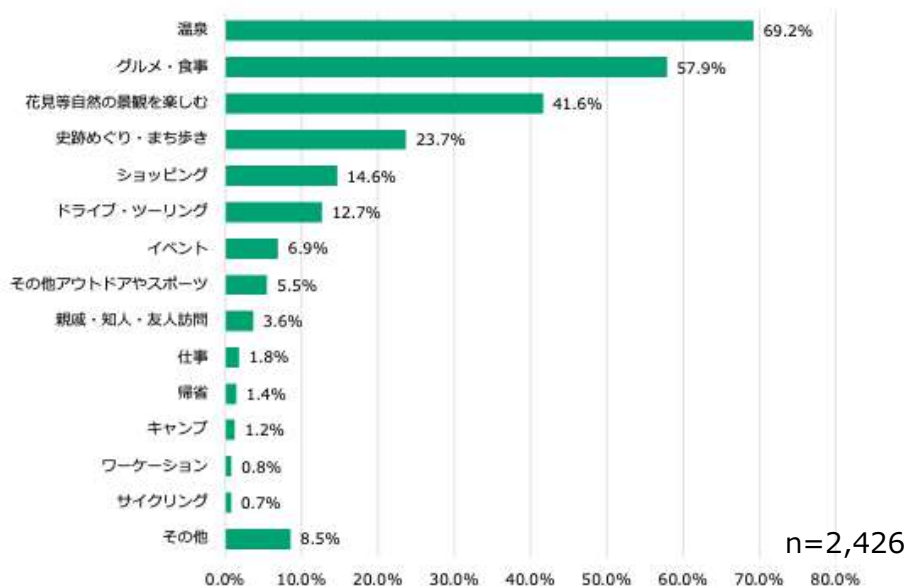
n=1,564

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

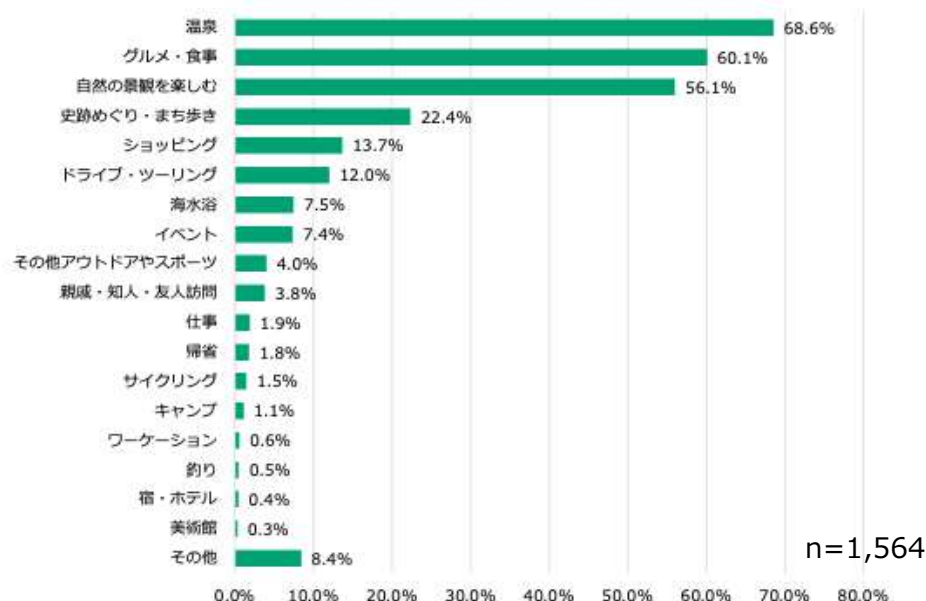
問6. 今回の伊豆半島に訪れた目的をお答えください。（複数回答）

- 2024年度は、2023年度と同じく温泉が最も多かった。割合は0.6ポイント減少している。
- 3位の「自然の景観を楽しむ」は2023年から14.5ポイント増加した。

2023年度



2024年度



【その他】

海水浴、釣り、みかん狩り、動物園、リフレッシュ、水族館、ウォーキング、グランピング、シャボテン公園、スタンプラリー、ファスティング、リラックス、宿、山登り、プール、猫、観光、Izoo、JR伊東線臨時列車特急「185」乗車、MOA美術館、さわやかハンバーグ、浄蓮の滝、あわしまマリンパーク、みかんの買い出し、墓参り、お茶摘み など

【その他】

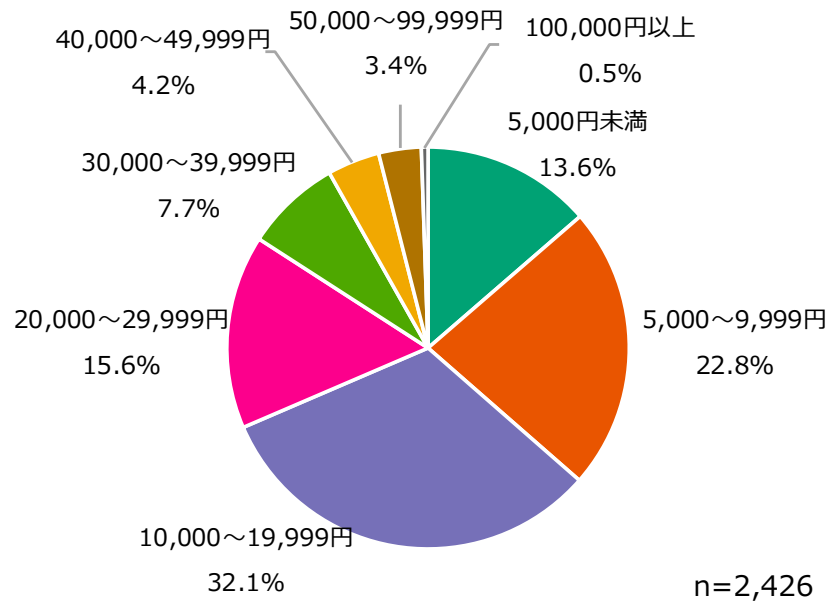
izoo kawazoo、のんびり、ペットと楽しむ、水族館、「温泉むすめ」の聖地巡礼、移住先を探す、河津桜、動物園、道の駅めぐり、イルミネーション、プール、ゆるキャン△スタンプラリー、下田海中水族館。花火大会、結婚記念日、犬との旅行、水仙まつり、星空、造船所、誕生日祝い、虫採り、道の駅スタンプ集め、墓参り など

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

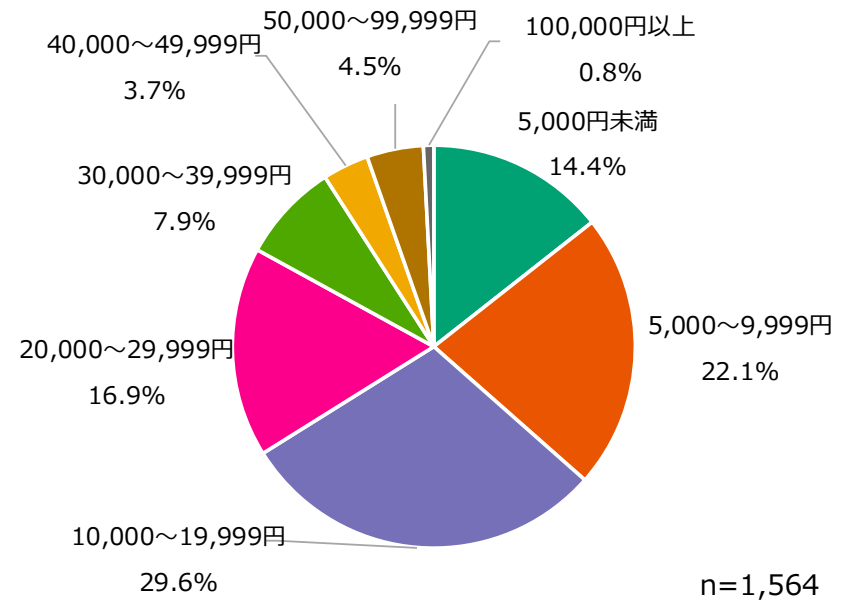
問8. 今回の旅行で、事前の予定では伊豆半島で一人あたり、お金をいくら使うつもりでしたか。（宿泊費を除く）（単一回答）

- 2023年度と比較して、2024年度は5,000円未満、2万円台、3万円台、5万円以上の割合が増加した。

2023年度



2024年度

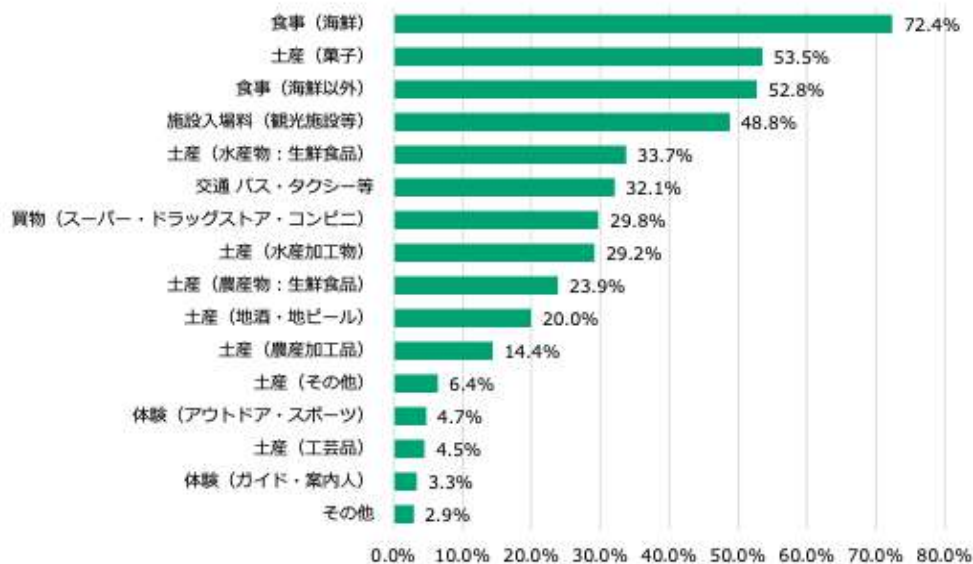


観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

問8-2. 問8でお聞きした使うつもりであった金額に含まれるものを教えてください。（複数回答）

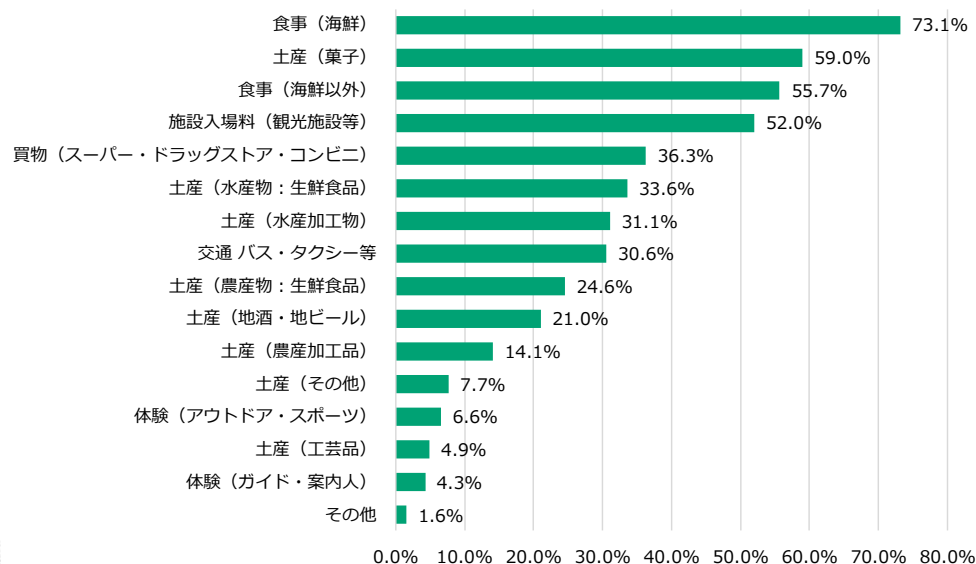
- ・ 2024年度は、2023年度と同じく食事（海鮮）が最も多かった。割合は0.7ポイント増加している。
- ・ 買物（スーパー・ドラッグストア・コンビニ）が2023年から6.5ポイント増加した。順位は7位から5位に浮上している。

2023年度



n=2,426

2024年度



n=1,564

【その他】

駐車場代、温泉、いちご狩り、みかん狩り、イベント、お花、そば打ち体験、アニメグッズ、エステ、カーシェア、ガソリン、高速代金、ドックラン、パターゴルフ、フェリー、ペット用品、マッサージ など

【その他】

温泉入浴料、「温泉むすめ」グッズ代、ガソリン、釣り、エステ、お寺拝観料、御朱印、お賽銭、ゴルフ、ダイビング、パークキング、ロッカー、花屋、献金、御当地グッズ、水、謎解き参加費、わからない など

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

問8-2. 問8でお聞きした使うつもりであった金額に含まれるものを教えてください。（複数回答）

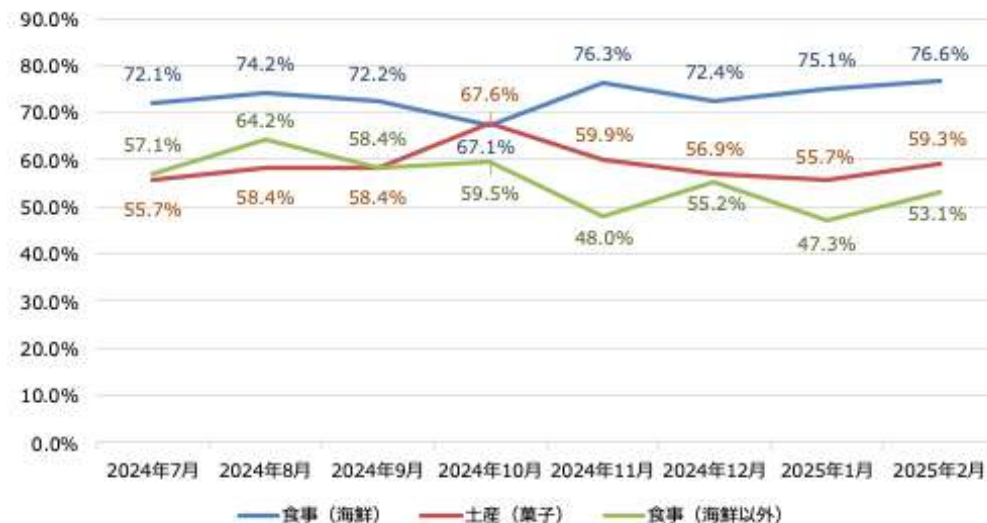
- ・ 月別で食事（海鮮）、土産（菓子）、食事（海鮮以外）の割合の推移を見ると、2024年10月を除き全ての月で食事（海鮮）が最多となった。2024年10月は土産（菓子）が最も多い。
- ・ 2024年度と2023年度を比較すると、全体的に土産（菓子）や食事（海鮮以外）の割合が大きくなっている。

2023年度



n=2,426

2024年度



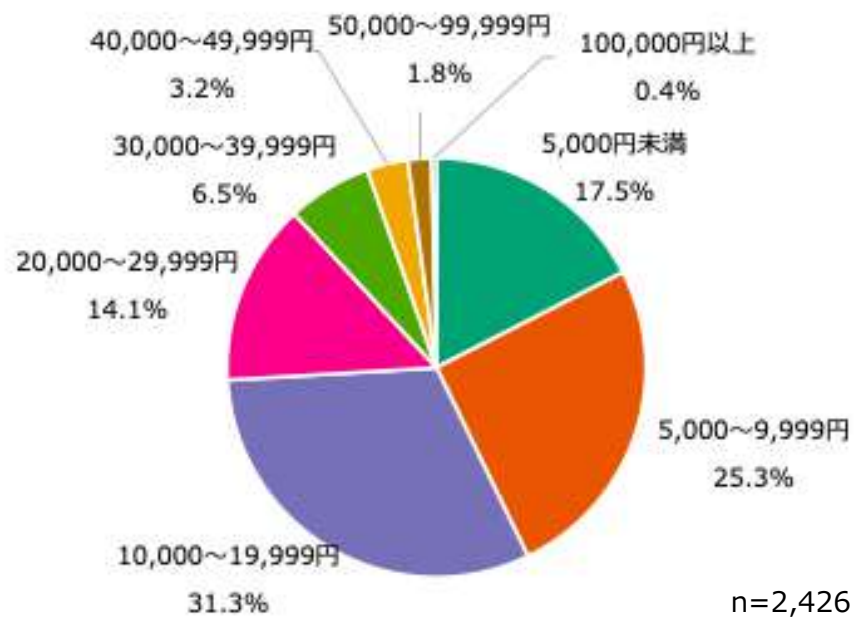
n=1,564

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

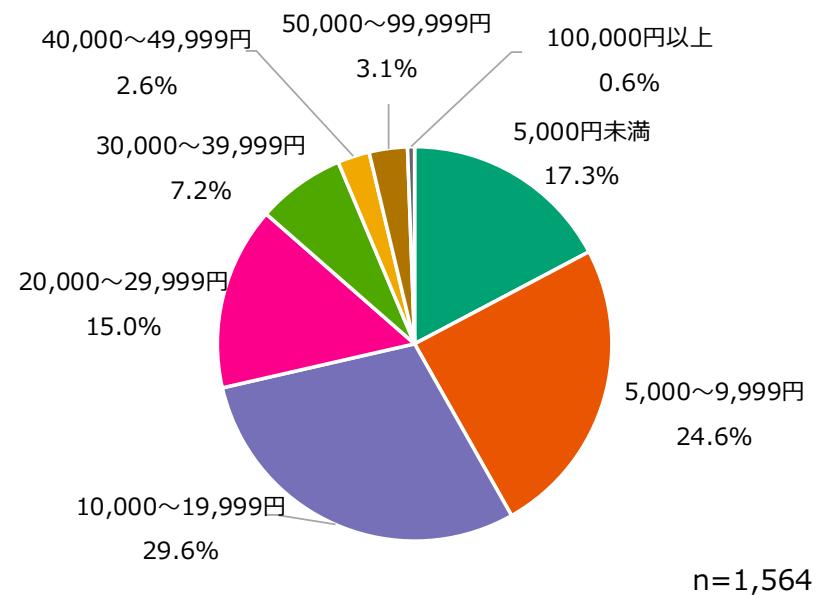
問9. 今回の旅行中、伊豆半島で実際に使った一人あたりの金額（宿泊費を除く）を教えてください。（単一回答）

- 2023年度と比較して、2024年度は2万円以上の割合が増加した。
- 5,000円未満が0.2ポイント、5,000～9,999円が0.7ポイント、1万円台が1.7ポイントが減少している。

2023年度



2024年度

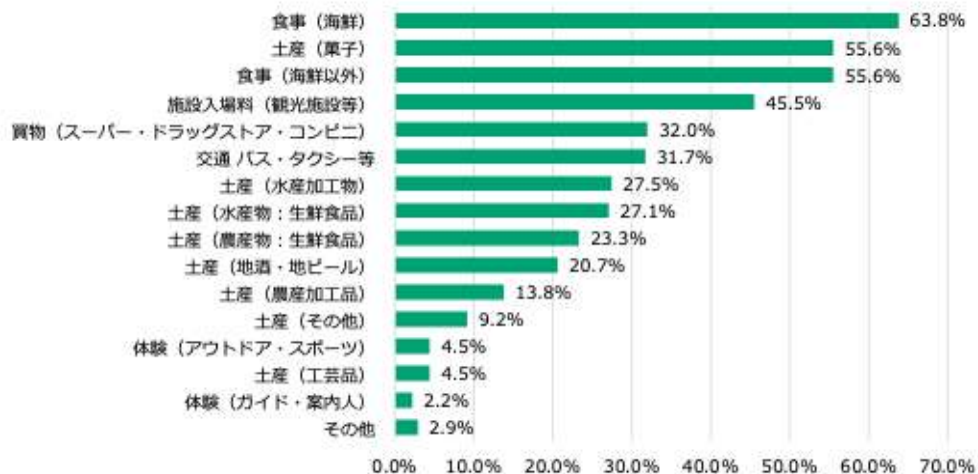


観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

問9-2. 問9でお聞きしたお金は何に使いましたか。教えてください。（複数回答）

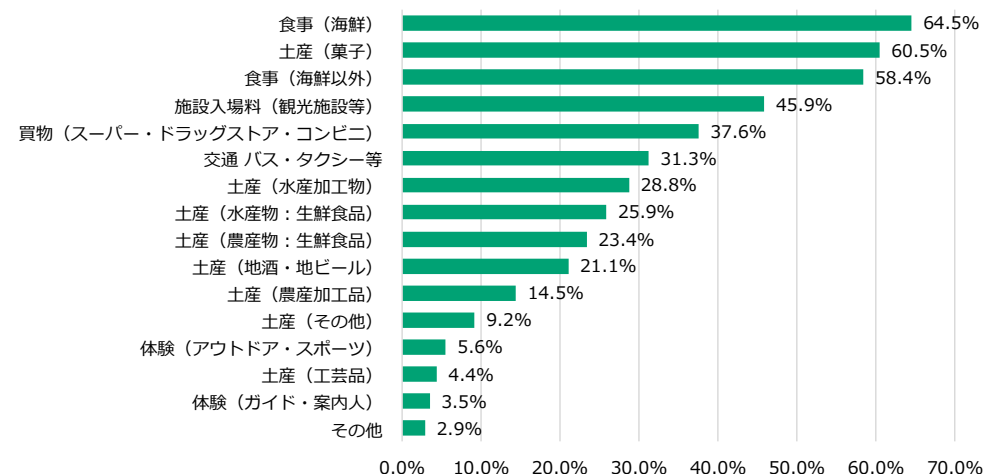
- 2024年度の1～5位は、2023年度と変わらず食事（海鮮）、土産（菓子）、食事（海鮮以外）、施設入場料（観光施設等）、買物（スーパー等）となった。2023年度と比べると、いずれも支出した割合が増加している。
- 6位の交通 バス・タクシー等は、0.4ポイントとわずかに割合が減少した。

2023年度



n=2,426

2024年度



n=1,564

【その他】

温泉、駐車場代、いちご狩り、みかん狩り、マッサージ、ガソリン代、陶芸、アニメグッズ、高速代金、ゴルフ、サボテンの寄せ植え、ズボン、カーシェア、レンタサイクル、フェリー、ライブの投げ銭、ロープウェイ、垢擦り、娯楽施設（射的）、孫のお小遣い、朝市、御朱印、おまもり、施術代金、衣料品、嗜好品、貸切風呂、車券購入、通行料金、遊覧船、なし

【その他】

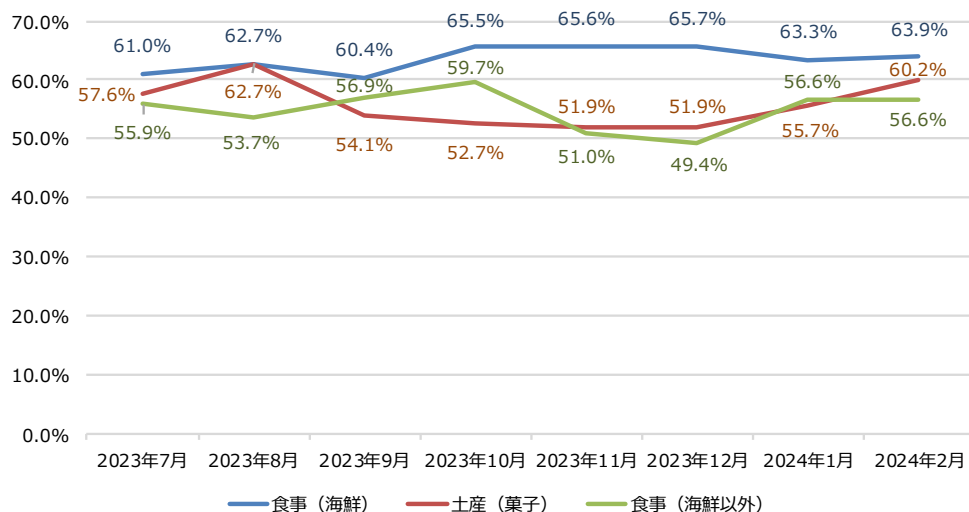
入浴料、ガソリン、駐車場、「温泉むすめ」グッズ代、釣り、工芸体験、植物、アロエ商品、エステ、お墓参り用のお花とお線香、お賽銭、ゴルフ、ソフトクリーム、ダイビング、フェリー代、ロッカー、衣類、靴、駅メモ、花火大会、お祭り、観光遊覧船、献金、御当地グッズ、書籍、水、通行料、謎解き参加費、拝観料、御朱印、有料道路、まだ途中なので不明、なしなど

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

問9-2. 問9でお聞きしたお金は何に使いましたか。教えてください。（複数回答）

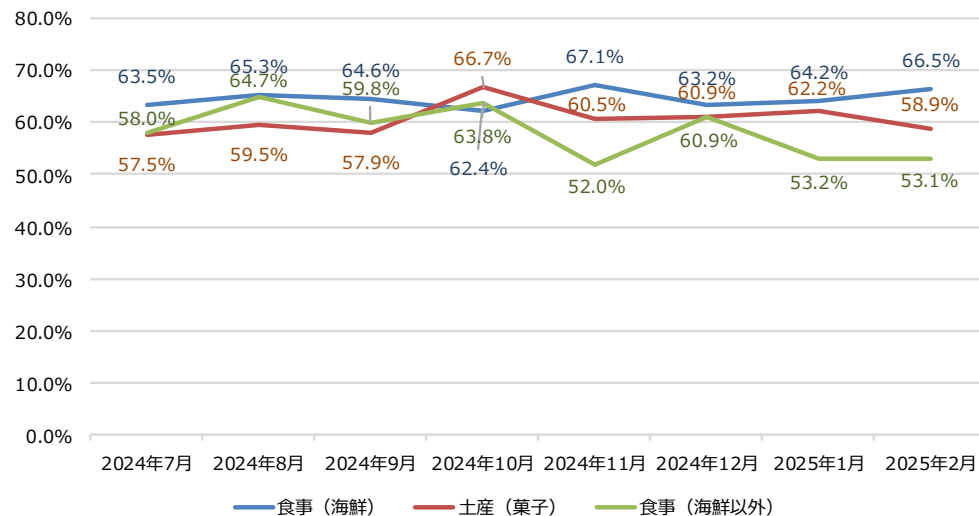
- 予定と同じく、2024年10月を除き全ての月で食事（海鮮）が最多となった。2024年10月は土産（菓子）が最も多い。また、2023年8月は食事（海鮮）と土産（菓子）が同率となっている。
- 2024年度と2023年度を比較すると、3項目の割合の差が比較的小さくなっている。

2023年度



n=2,426

2024年度



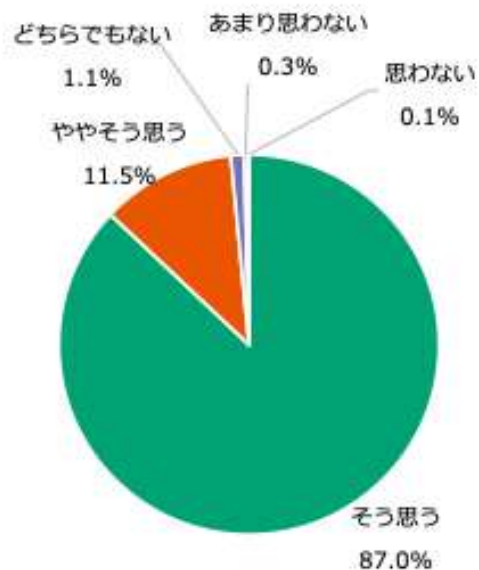
n=1,564

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

問12. 今後、伊豆半島に来たいと思いますか。（単一回答）

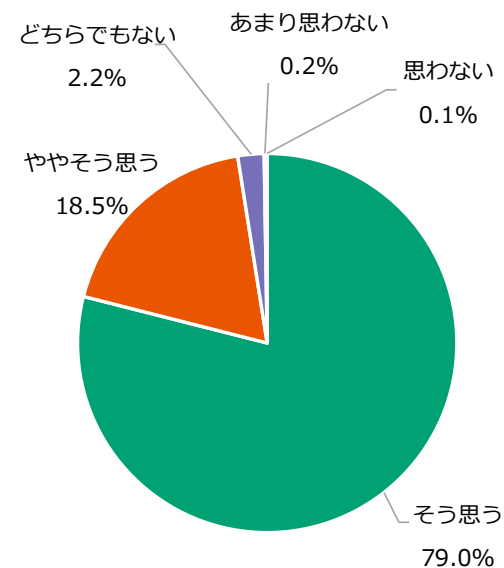
- 2024年度は、2023年度と同じく「そう思う」「やや思う」が98%程度を占めた。
- 内訳では「そう思う」が8ポイント減少し、「ややそう思う」が7ポイント増加している。

2023年度



n=2,426

2024年度



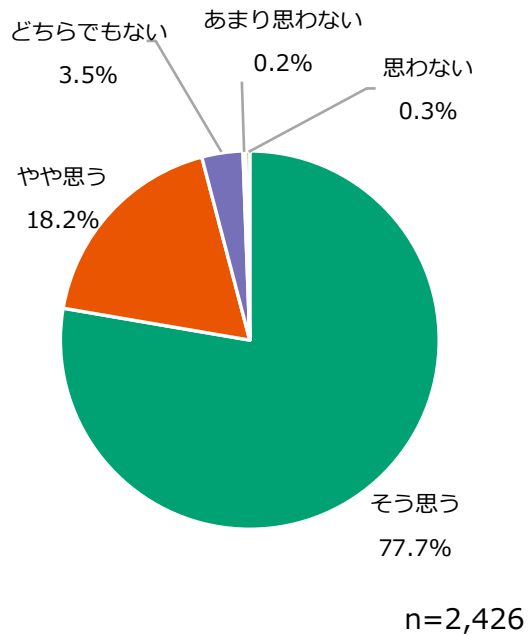
n=1,564

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年度・2024年度の比較

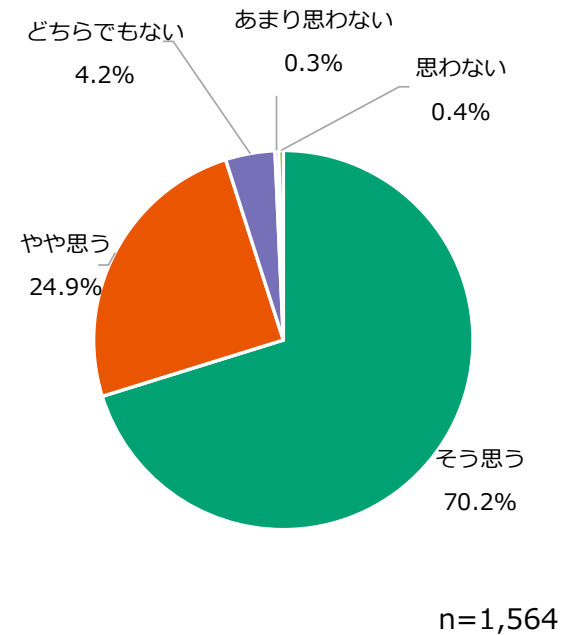
問13. あなたの身近な人に伊豆半島の訪問を勧めたいと思いますか。(単一回答)

- 2024年度は、2023年度と比べて「そう思う」が7.5ポイント減少した。
- 「そう思う」と「やや思う」の合算では、0.8ポイント減少している。

2023年度



2024年度



観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年度・2024年度の比較

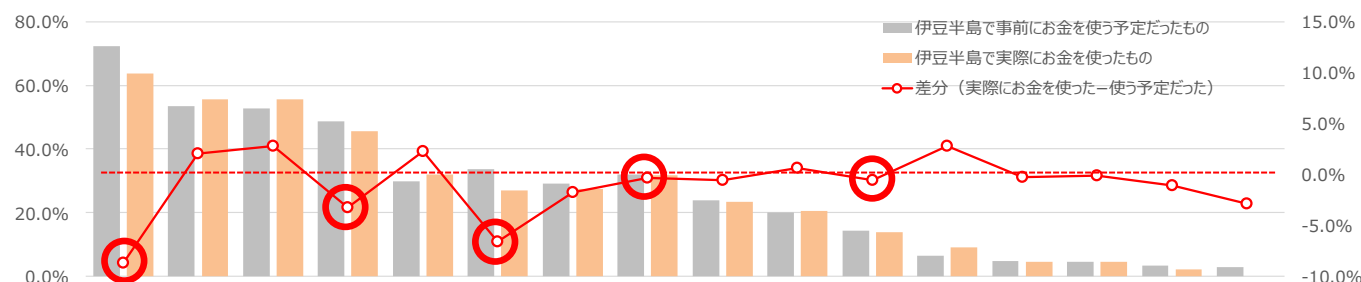
事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- ・ 差分マイナス＝予定よりもそのカテゴリについてのお金を使っていない（機会ロス）は、2024年度と2023年度でともに食事（海鮮）、施設入場料（観光施設等）、土産（水産物:生鮮食品）の3カテゴリが目立つ結果となった。
- ・ 2023年度で若干機会ロスが生じていた交通 バス・タクシー等、土産（農産加工品）は、2024年度で差分プラスとなった。

全体

2023年度

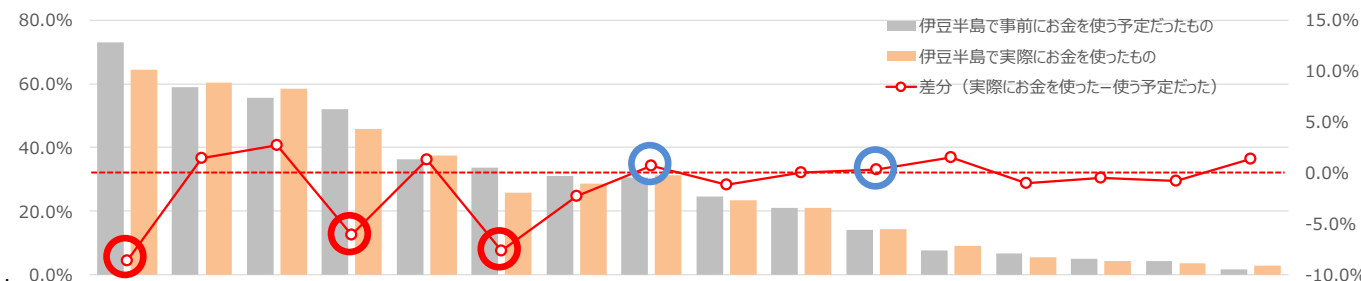
1人当たり平均消費額：
16,415円



n=2,426

2024年度

1人当たり平均消費額：
17,535円



n=1,564



※1人当たり平均消費額の算出は
5,000円未満は5,000円、10万円以上は10万円、その他の金額レンジはそれぞれの間額として平均値を算出

2024年度は、2023年度と比較して土産（菓子）、買物（スーパー等）などの割合が予定、実支出ともに増加した。

観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年度・2024年度の比較

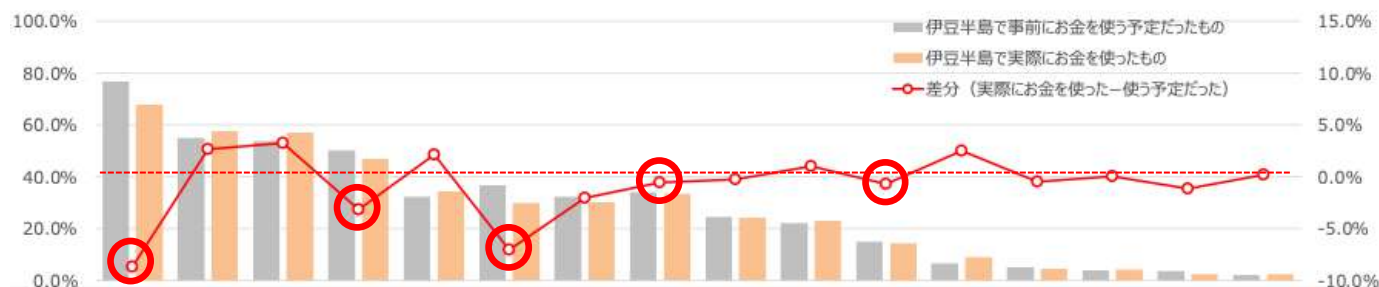
事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 機会ロスは、日帰りを含めた全体と同じく、2023年度と2024年度でともに食事（海鮮）、施設入場料（観光施設等）、土産（水産物:生鮮食品）の3カテゴリが目立つ結果となった。
- 2023年度で若干機会ロスが生じていた交通 バス・タクシー等、土産（農産加工品）は、日帰りを含めた全体と同じく2024年度で差分プラスとなった。

宿泊者全体

2023年度

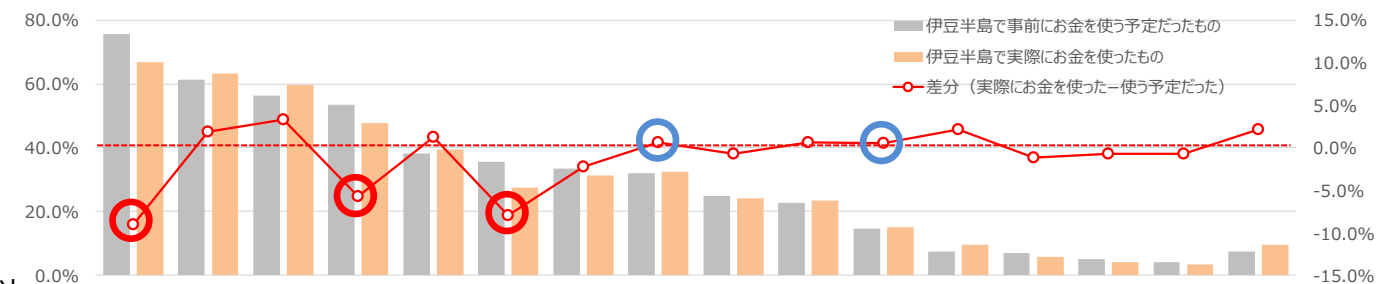
1人当たり平均消費額：
18,477円



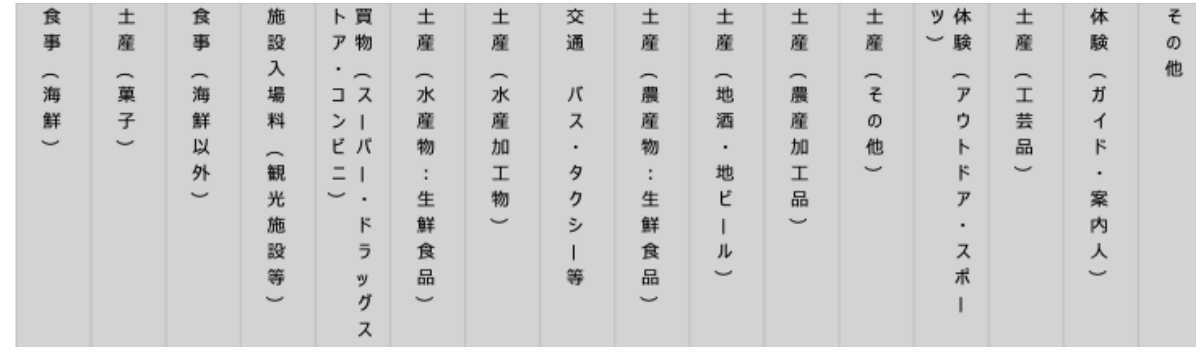
n=1,939

2024年度

1人当たり平均消費額：
19,182円



n=1,311



※1人当たり平均消費額の算出は
5,000円未満は5,000円、10万円以上は10万円、その他の金額レンジはそれぞれの間額として平均値を算出

2024年度は、2023年度と比較して土産（菓子）、買物（スーパー等）などの割合が予定、実支出ともに増加した。

観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年度・2024年度の比較

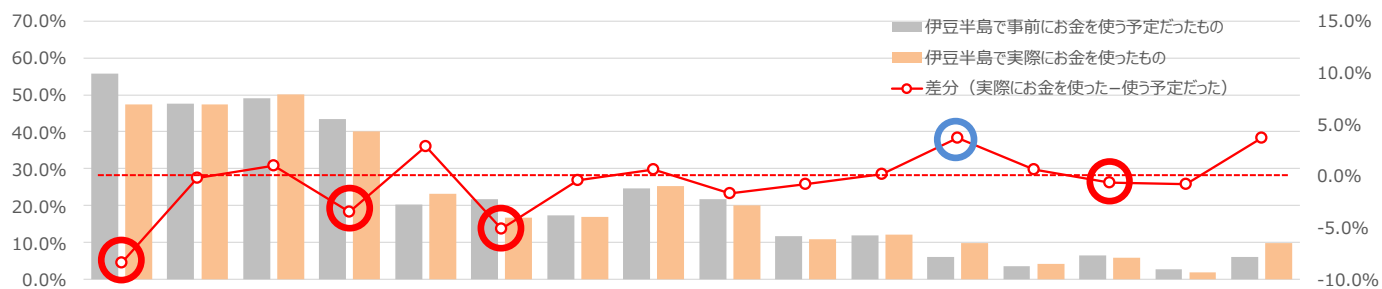
事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 機会ロスは、宿泊を含めた全体と同じく、2023年度と2024年度でともに食事（海鮮）、施設入場料（観光施設等）、土産（水産物:生鮮食品）の3カテゴリが目立つ結果となった。中でも施設入場料での機会ロスが増加している。
- 2023年度で若干機会ロスが生じていた土産（工芸品）は、2024年度で差分プラスとなった。一方で、土産（その他）では新たに機会ロスが生じている。

日帰り

2023年度

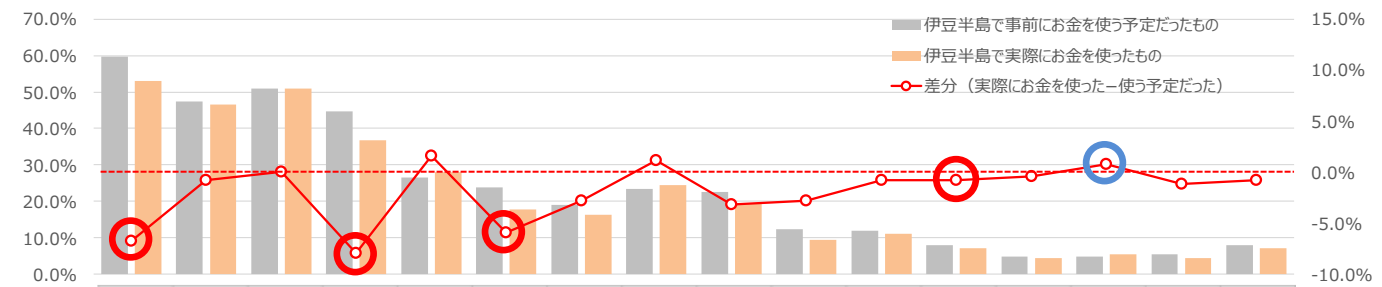
1人当たり平均消費額：
8,244円



n=487

2024年度

1人当たり平均消費額：
9,002円



n=253

※1人当たり平均消費額の算出は
5,000円未満は5,000円、10万円以上は10万円、その他の金額レンジはそれぞれの中間額として平均値を算出

2024年度は、2023年度と比較して食事（海鮮）などの割合が予定、実支出ともに増加した。

観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年度・2024年度の比較

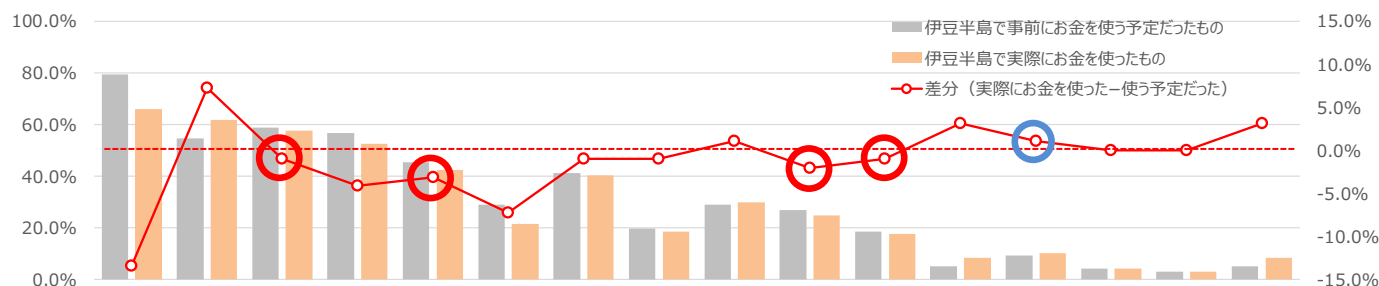
事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 7～8月の宿泊者では、2023年度で機会ロスが生じていた食事（海鮮以外）、買物（スーパー等）、土産（地酒・地ビール）、土産（農産加工品）が、2024年度で差分プラスとなっている。
- 一方で、体験（アウトドア・スポーツ）では新たに若干の機会ロスが生じた。

宿泊（7～8月）

2023年度

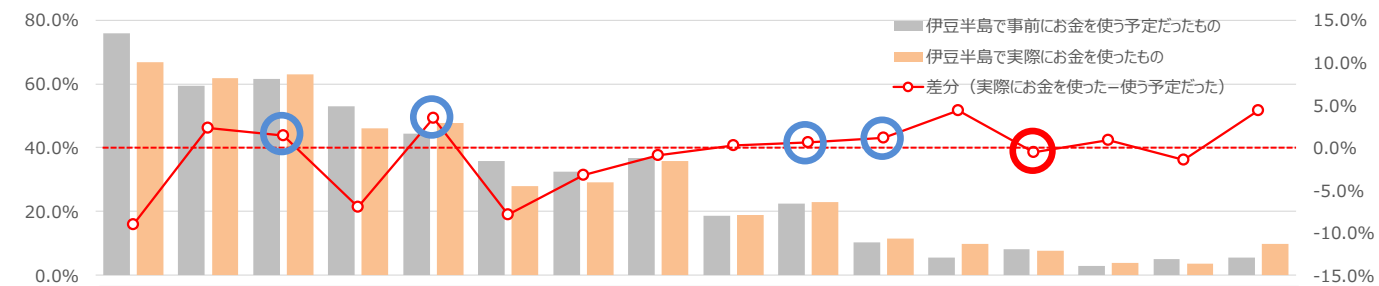
1人当たり平均消費額：
17,556円



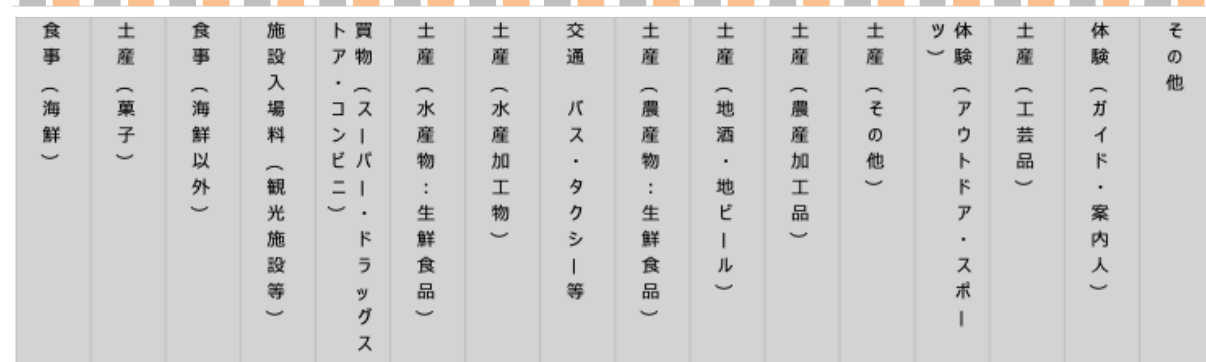
n=97

2024年度

1人当たり平均消費額：
20,430円



n=343



※1人当たり平均消費額の算出は5,000円未満は5,000円、10万円以上は10万円、その他の金額レンジはそれぞれの中間額として平均値を算出

2024年度は、2023年度と比較して交通 バス・タクシー等の割合が予定、実支出ともに大きく増加した。

観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年度・2024年度の比較

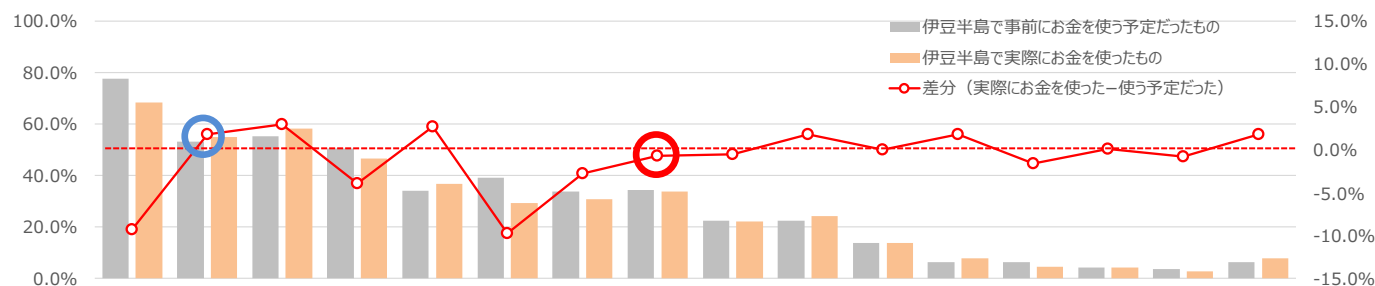
事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 9～11月の宿泊者では、2023年度で若干の機会ロスが生じていた交通 バス・タクシー等が、2024年度で差分プラスとなっている。
- 一方で、土産（菓子）では新たに若干の機会ロスが生じた。

宿泊（9～11月）

2023年度

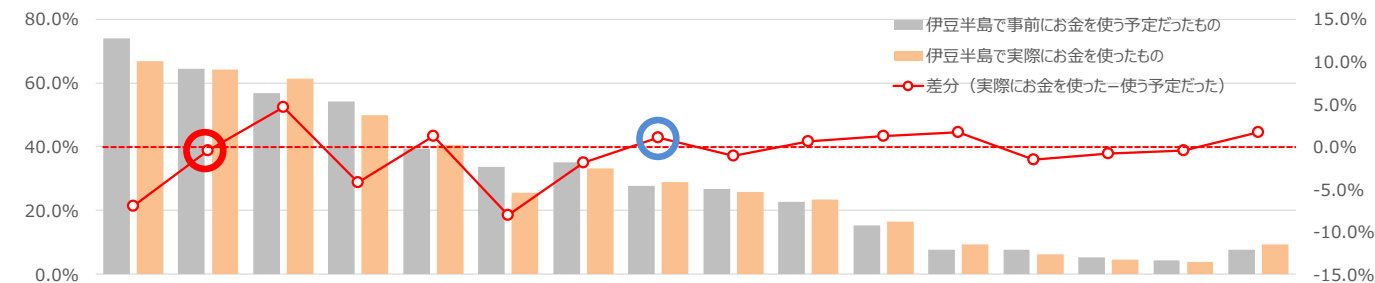
1人当たり平均消費額：
18,182円



n=861

2024年度

1人当たり平均消費額：
18,742円



n=471

※1人当たり平均消費額の算出は
5,000円未満は5,000円、10万円以上は10万円、その他の金額レンジはそれぞれの中間額として平均値を算出

2024年度は、2023年度と比較して土産（菓子）の割合が予定、実支出ともに大きく増加した。

観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年度・2024年度の比較

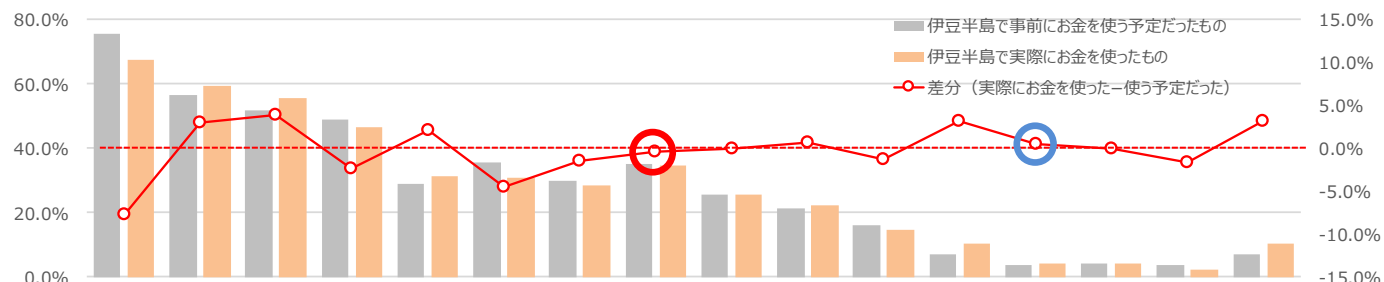
事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 12～2月の宿泊者では、2023年度で若干の機会ロスが生じていた交通 バス・タクシー等が、2024年度で差分プラスとなっている。
- 一方で、体験（アウトドア・スポーツ）では新たに若干の機会ロスが生じた。

宿泊（12～2月）

2023年度

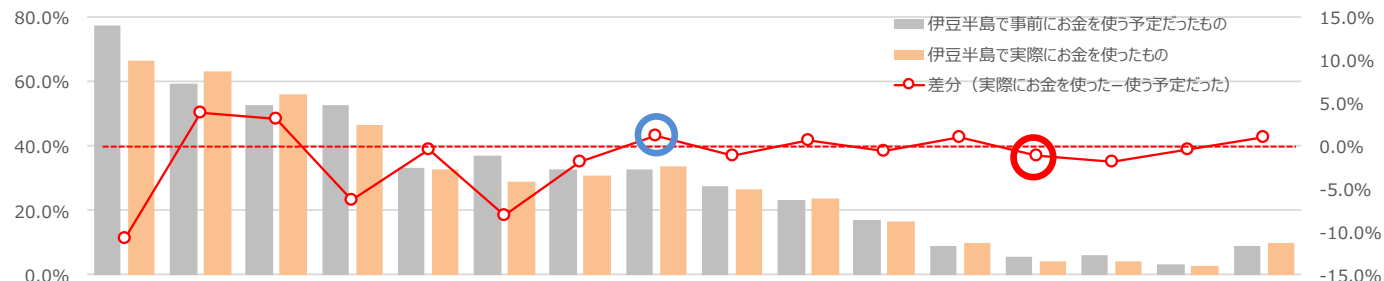
1人当たり平均消費額：
18,774円



n=981

2024年度

1人当たり平均消費額：
18,737円



n=497

※1人当たり平均消費額の算出は
5,000円未満は5,000円、10万円以上は10万円、その他の金額レンジはそれぞれの中間額として平均値を算出

2024年度は、2023年度と比較して施設入場料（観光施設等）、買物（スーパー等）の予定の割合が増加した。実支出は土産（菓子）、土産（水産加工物）などの割合が増加している。

観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年度・2024年度の比較

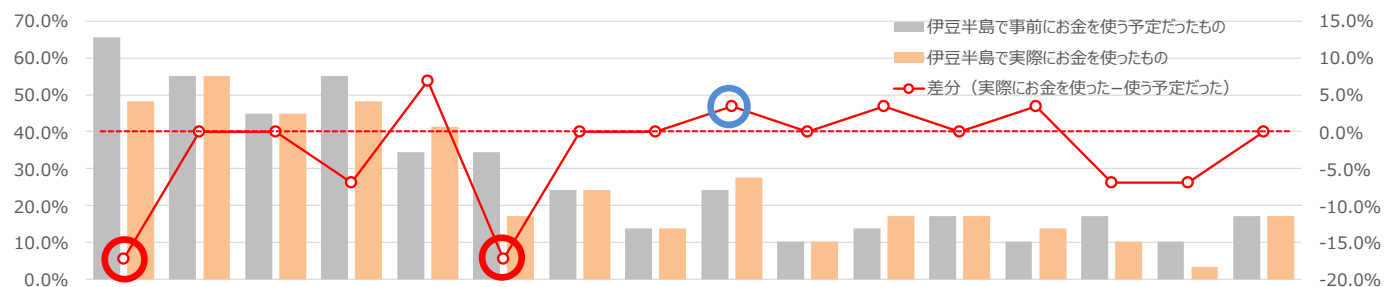
事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 7～8月の日帰りでは、2023年度で差分プラスとなっていた土産（農産物：生鮮食品）において、2024年度に機会ロスが生じている。
- 2023年度では食事（海鮮）および土産（水産物：生鮮食品）の機会ロスが大きく、ともに-17.2%となっていた。2024年度はそれぞれ-7.6%、-4.5%に縮小している。

日帰り（7～8月）

2023年度

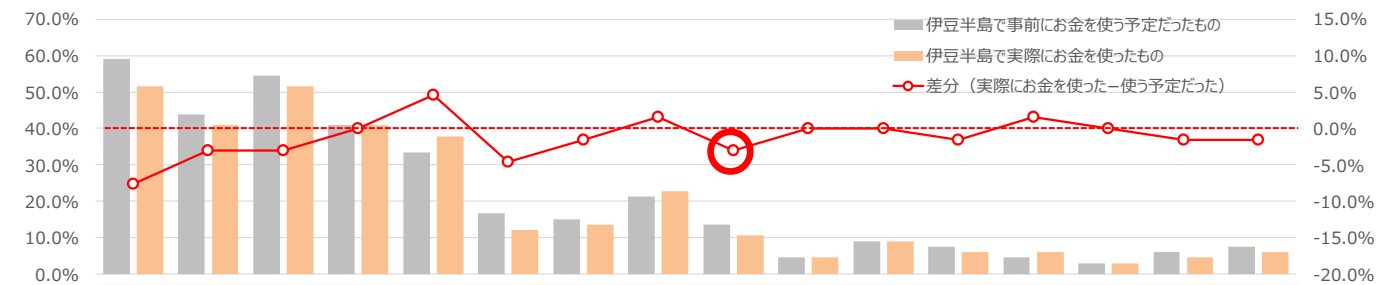
1人当たり平均消費額：
7,321円



n=29

2024年度

1人当たり平均消費額：
8,447円



n=66

※1人当たり平均消費額の算出は5,000円未満は5,000円、10万円以上は10万円、その他の金額レンジはそれぞれの中間額として平均値を算出

2024年度は、2023年度と比較して食事（海鮮以外）、交通バス・タクシー等の割合が予定、実支出ともに増加した。

観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年度・2024年度の比較

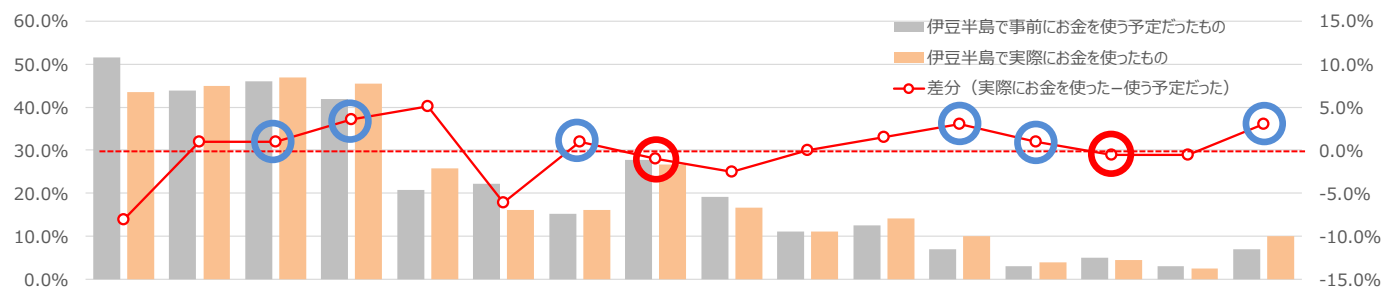
事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 9～11月の日帰りでは、2023年度で差分プラスとなっていた食事（海鮮以外）、施設入場料（観光施設等）、土産（水産加工物）、土産（その他）、体験（アウトドア・スポーツ）、その他において新たに機会ロスが生じた。
- 一方で、2023年度で機会ロスが生じていた交通 バス・タクシー等や土産（工芸品）は、2024年度に差分プラスとなっている。

日帰り (9~11月)

2023年度

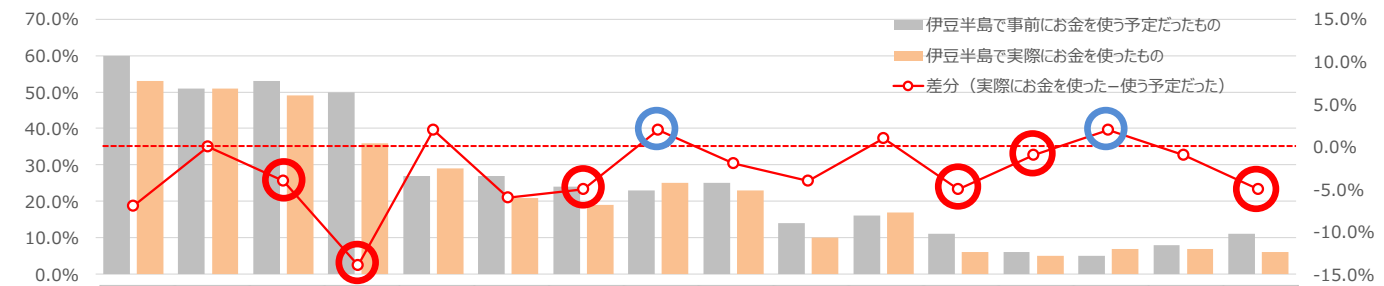
1人当たり平均消費額：
7,664円



n=198

2024年度

1人当たり平均消費額：
10,000円



$n=100$

※1人当たり平均消費額の算出は
5,000円未満は5,000円、10万円以
上は10万円、その他の金額レンジはそ
れぞれの中間額として平均値を算出

2024年度は、2023年度と比較して食事（海鮮）、土産（菓子）、土産（水産加工物）、食事（海鮮以外）などの割合が予定、実支出ともに増加した。

観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年度・2024年度の比較

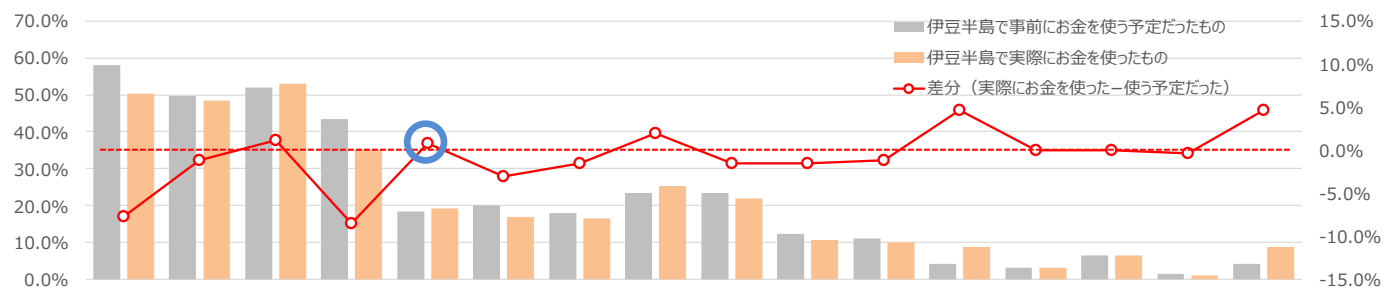
事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 12～2月の日帰りでは、2023年度で差分プラスとなっていた買物（スーパー等）において新たに機会ロスが生じた。
- 2023年度と2024年度では、ともに施設入場料（観光施設等）での機会ロスが最も大きい（2024年度は土産（水産物：生鮮食品）も同率）。

日帰り（12～2月）

2023年度

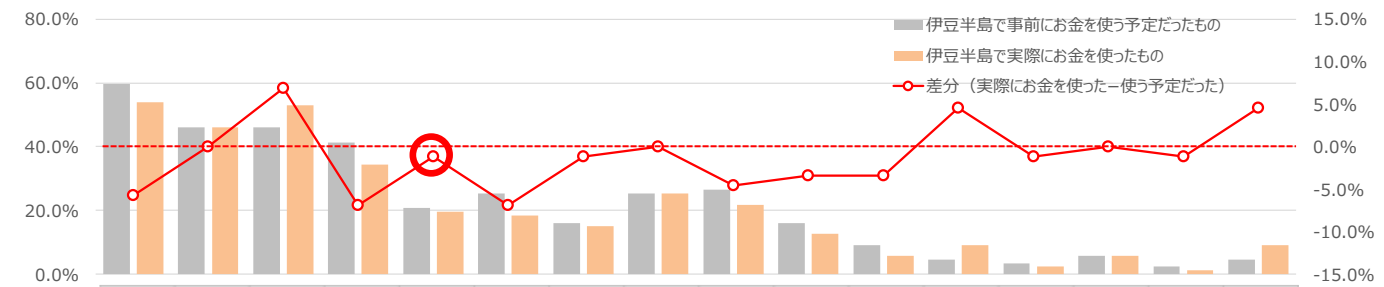
1人当たり平均消費額：
8,769円



n=260

2024年度

1人当たり平均消費額：
8,276円



n=87

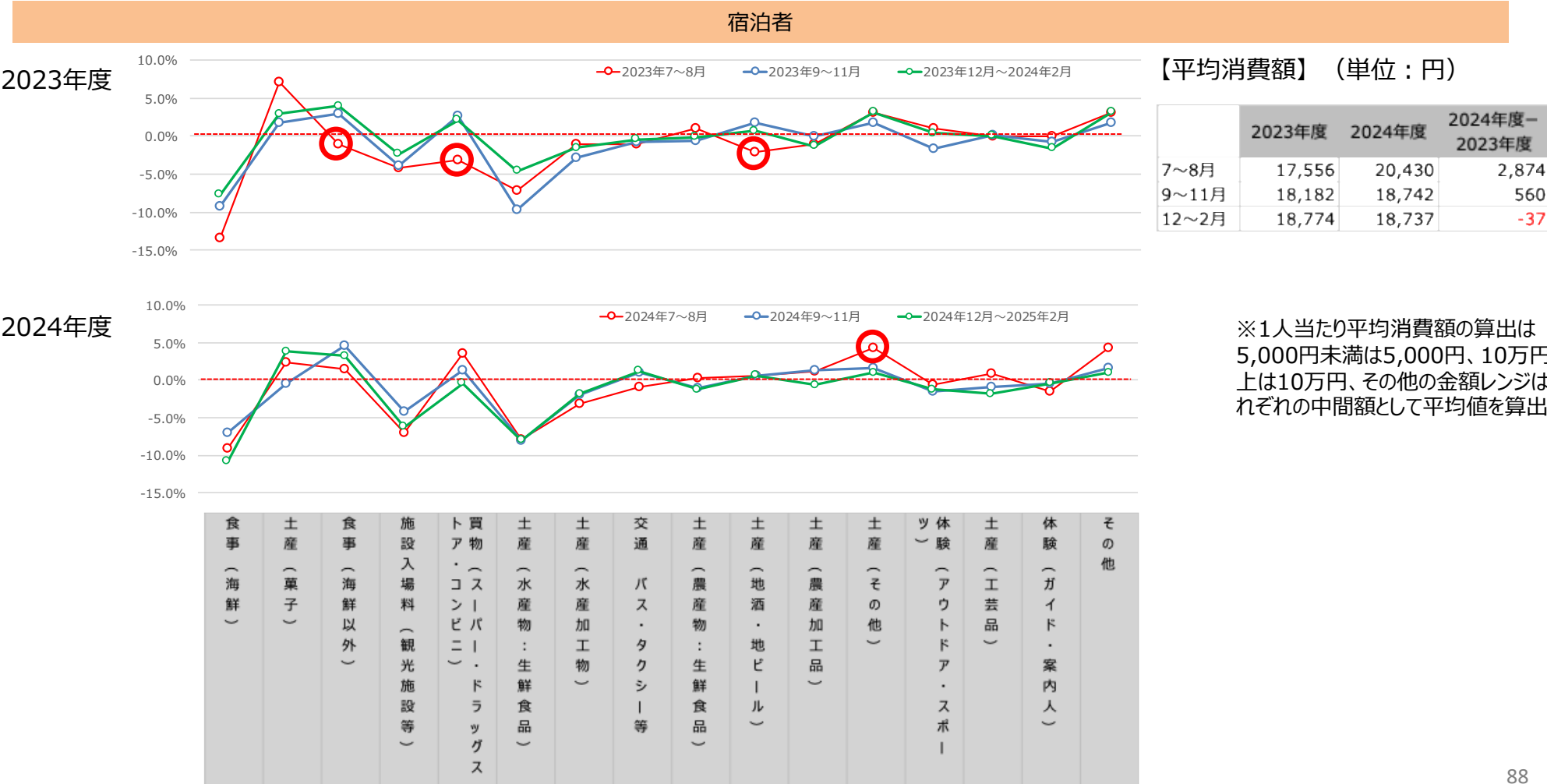
※1人当たり平均消費額の算出は
5,000円未満は5,000円、10万円以上は10万円、その他の金額レンジはそれぞれの中間額として平均値を算出

2024年度は、2023年度と比較して土産（水産物：生鮮食品）、土産（地酒・地ビール）の予定の割合が増加した。実支出は食事（海鮮）などの割合が増加している。

観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年度・2024年度の比較

事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

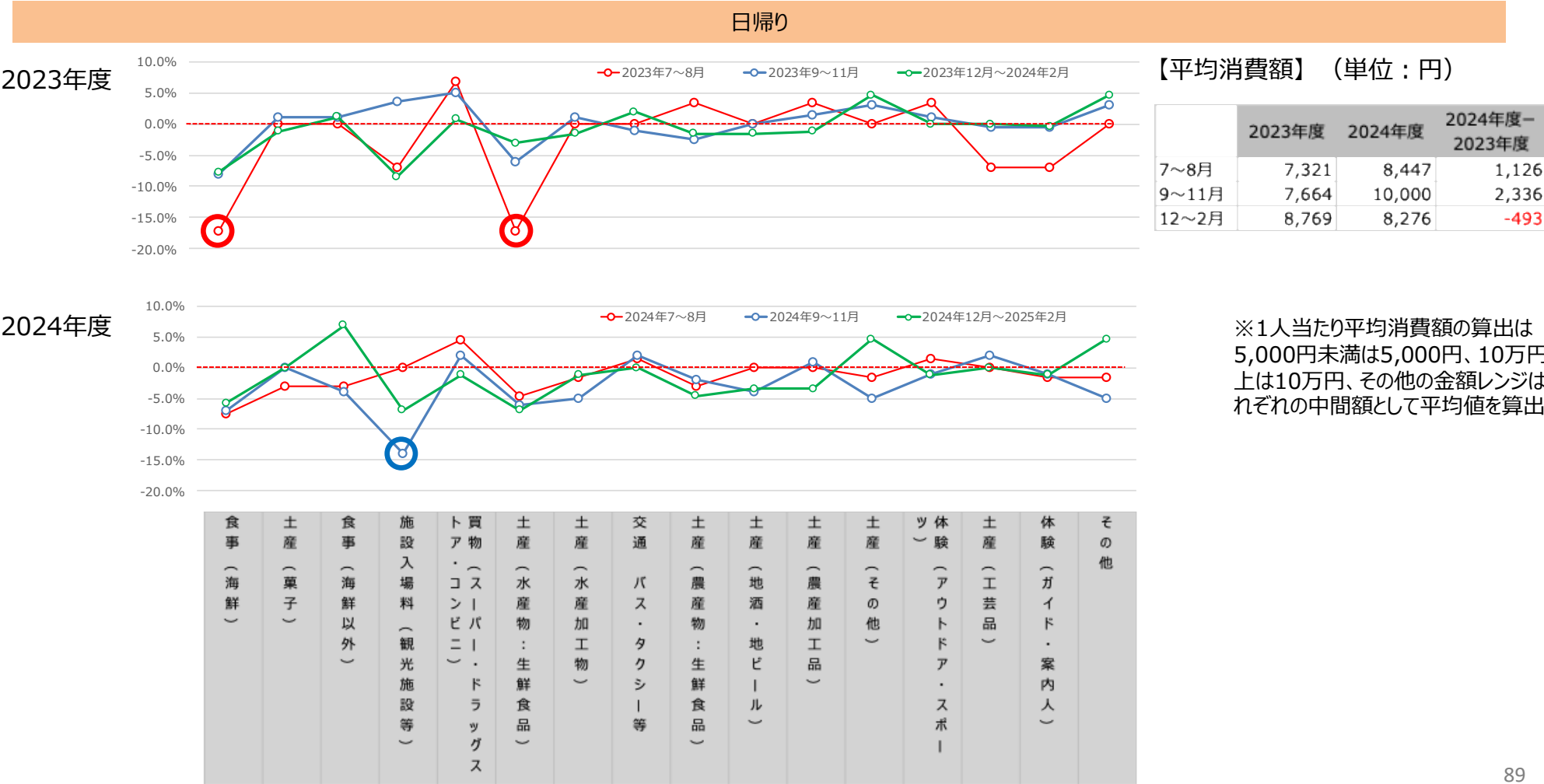
- 宿泊者における2024年度の消費項目の差分は、シーズンによって大きな違いは見られない。食事（海鮮）は2024年12月～2025年2月の機会ロスが最も大きく、次いで2024年7～8月、2024年9～11月となっている。
- 2023年度は、2023年7～8月において食事（海鮮以外）や買物（スーパー等）、土産（地酒・地ビール）で機会ロスが生じた。一方で、2023年9～11月、2023年12月～2024年2月では差分プラスとなっている。



観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年度・2024年度の比較

事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 日帰りにおける2024年度の消費項目では、2024年9～11月において施設入場料（観光施設等）の機会ロスが大きく生じた。2024年12月～2025年2月でも機会ロスが生じている。一方で、2024年7～8月は差分ゼロとなった。
- 2023年度では、2023年7～8月において食事（海鮮）や土産（水産物：生鮮食品）での機会ロスが大きく生じている。



観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年度・2024年度の単月比較

事前の消費意向と実際の使途の分析（属性別）

- 2024年度では、食事（海鮮）において40代および70歳以上での機会ロスが増加した。
- 土産（水産物：生鮮食品）では、50歳以上での機会ロスが増加している。
- 施設入場料は、全体的に機会ロスが増加傾向となっている。

機会ロス = 差分(実際-予定)

2023年度

		n	食事 (海鮮)	土産 (水産物：生鮮食品)	施設入場料 (観光施設等)
全体	全体	2426	-8.7%	-6.6%	-3.2%
性別	男性	914	-7.5%	-4.2%	-1.6%
	女性	1497	-9.4%	-8.2%	-4.2%
	答えたくない	15	0.0%	0.0%	0.0%
年齢別	15～19歳	16	-18.8%	-6.3%	0.0%
	20～29歳	166	-7.2%	-5.4%	-8.4%
	30～39歳	281	-3.2%	-4.3%	-5.3%
	40～49歳	474	-8.4%	-5.9%	-6.3%
	50～59歳	767	-9.9%	-6.1%	-0.4%
	60～69歳	530	-9.8%	-10.4%	-1.5%
	70歳以上	174	-9.2%	-5.2%	-3.4%
	答えたくない	18	-11.1%	0.0%	-11.1%
居住地別	首都圏1都3県	1400	-9.0%	-6.4%	-3.9%
	静岡県	585	-9.6%	-7.9%	-2.4%
	その他	441	-6.3%	-5.9%	-2.0%
宿泊地別	南伊豆	341	-9.1%	-8.2%	-3.5%
	東伊豆	1085	-8.4%	-8.4%	-2.9%
	中伊豆	510	-9.6%	-8.0%	-3.5%
	西伊豆	309	-7.8%	-2.9%	0.3%
来訪回数別	日帰り	487	-8.4%	-5.1%	-3.5%
	1泊	1302	-9.1%	-6.5%	-3.9%
	2泊	490	-8.0%	-7.6%	-0.4%
	3泊	92	-6.5%	-10.9%	-4.3%
	4泊以上	55	-9.1%	-7.3%	-7.3%

2024年度

		n	食事 (海鮮)	土産 (水産物：生鮮食品)	施設入場料 (観光施設等)
全体	全体	1564	-8.6%	-7.7%	-6.1%
性別	男性	628	-8.1%	-5.6%	-7.5%
	女性	927	-9.1%	-9.1%	-5.2%
	答えたくない	9	0.0%	-11.1%	0.0%
年齢別	15～19歳	21	-4.8%	-4.8%	4.8%
	20～29歳	83	-2.4%	-2.4%	0.0%
	30～39歳	215	-7.4%	-4.2%	-9.8%
	40～49歳	315	-10.5%	-6.2%	-7.6%
	50～59歳	484	-8.3%	-8.1%	-6.4%
	60～69歳	353	-9.3%	-11.6%	-5.7%
	70歳以上	88	-11.4%	-9.1%	0.0%
	答えたくない	5	0.0%	0.0%	0.0%
居住地別	首都圏1都3県	885	-7.6%	-7.1%	-6.2%
	静岡県	373	-8.8%	-9.4%	-6.7%
	その他	306	-11.4%	-7.2%	-4.9%
宿泊地別	南伊豆	105	-3.8%	-12.4%	-1.9%
	東伊豆	586	-9.6%	-9.0%	-6.7%
	中伊豆	272	-11.8%	-9.2%	-5.9%
	西伊豆	181	-9.9%	-8.8%	-7.2%
来訪回数別	日帰り	253	-6.7%	-5.9%	-7.9%
	1泊	846	-9.9%	-9.8%	-5.6%
	2泊	345	-7.8%	-6.4%	-5.5%
	3泊	58	-10.3%	1.7%	-5.2%
	4泊以上	62	-1.6%	-1.6%	-9.7%

観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年度・2024年度の単月比較

事前の消費意向と実際の使途の分析（予実金額層別）

- 2024年度は、2023年度と比較して予定額4万円以上で全体的に機会ロスが少ない傾向となっている。
- 実際の支出額でも、5万円以上では機会ロスが少ない傾向となった。特に土産（水産物：生鮮食品）では、実際の支出が予定を大きく上回っている。

機会ロス = 差分(実際-予定)

2023年度 予定額

	n	(食事 海鮮)	生(土産 鮮食品) 物:	等(施設 観光入 場料)
全体	2426	-8.7%	-6.6%	-3.2%
5,000円未満	331	-6.3%	-4.2%	-0.9%
5,000~9,999円	553	-10.7%	-7.1%	-5.1%
10,000~19,999円	779	-8.0%	-7.2%	-3.1%
20,000~29,999円	378	-8.5%	-4.8%	-0.8%
30,000~39,999円	187	-5.9%	-7.5%	-4.3%
40,000~49,999円	102	-11.8%	-9.8%	-8.8%
50,000~99,999円	83	-14.5%	-8.4%	-3.6%
100,000円以上	13	-7.7%	-23.1%	0.0%

実際の支出額

	n	(食事 海鮮)	生(土産 鮮食品) 物:	等(施設 観光入 場料)
全体	2426	-8.7%	-6.6%	-3.2%
5,000円未満	424	-7.8%	-5.0%	-4.0%
5,000~9,999円	615	-14.8%	-7.6%	-5.7%
10,000~19,999円	758	-6.3%	-9.0%	-2.4%
20,000~29,999円	341	-5.3%	-2.1%	0.6%
30,000~39,999円	158	-1.9%	-6.3%	-3.8%
40,000~49,999円	77	-16.9%	-6.5%	-1.3%
50,000~99,999円	44	-6.8%	-6.8%	-6.8%
100,000円以上	9	-11.1%	0.0%	0.0%

2024年度 予定額

	n	(食事 海鮮)	生(土産 鮮食品) 物:	等(施設 観光入 場料)
全体	1564	-8.6%	-7.7%	-6.1%
5,000円未満	225	-9.8%	-1.3%	-6.7%
5,000~9,999円	346	-12.4%	-11.0%	-4.0%
10,000~19,999円	463	-7.1%	-7.8%	-7.1%
20,000~29,999円	264	-7.6%	-12.5%	-5.7%
30,000~39,999円	124	-7.3%	-8.1%	-7.3%
40,000~49,999円	58	-6.9%	-3.4%	-8.6%
50,000~99,999円	71	-4.2%	5.6%	-9.9%
100,000円以上	13	-7.7%	-15.4%	23.1%

実際の支出額

	n	(食事 海鮮)	生(土産 鮮食品) 物:	等(施設 観光入 場料)
全体	1564	-8.6%	-7.7%	-6.1%
5,000円未満	270	-13.3%	-4.4%	-10.0%
5,000~9,999円	384	-10.2%	-13.8%	-7.3%
10,000~19,999円	463	-7.3%	-7.1%	-4.3%
20,000~29,999円	235	-8.5%	-8.9%	-5.5%
30,000~39,999円	113	-3.5%	-2.7%	-3.5%
40,000~49,999円	41	-2.4%	-17.1%	-9.8%
50,000~99,999円	49	-2.0%	14.3%	0.0%
100,000円以上	9	0.0%	22.2%	11.1%

観光アンケート 回答結果（まとめ）

【年齢別】

- ・50代が最も多く、30.9%を占めた。次いで60代が22.6%、40代が20.1%となっている。
- ・2023年度と比べて30代の割合が2.1ポイント増加した。一方で、20代が1.5ポイント、70歳以上が1.6ポイント減少している。

【職業別】

- ・会社員/団体職員が最も多く40.9%を占め、次いでパート・アルバイト、専業主婦（夫）の順となっている。
- ・2023年度と比べて、会社員/団体職員の割合が2.4ポイント減少した。パート・アルバイトは1.0ポイント増加している。

【居住地別】

- ・居住地は、静岡県23.8%、東京都22.5%、神奈川県21.4%が上位を構成している。
- ・宿泊者の居住地は東京都が最多で、次いで神奈川県。TOP6で全体の83.9%を占める。日帰りでは静岡県が57.7%を占める。
- ・全体としては、2023年度と比べて愛知県の割合が1.2ポイント増加し、6位から5位に浮上した。

【宿泊数】

- ・1泊が最も多く、54.1%を占めた。次いで2泊が22.1%、日帰りが16.2%となっている。
- ・南伊豆町、下田市、河津町、松崎町、三島市の滞在者は5割超が2泊以上となっている。
- ・伊東市、下田市、沼津市、西伊豆町、熱海市が、周遊滞在の拠点となる可能性を有している。
- ・2023年度と比べて2泊の割合が1.9ポイント増加した。日帰りは3.9ポイント減少している。

【宿泊地】

- ・伊東市での宿泊が最も多く、36.0%を占めた。次いで伊豆市が12.7%、下田市が10.6%となっている。
- ・伊東市の割合が2023年度から9.6ポイント増加した。2023年度では7位だった伊豆の国市が4位に浮上している。

【夕食・朝食について】

- ・宿泊施設内でとった（とる予定の）ケースが圧倒的に多く、83.4%を占めた。
- ・上記のうち、「夕食・朝食を宿泊施設以外の飲食店でとってみたい」と回答したのが35.6%。「とってみたいと思わない」が37.0%となった。（大きな差はない）。
- ・2023年度と比べて、2024年度は「夕食・朝食を宿泊施設以外の飲食店でとってみたい」が0.9ポイント減少した。

観光アンケート 回答結果（まとめ）

【滞在時間】

- ・日帰りでは、6時間～1日未満が最も多く61.9%を占めた。次いで3～6時間未満が多い。
- ・宿泊では、2日未満が73.0%を占めた。
- ・2023年度と比較して、日帰りの6時間以上の滞在時間の割合が増加傾向。宿泊では、2日以上が5.9ポイント減少している。

【到着時刻】

- ・到着は11時台が最も多く、出発は15時台が最も多かった。
- ・70.3%がチェックイン以前に到着し、近くで過ごしている。また、79.1%がチェックアウト後も館外で過ごしている。
- ・2023年度と比べると、チェックイン以前の到着が1.1ポイント、チェックアウト後の滞在が1.4ポイント増加した。

【利用交通機関】

- ・自家用車が65.4%を占めた。次いで電車が多く、27.8%となっている。
- ・2023年度と比べて、自家用車が0.8ポイント増加した。電車は2.0ポイント減少している。

【旅行形態別・人数】

- ・夫婦旅行が最も多く、37.1%を占め、次いで大人の家族旅行、子ども連れ家族旅行となっている。
- ・2人での旅行が58.7%と最も多く、次いで1人10.8%、3人9.9%、4人3.2%と続く。
- ・2024年度は、2023年度と比べて初めて、2回の割合が増加。一方で、3回、4回、5回以上の割合が減少した。
- ・ペット連れは3.1%。2023年度と比べると、0.7ポイント減少した。

【来訪回数】

- ・宿泊者では直近一年間の旅行で初めてが29.9%と最も多く、日帰りでは5回以上が47.0%と最も多い。
- ・2024年度は、2023年度と比較して2回、4回の割合が微増し、初めて、3回、5回の割合は微減している。

【来訪目的】

- ・「温泉」が最も多く、68.6%を占めた。次いで「グルメ・食事」「自然の景観を楽しむ」「史跡めぐり・まち歩き」の順となっている。
- ・2023年度と比べると、温泉の割合が0.6ポイント減少した。3位の「自然の景観を楽しむ」は14.5ポイント増加している。

観光アンケート 回答結果（まとめ）

【ジオパークについて】

- ・「伊豆半島来訪以前から知っていた」が最も多く、65.0%を占めた。「この設問で初めて知った」が19.6%、「今回の来訪中に知った」が15.4%となっている。
- ・「ジオパークは、今後伊豆半島を訪れる目的になると思うか」に対する回答の平均値は6.4となった（1が全く思わない、10が非常に思う）。

【予算（宿泊費を除く）】

- ・1万円台が最も多く、29.6%を占める。次いで5,000～9,999円が22.1%、2万円台が16.9%となった。
- ・2023年度と比較して、5,000円未満、2万円台、3万円台、5万円以上の割合が増加した。

【お金を使うつもりだったもの（支出予定対象）】

- ・食事（海鮮）が最も多く、73.1%を占めた。次いで土産（菓子）、食事（海鮮以外）、施設入場料（観光施設等）の順となっている。
- ・買物（スーパー・ドラッグストア・コンビニ）が2023年度から6.5ポイント増加した。順位は7位から5位に浮上している。

【実支出（宿泊費を除く）】

- ・1万円台が29.6%で最も多い。次いで5,000円～9,999円が24.6%となった。2万円以上が4分の1超を占める。
- ・2023年度と比較して、2万円以上の割合が増加した。

【実際にお金を使ったもの（支出行動対象）】

- ・お金を使うつもりだったものと同じく食事（海鮮）が最も多く、土産（菓子）、食事（海鮮以外）、施設入場料（観光施設等）、買物（スーパー等）と続く。
- ・1～5位は2023年度と変わらず。ただし、いずれも支出した割合が増加している。

【支出を予定していたが、支出しなかった理由】

- ・食事（海鮮）、交通（バス・タクシー等）、施設入場料（観光施設等）では「高価だった」が最も多かった。その他では、「見つからなかった」が最多となっている。

観光アンケート 回答結果（まとめ）

【支出を予定していなかったが、支出した理由】

- ・いずれの項目も「魅力的であった」が最多となった。

【不便に感じたこと】

- ・「公共交通機関の利便性が悪い」が最も多く、29.3%を占めた。
- ・次いで「交通渋滞」、「Wi-Fiが繋がる場所が少ない」、「魅力的なお土産が少なかった」の順となっている。

【満足度が高かったこと】

- ・「温泉」が最も多く、71.9%を占めた。
- ・次いで「グルメ・食事」、「花見等自然の景観を楽しむ」、「史跡めぐり・まち歩き」の順となっている。

【満足度】（10点評価）

- ・8が最も多く、29.6%を占めた。次いで10が29.2%、9が16.6%となっている。
- ・月ごとの平均満足度は2024年10月が最も高く、8.27となった。一方で、2024年9月および2025年1月が最も低く、8.11に留まっている。

【再訪意向】

- ・「再訪したいと思う」が圧倒的に多く、79.0%を占めた。「やや再訪したいと思う」との合算では、97.5%に達している。
- ・2023年度と比較すると、「再訪したいと思う」が8ポイント減少し、「やや再訪したいと思う」が7ポイント増加している。

【推奨意向】

- ・「勧めたいと思う」が多く、70.2%を占めた。「やや勧めたいと思う」との合算では、95.1%に達している。
- ・2023年度と比較すると、「勧めたいと思う」が7.5ポイント減少した。「やや勧めたいと思う」との合算では、0.8ポイント減少している。

観光アンケート 回答結果（まとめ）

【事前の消費意向と消費実態】

◆全体：機会ロスは、食事（海鮮）、施設入場（観光施設等）、土産（水産物：生鮮食品）の3カテゴリで多く発生している。2023年度で若干機会ロスが生じていた交通 バス・タクシー等、土産（農産加工品）は、2024年度で差分プラスとなった。

◆宿泊者全体：機会ロスの傾向は全体と同様。2023年度で若干機会ロスが生じていた交通 バス・タクシー等、土産（農産加工品）は、日帰りを含めた全体と同じく2024年度で差分プラスとなった。

◆2泊以上周遊者：機会ロスは、食事（海鮮）、施設入場料（観光施設等）、土産（水産加工物）の3カテゴリが目立つ結果となった。土産（菓子）、食事（海鮮以外）土産（地酒・地ビール）などの差分がプラスとなっている。

◆日帰り：機会ロスの傾向は全体と同様。2023年度と比較して、施設入場料での機会ロスが増加している。一方で、2023年度で若干機会ロスが生じていた土産（工芸品）は、2024年度で差分プラスとなった。

◆属性別：40代～70代で、食事（海鮮）の差分（機会ロス）が10%前後発生している。60代や日帰り客は、土産（水産物：生鮮食品）の機会ロスが10%前後と大きい。また、30～50代や4泊以上の宿泊者において、施設入場料（観光施設等）での機会ロスが大きかった。2024年度は、2023年度と比べて食事（海鮮）において40代および70歳以上での機会ロスが増加。また、土産（水産物：生鮮食品）では、50歳以上での機会ロスが増加している。施設入場料は、全体的に機会ロスが増加傾向となった。

◆予実金額層別：比較的ボリュームゾーンである「実際の支出が5,000～9,999円」の回答者層は、食事（海鮮）・土産（水産物：生鮮食品）のカテゴリで大きな機会ロスが生じている。実際の支出が「10,000～19,999円」～「30,000～39,999円」の回答者層は、3つのカテゴリで機会ロスが生じているものの、10%未満に留まった。実際の支出が50,000円以上になると、差分がプラスになっている項目が多い。2024年度は、2023年度と比較して予定額4万円以上で全体的に機会ロスが少ない傾向となっている。また、実際の支出額でも、5万円以上では機会ロスが少ない傾向となった。特に土産（水産物：生鮮食品）では、実際の支出が予定を大きく上回っている。

観光アンケート 回答結果から見える考察・方向性

◆来訪者の属性と動向

・属性については、2024年度単体で見ると全体的に前年と傾向は大きく変わらず、引き続き神奈川・東京など首都圏からの宿泊客と、静岡県内・近隣県からの日帰り観光客が主要層となっており、新型コロナ等の特殊要因による影響は減衰し、通常サイクルに戻ったものと推察される。2023年度からの変化の一つとして、日帰りの伊豆半島での滞在時間が伸びていることが挙げられる。滞在時間が伸びることは域内での消費機会の増加とも言え、極力ロスを減少させることが一層重要となる。後述する主要ロス項目を参照し、減少に努めたい。

・伊豆半島を訪れた目的では2023年度と同じ「温泉」（68.6%）が1位となった。次いで「グルメ・食事」（60.1%）、「自然の景観を楽しむ」（56.1%）と続く。（「自然の景観を楽しむ」は前年度の選択肢「花見等自然の景観を楽しむ」から「花見等」という文言を削除したことも回答率の増加に大きく関連しているものと思われる）。満足度は、「温泉」（71.9%）、次いで「グルメ・食事」（71.7%）、「花見等自然の景観を楽しむ」（48.7%）と続く（満足度については「花見」という文言あり）。引き続き、伊豆半島への観光は温泉・グルメ・自然へのニーズが牽引していることを起点に、目的・満足度を継続的にモニタリングし、対応していくことが重要である。

◆観光消費額

・回答者全体の1人当たり平均消費額は増加傾向にある。昨今の物価上昇も影響していると思われるが、2023年度比で宿泊者は705円、日帰りは758円増加している（※1人当たり平均消費額の算出は5,000円未満は5,000円、10万円以上は10万円、その他の金額レンジはそれぞれの中間額として平均値を算出）。また、1人当たり平均消費額を期間別に見ると宿泊に関しては7～8月では20,430円となっており、最も高くなっており、2023年度比で2,874円も増加している。12～2月に関しては2024年度の方が34円減少している。日帰りについても7～8月は8,447円となっており、2023年度比で1,126円増加している。9～11月に関しては2024年度は10,000円となっており、2023年度比で2,336円とさらに増加している。12～2月に関しては493円減少しており、冬場の消費に何らかの課題があるように思われる。これらの期間別の消費動向を踏まえ、各期間の実際の支出行動割合を見ると（※観光客の消費項目別支出単価はわからないものの）、例えば7～8月の宿泊では交通（バス・タクシー等）・土産（農産物・・・生鮮食品）が大きく伸びており、これらの消費行動が消費額を牽引した様子が伺える。日帰りに関しても、同様の考え方で、7～8月については、食事（海鮮以外）、交通 バス・タクシー等の支出行動割合が増加、9～11月は食事（海鮮）、土産（菓子）、土産（水産加工物）、食事（海鮮以外）などの支出行動割合が高く、消費額を牽引したと思われる。一方、食事（海鮮）、土産（水産物・・・生鮮食品）、施設入場料（観光施設等）では販売機会ロスが出ていることから、予定していたが支出しなかった理由をヒントにして改善を図っていく必要がある。いずれも、「高価だった」、「見つからなかった」という理由が多かったため、「高価」である理由や魅力・価値の訴求、ニーズのある品目・サービスへ観光客を導くための「情報発信」がより重要になっていくものと思われる。

また、それらの取組みの精度を上げるため、さらになぜ「見つからなかった」のかを聞いておきたいが、アンケートではこれ以上の深掘りは厳しい面もあるため、インタビューの実施なども検討しつつ、いつ、どこでどのような方法で観光客がその時々に必要な情報を届け、誘導できるのかを検討するとともに、対策をとっていくことが重要と思われる。

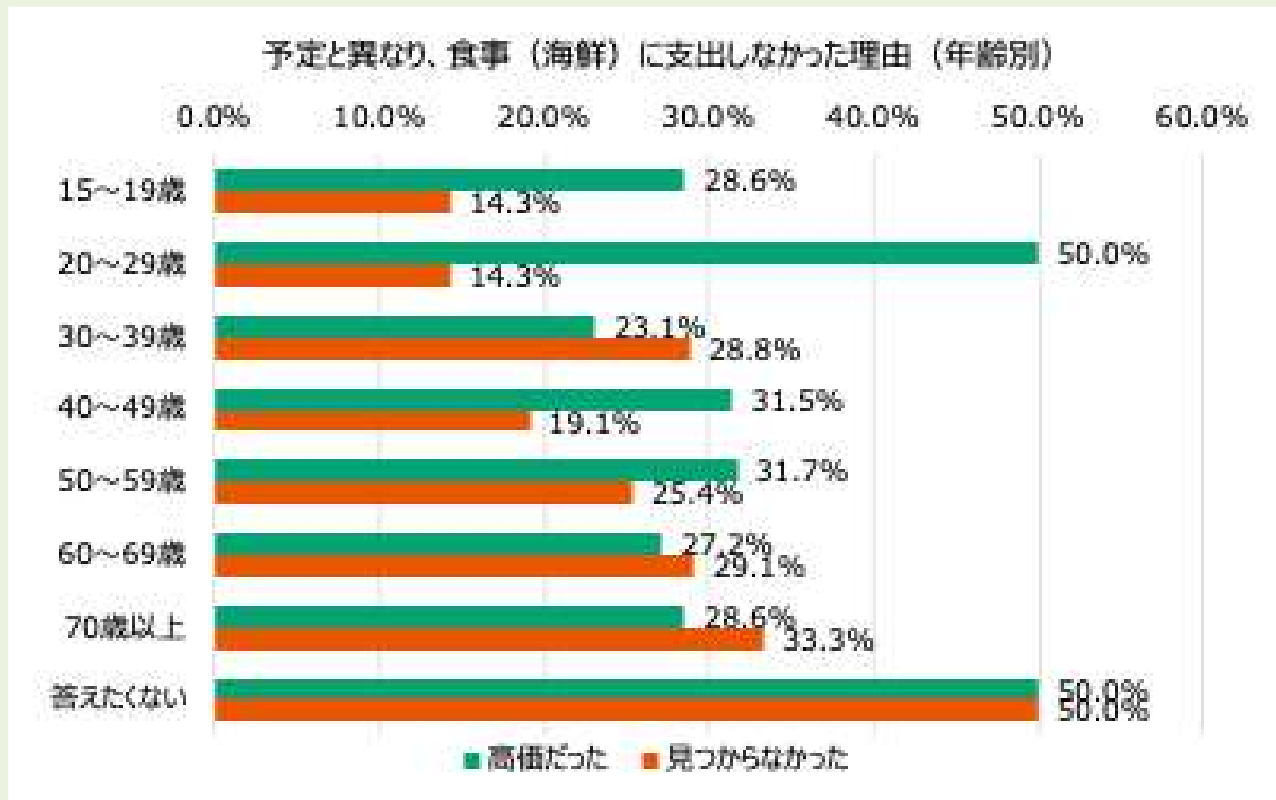
観光アンケート 回答結果から見える考察・方向性

◆事前の消費意向と消費実態（機会ロスについて）

特に機会ロスが出ている項目は食事（海鮮）、土産（水産物：生鮮食品）、施設入場料（観光施設等）の3項目となっている。

【食事（海鮮）】

・アンケート期間中、10月以外全ての月でロスが全消費項目の中で最大となっている。特にボリュームゾーンである40代～70代で10%前後のロスが発生している。支出しなかった主な理由としては「高価だった」「見つからなかった」などの理由が挙げられており、年代別に見ると、「高価だった」は20代、「見つからなかった」は70歳以上が特に多かった。全体としては、「見つからなかった」に関しては年齢層が高くなる程、回答割合が高くなっている。このことから、世代間の情報収集の手段による機会ロスの発生も考えられるため、年代別に適した情報の出し方を工夫・検討していく必要があるものと思われる。



※全ての理由のうち、「高価だった」「見つからなかった」が占める割合を年代別にそれぞれ算出

観光アンケート 回答結果から見える考察・方向性

◆事前の消費意向と消費実態（機会ロスについて）

【土産（水産物：生鮮食品）】

・土産（水産物：生鮮食品）は、食事（海鮮）に次いで機会ロスの割合が高い。予定段階では品目ランキング6位となっているにもかかわらず、実際の支出ランキングでは8位にとどまっている。水産系の生鮮食品の持ち帰りのことを考えると日帰り客にニーズがあるように思われるが、宿泊客、特に連泊者の方が事前に支出を予定していた割合は高く、機会ロスが高く出ているのは1泊の宿泊者となっている。また、年代別では50代以上が特に高い。支出しなかった理由としては「見つからなかった」という回答が最も高くなっていることや、年代が高くなるほど機会ロスの割合が高くなっている（特に60代）ことから、食事（海鮮）と同様の対応が必要となってくるものと思われる。

【施設入場料（観光施設など）】

・30～50代や4泊以上の長期宿泊者において機会ロスが大きい一方、30歳未満、70代以上では目立ったロスが生じていない。比較的天候や当日の体調・予定変更の影響を受けやすい項目と考えられるが、年齢層による違いが大きく出ている。支出しなかった主な理由として最も高かったのは「高価だった」、次いで「見つからなかった」の割合が高い。観光施設については、食事や土産と比べて選択肢が少なく、客側のニーズや予算に見合った価値提供が難しい面があり、単に場所がわからなかった、導線上に見当たらなかったというよりも、自分に合った観光施設が「見つからなかった」という理由も一定程度存在するものと思われる。これも、もう一步踏み込んだアンケートやインタビュー調査を実施してみて検証し、施策を検討したい部分である。

・2023年度と比較すると、全体的に機会ロスが拡大していることもあり、機会ロスの出ている30～50代や4泊以上の長期宿泊者に対して訴求できるポイントが伝わりやすい魅力向上・企画・情報発信が求められると思われる。

【その他】

・体験（ガイド・案内人）・地酒・地ビールに関しては、予定外の支出の理由について、「現地で紹介された」の割合が相対的に高い。交通・食事などのように必要不可欠な活動ではないため、「紹介」も重要な役割を果たしているものと思われる。

(参考)

静岡県データ分析プラットフォームから見える観光動向

静岡県データ分析プラットフォーム（伊豆エリア）

静岡県データ分析プラットフォームを基に、伊豆エリアの宿泊者の属性（居住地、年代など）を把握し、動向の分析を行った。

静岡県データ分析プラットフォームとは：

●宿泊データ

店頭販売、国内ネット販売、海外向けサイトの販売、それぞれの販売を担う企業からデータを収集し、宿泊実績や宿泊予約動向を推計し、情報提供を行っている。

データ数は約2億件、日本全体の総宿泊数は約5億959万泊（観光庁宿泊旅行統計調査2019年）。

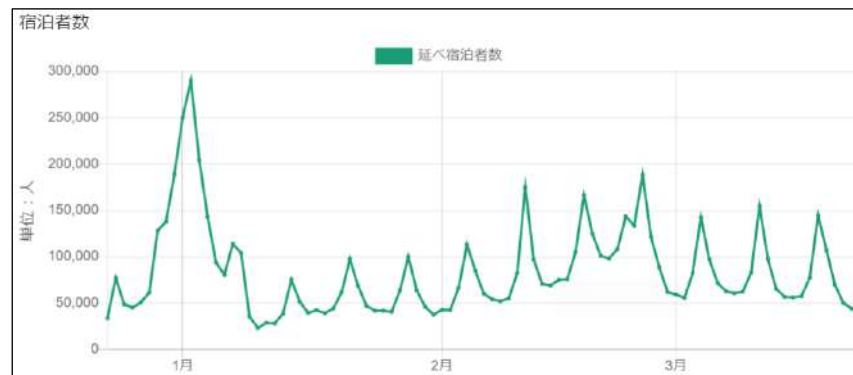
実績による集計・ランキングは、宿泊実績・予約データに公開されている総宿泊数を掛け合わせて算出。

●人流データ

ブログウォッチャーの人流データ

県内約2,000スポットから抽出。約250メートルメッシュにおける人流データの総数を表示。

※一部スポット別でも閲覧が可能



【イメージ】



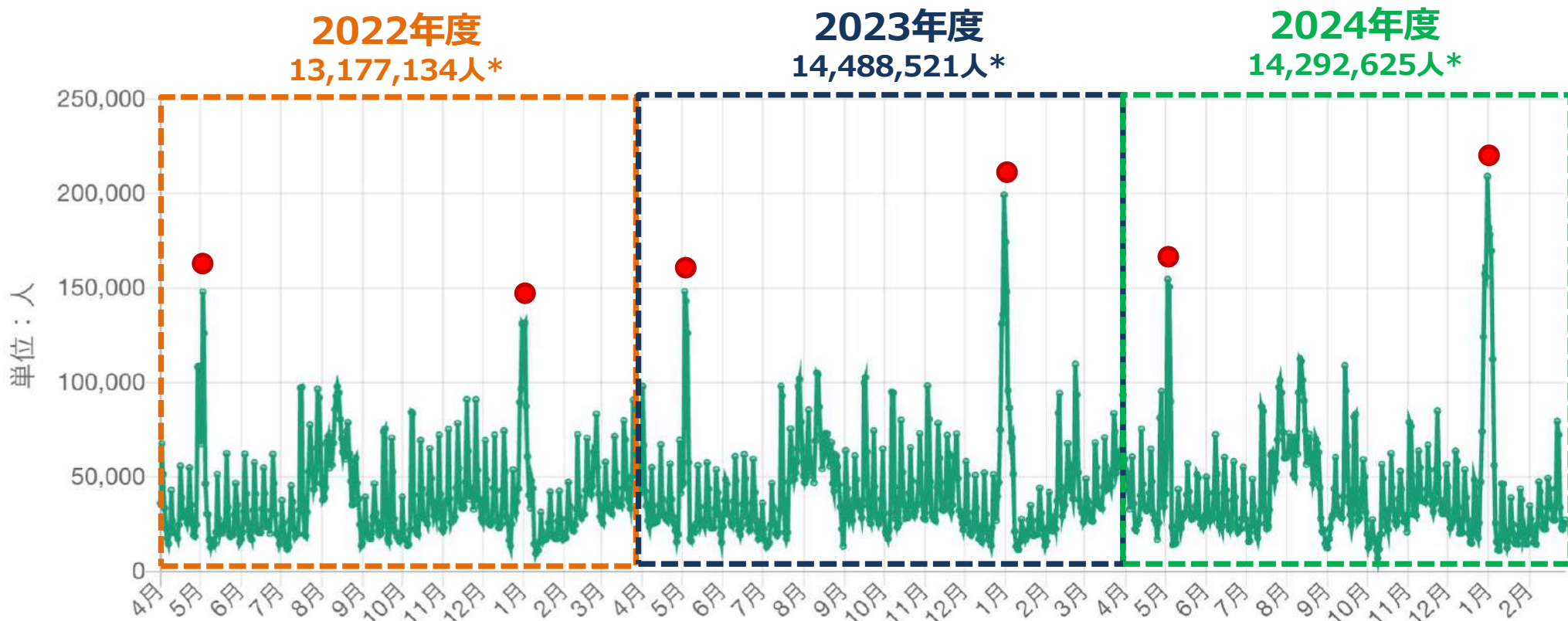
【イメージ】

長期傾向把握

2022年4月から2025年2月までの動向を把握する

延べ宿泊者数

*4月～2月の宿泊者数



各年で5月および1月に宿泊者数が増加している。2025年1月のピークは20万人超となり、前年、前々年を超えて最多となった。2024年5月のピークも前年、前々年と比べて多い。

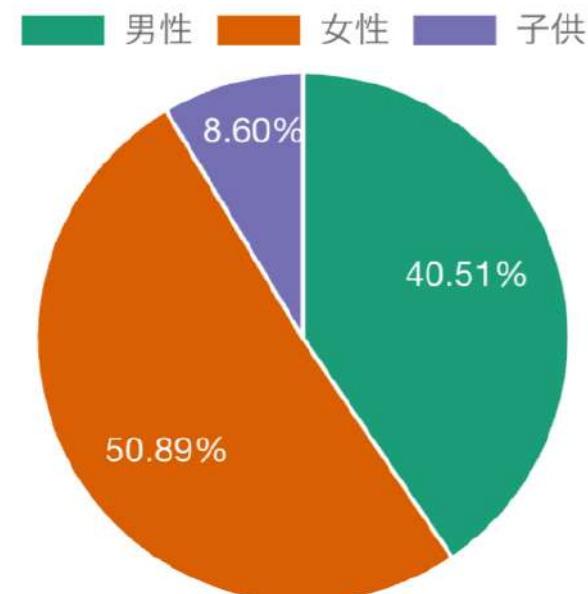
長期傾向把握

2022年4月から2025年2月までの動向を把握する

居住地別

順位	属性	値
1	東京都	13,048,822
2	神奈川県	8,718,879
3	埼玉県	5,482,438
4	千葉県	3,414,493
5	静岡県	3,015,473
6	愛知県	2,235,396
7	大阪府	1,106,906
8	茨城県	810,390
9	群馬県	577,437
10	兵庫県	539,800

性別

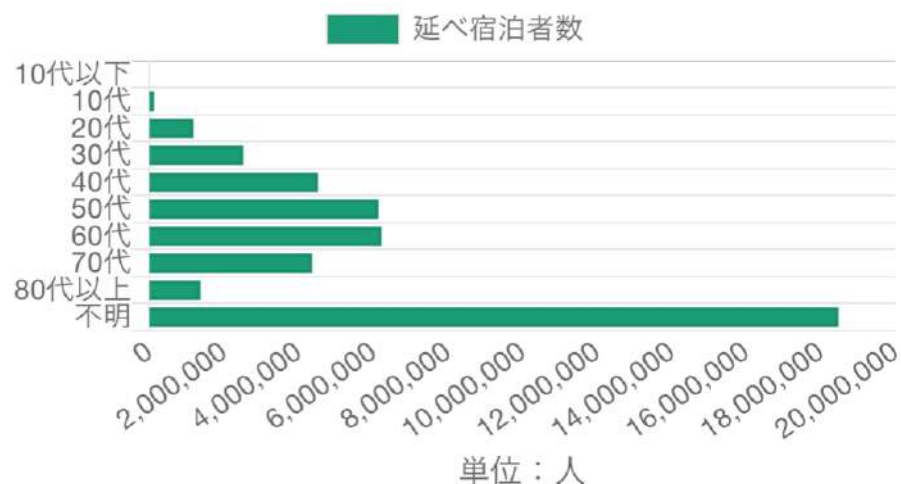


宿泊者の居住都道府県では東京がトップとなっており、神奈川、埼玉と続く。男女比では女性が50.9%となっており、男性を10.4ポイント上回っている。

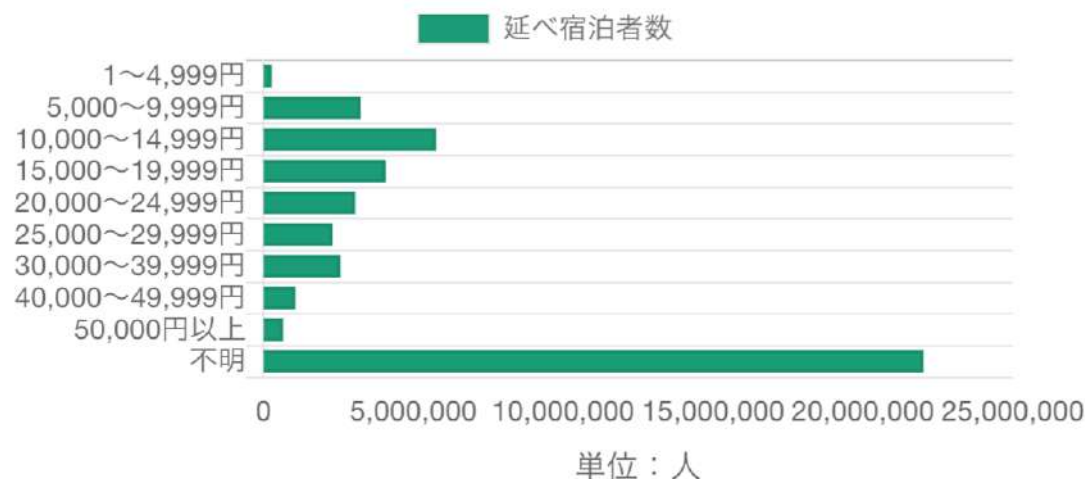
長期傾向把握

2022年4月から2025年2月までの動向を把握する

年齢層別



宿泊代別



宿泊者数を年代別に見ると、60代が最も多く、次いで50代、40代の順となっている。購入金額層では、10,000円～14,999円が最も多く、次いで15,000～19,999円が多い。

※システム上不明が発生。不明は除外して分析。

短期傾向把握

2024年度の動向を把握する

居住地別

2023年4月～2024年2月

順位	属性	値
1	東京都	4,223,626
2	神奈川県	2,782,131
3	埼玉県	1,810,236
4	千葉県	1,141,703
5	静岡県	892,116
6	愛知県	727,940
7	大阪府	363,775
8	茨城県	268,389
9	群馬県	200,945
10	兵庫県	196,006

2024年4月～2025年2月

順位	属性	値
1	東京都	4,041,845
2	神奈川県	2,667,442
3	埼玉県	1,661,968
4	千葉県	1,036,528
5	静岡県	857,802
6	愛知県	673,223
7	大阪府	329,079
8	茨城県	261,361
9	群馬県	185,517
10	兵庫県	151,182

2024年度における居住地別ランキングは、2023年度と同じ順位となった。

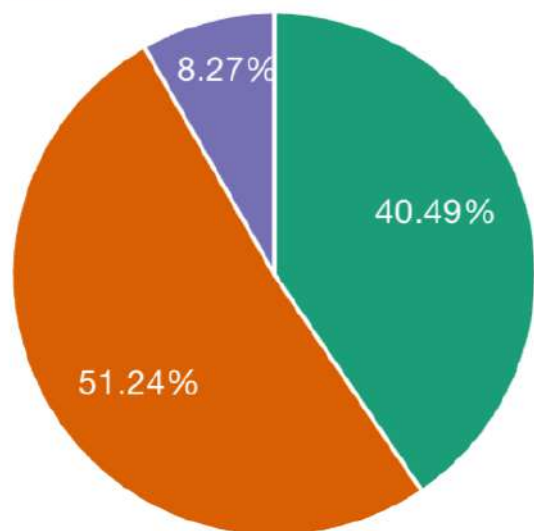
短期傾向把握

2024年度の動向を把握する

性別

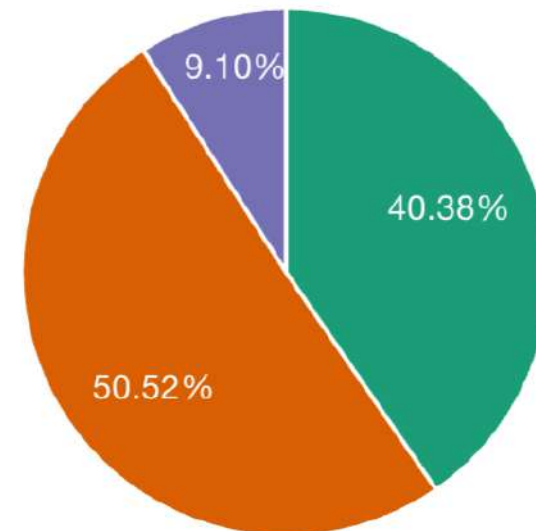
2023年4月～2024年2月

■ 男性 ■ 女性 ■ 子供



2024年4月～2025年2月

■ 男性 ■ 女性 ■ 子供



2024年度は、2023年度と比較して女性の割合が0.7ポイント減となった。

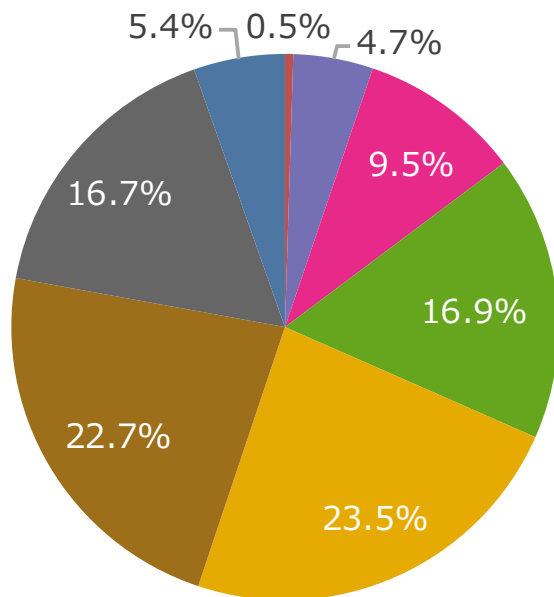
短期傾向把握

2024年度の動向を把握する

年齢層別 延べ宿泊人数

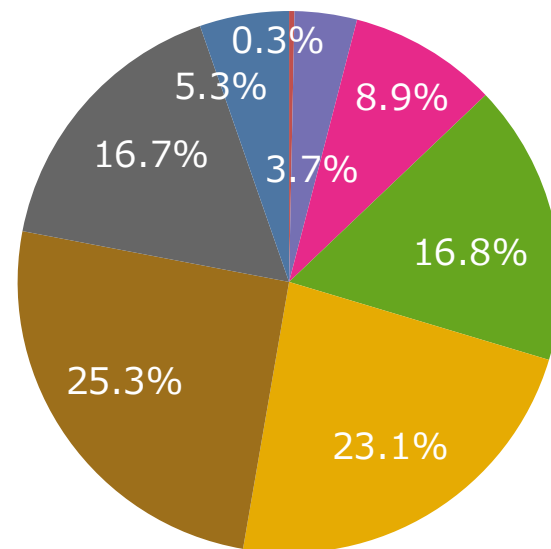
2023年4月～2024年2月

10代以下 10代 20代 30代 40代
50代 60代 70代 80代以上



2024年4月～2025年2月

10代以下 10代 20代 30代 40代
50代 60代 70代 80代以上



※ともに不明を除外した参考値

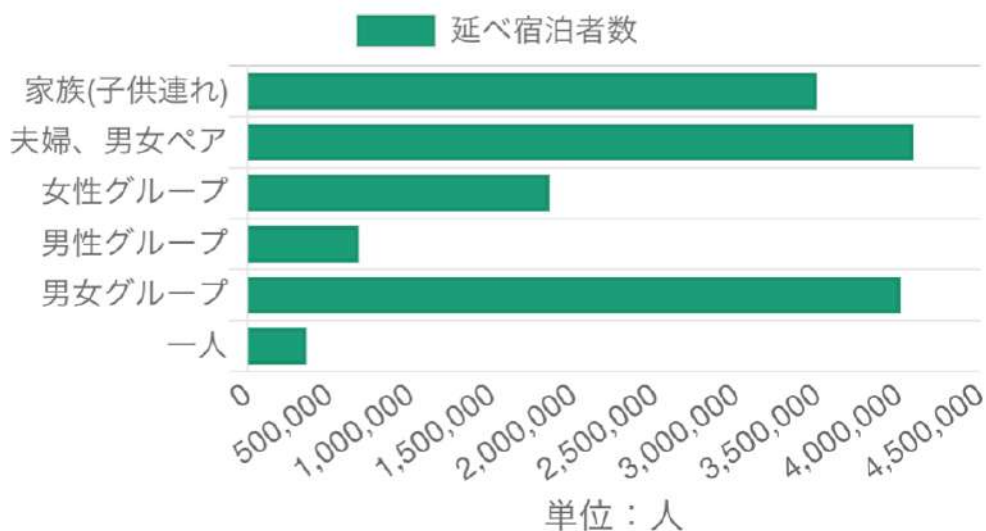
2024年度は、2023年度と比較して60代の割合が2.6ポイント増加した。

短期傾向把握

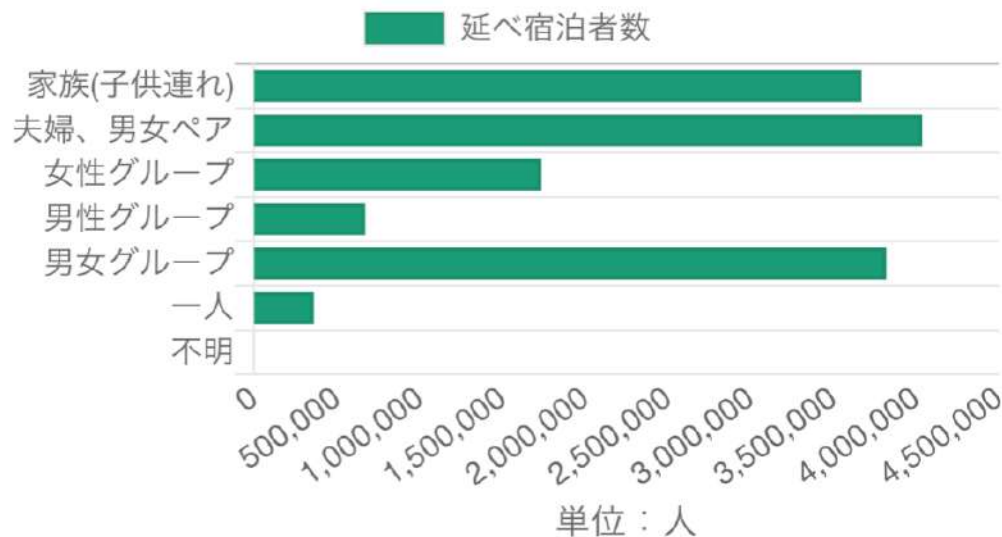
2024年度の動向を把握する

旅行形態別 延べ宿泊人数

2023年4月～2024年2月



2024年4月～2025年2月



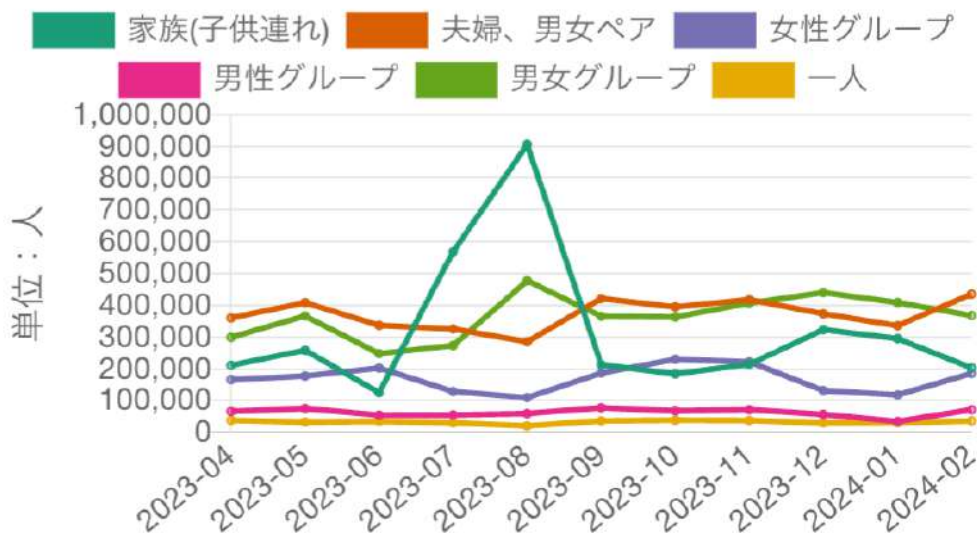
旅行形態別では、2023年度と同じく夫婦、男女ペアが最多で、次いで男女グループ、家族（子供連れ）の順となった。

短期傾向把握

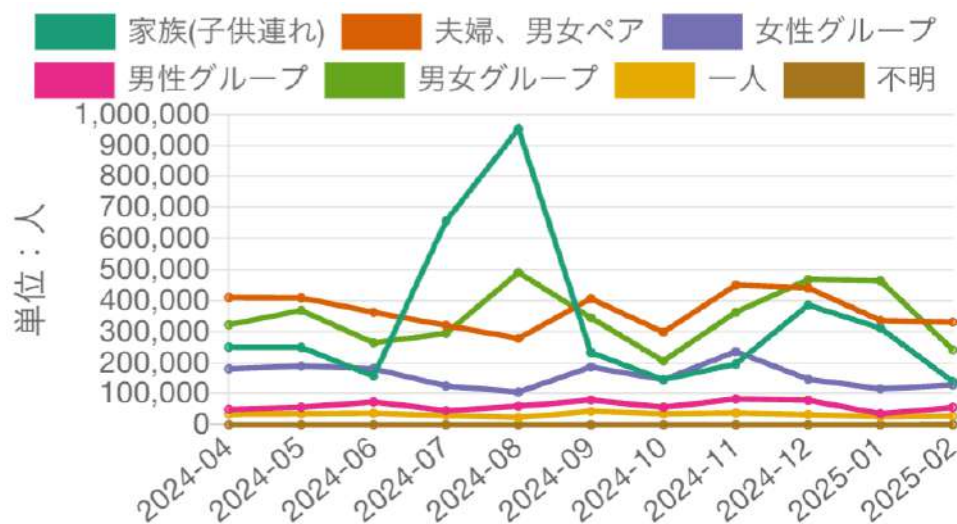
2024年度の動向を把握する

旅行形態別 延べ宿泊人数 月別

2023年4月～2024年2月



2024年4月～2025年2月



旅行形態別の月別推移では、2023年度と同じく4～6月、9～11月、2月で夫婦・男女ペアが、7～8月で家族（子供連れ）が、12月、1月で男女グループがそれぞれ最多となった。

短期傾向把握

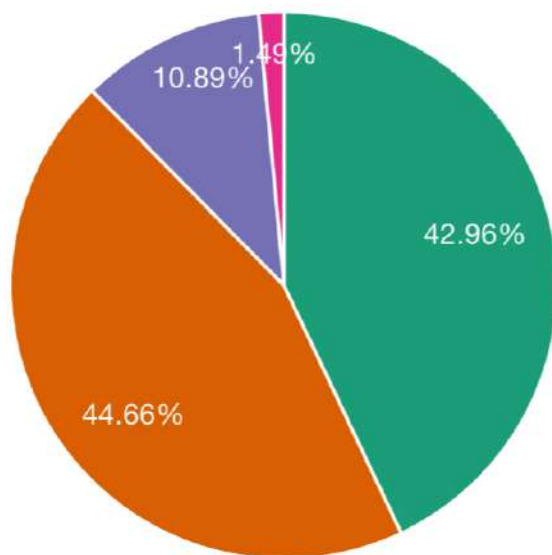
2024年度の動向を把握する

宿泊日数別 延べ宿泊人数

2023年4月～2024年2月

※4泊以下のみ抽出。最大94泊まであり。

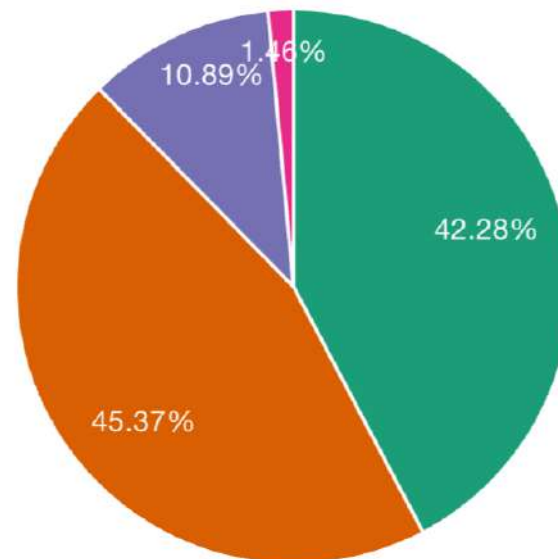
1泊 2泊 3泊 4泊



2024年4月～2025年2月

※4泊以下のみ抽出。最大94泊まであり。

1泊 2泊 3泊 4泊



宿泊日数では、1泊の割合が約0.7ポイント減少し、2泊が約0.7ポイント増加した。

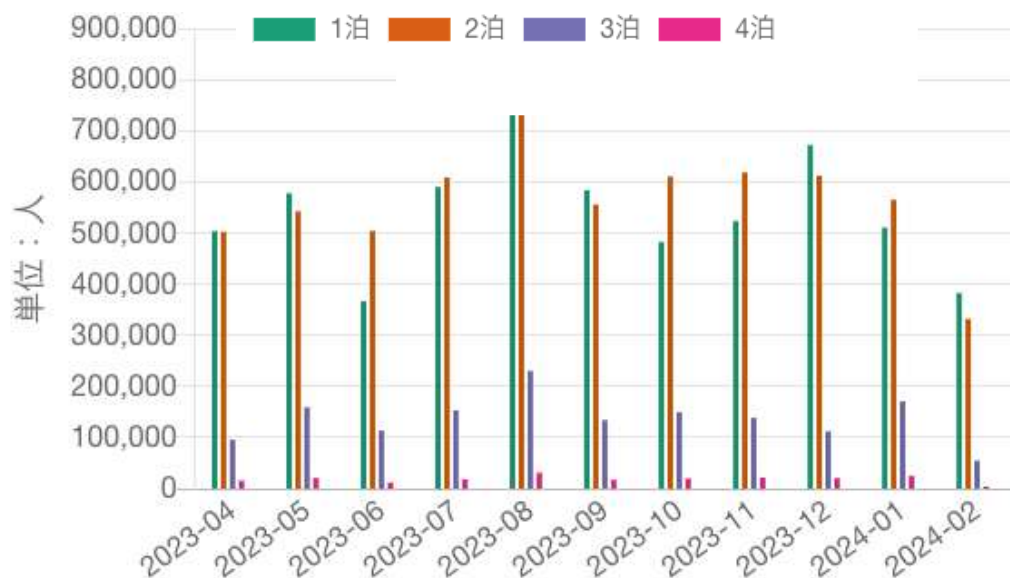
短期傾向把握

2024年度の動向を把握する

宿泊日数別 延べ宿泊者数 月別

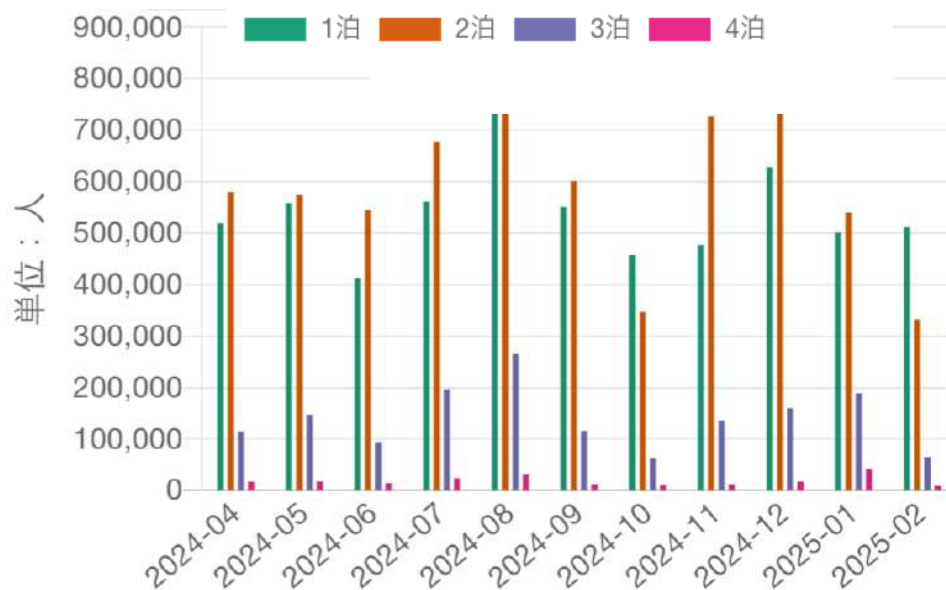
2023年4月～2024年2月

※4泊以下のみ抽出。最大94泊まであり。



2024年4月～2025年2月

※4泊以下のみ抽出。最大94泊まであり。



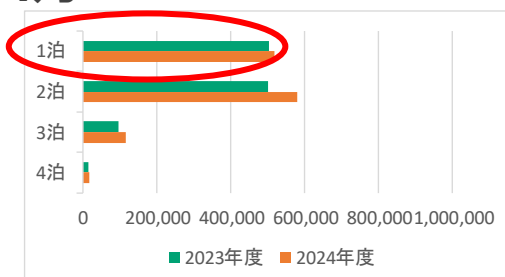
宿泊日数別宿泊者数の推移を見ると、2024年8月、10月、2025年2月は1泊が最多となった。その他の月は2泊が最も多い。2023年度は4月、5月、8月、9月、12月、2024年2月で1泊が最多。

短期傾向把握

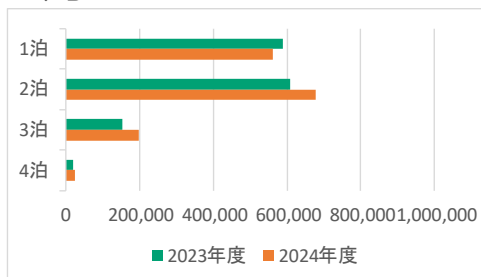
2024年度の動向を把握する

宿泊日数別 延べ宿泊者数 月別（表側を統一）

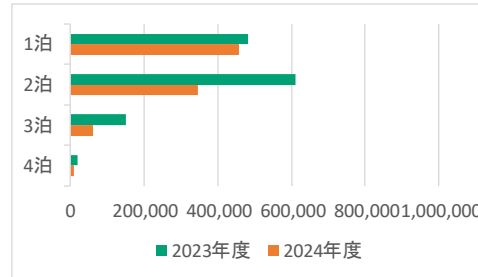
4月



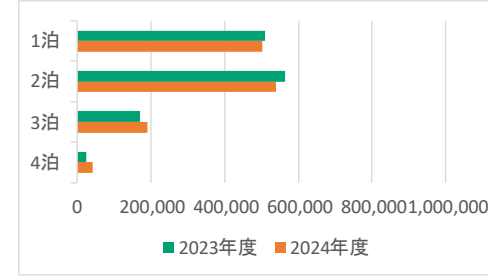
7月



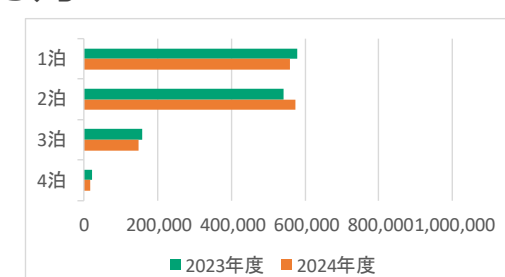
10月



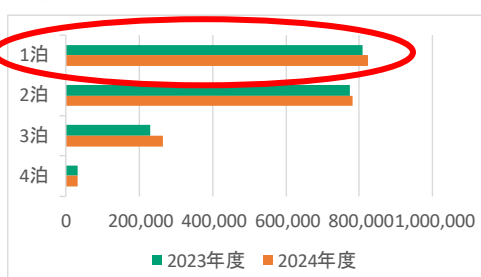
1月



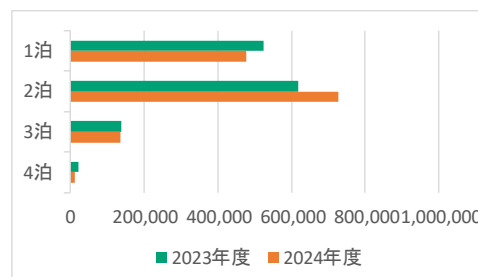
5月



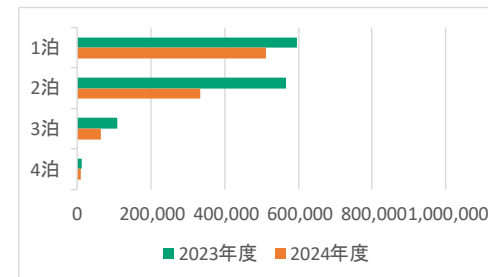
8月



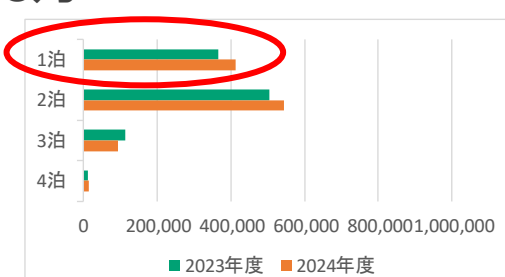
11月



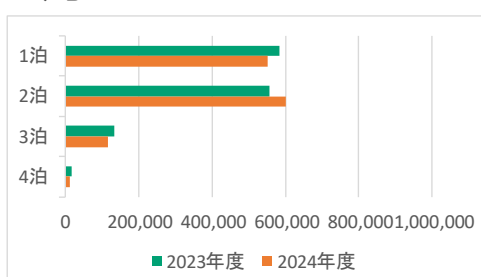
2月



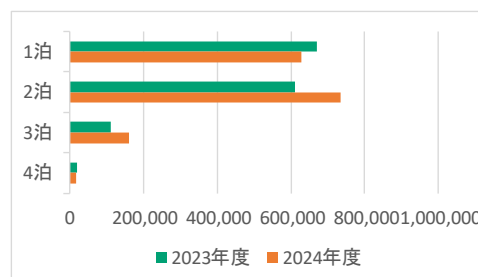
6月



9月



12月



※4月、6月、8月は前
年と比較して1泊が減
少している。

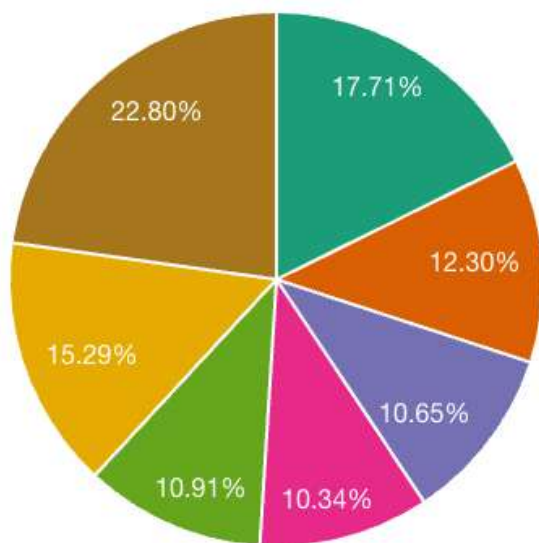
短期傾向把握

2024年度の動向を把握する

曜日別 延べ宿泊者数

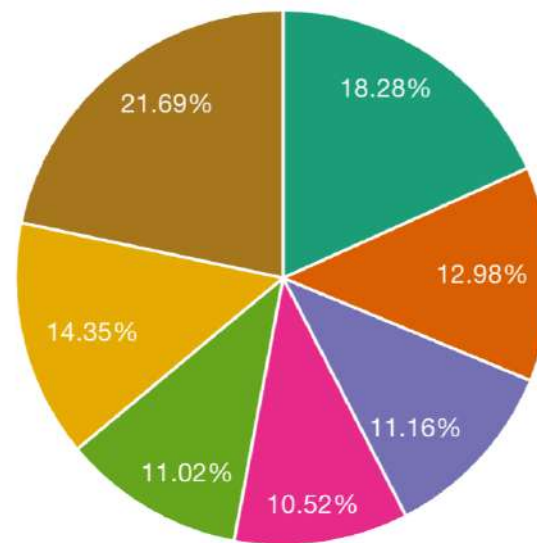
2023年4月～2024年2月

日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜



2024年4月～2025年2月

日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜



曜日別の割合で見ると、2023年度に比べて土曜の宿泊者が約1.1ポイント、金曜が約1.0ポイント減少。木曜、日曜は微増となった。

静岡県データ分析プラットフォーム（伊豆エリア全体）

発地分析（上位20位まで掲載）

2023年4月～2024年2月

発地	来訪者数	シェア
静岡県富士市	1,042,338	8.6%
静岡県静岡市清水区	904,299	7.4%
静岡県静岡市葵区	828,151	6.8%
静岡県静岡市駿河区	814,551	6.7%
静岡県富士宮市	646,408	5.3%
神奈川県藤沢市	604,897	5.0%
静岡県御殿場市	595,255	4.9%
静岡県伊東市	569,448	4.7%
神奈川県小田原市	524,392	4.3%
静岡県沼津市	457,272	3.8%
神奈川県平塚市	397,731	3.3%
東京都大田区	358,737	2.9%
神奈川県横浜市港北区	353,331	2.9%
神奈川県茅ヶ崎市	336,469	2.8%
静岡県浜松市中央区	332,761	2.7%
東京都世田谷区	321,779	2.6%
神奈川県横須賀市	286,977	2.4%
神奈川県横浜市戸塚区	267,421	2.2%
静岡県三島市	205,133	1.7%
東京都練馬区	200,568	1.6%

2024年4月～2025年2月

発地	来訪者数	シェア
静岡県富士市	1,180,788	9.2%
静岡県静岡市清水区	870,241	6.8%
静岡県静岡市葵区	868,906	6.8%
静岡県静岡市駿河区	789,599	6.2%
静岡県富士宮市	711,839	5.6%
静岡県御殿場市	677,813	5.3%
神奈川県小田原市	642,765	5.0%
神奈川県藤沢市	626,040	4.9%
静岡県伊東市	585,073	4.6%
静岡県沼津市	494,921	3.9%
静岡県浜松市中央区	464,149	3.6%
神奈川県横浜市港北区	406,716	3.2%
神奈川県茅ヶ崎市	394,075	3.1%
東京都大田区	375,399	2.9%
神奈川県平塚市	363,984	2.8%
神奈川県横浜市戸塚区	356,038	2.8%
東京都世田谷区	348,012	2.7%
神奈川県横須賀市	276,694	2.2%
静岡県藤枝市	198,943	1.6%
静岡県三島市	179,400	1.4%

コメント

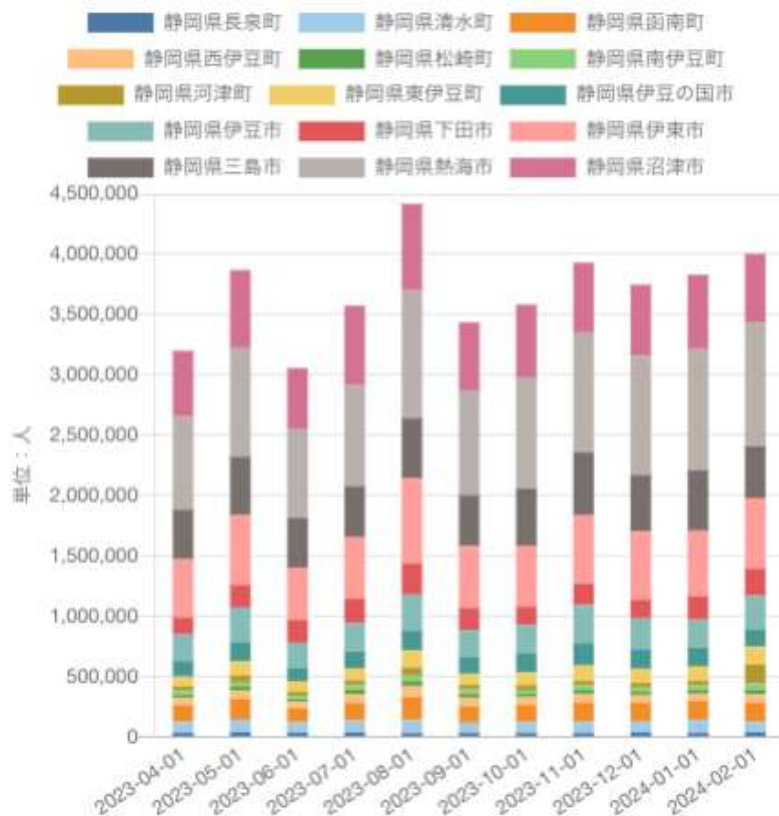
- 1～5位はそれぞれ静岡県富士市、静岡県静岡市清水区、静岡県静岡市葵区、静岡県静岡市駿河区、静岡県富士宮市で変わらず。
- 静岡県浜松市中央区が15位から11位に浮上。シェアは0.9ポイント増加した。

※前年度より来訪者数が増加している発地を青、減少している発地を赤、新たにランクインした発地を緑とした

*伊豆エリア：熱海市、沼津市、三島市、伊東市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、西伊豆町、函南町、松崎町、清水町、長泉町
※それぞれの市町におけるTOP20を合算して算出した

来訪地分析

2023年4月～2024年2月



2024年4月～2025年2月

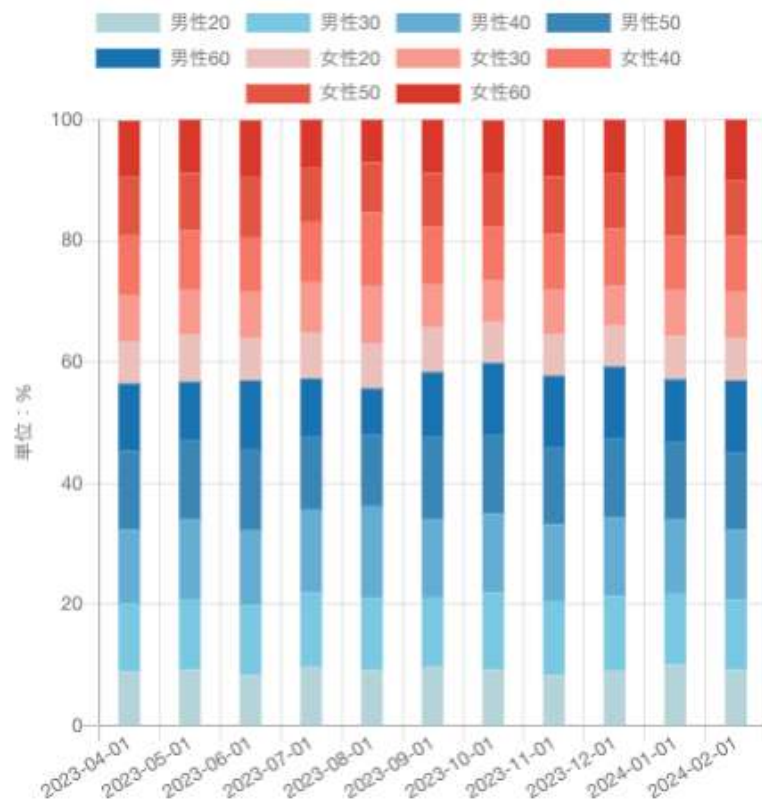


コメント

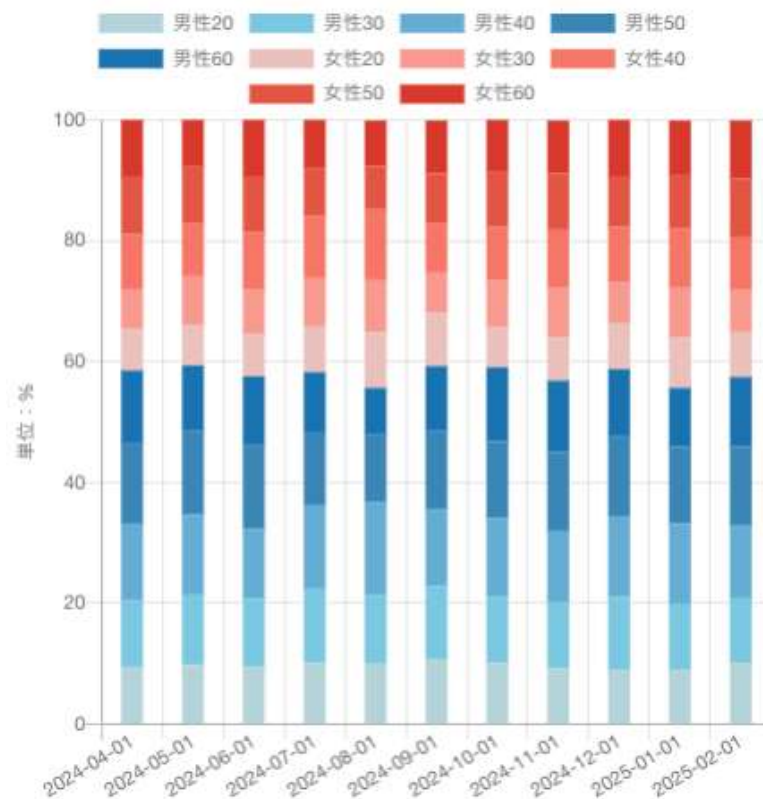
- 2024年度は8月の来訪者数が突出して多く、次いで11～2月の来訪者数が多い。
- 2023年度と比較すると、5月や8月の来訪者数が減少した。
- 一方で、4月や11～2月の来訪者数が増加している。

属性分析

2023年4月～2024年2月



2024年4月～2025年2月



コメント

- いずれの月も男性の来訪者が多い。
- 2023年度と比較すると、4月や5月、9月で男性の割合が若干増加した。
- 一方で、1月は女性の割合が若干増加している。

静岡県データ分析プラットフォーム（東伊豆エリア）

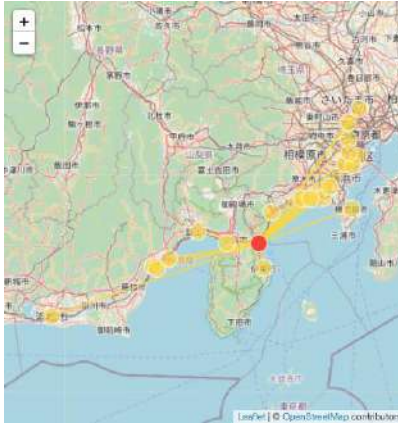
発地分析（上位10位まで掲載）

2023年4月～2024年2月

【熱海市】



発地	来訪者数	シェア
神奈川県藤沢市	190,088	7.6%
神奈川県小田原市	184,698	7.4%
静岡県沼津市	184,023	7.3%
静岡県富士市	154,488	6.2%
静岡県伊東市	139,384	5.6%
東京都世田谷区	134,048	5.4%
神奈川県平塚市	133,584	5.3%
東京都大田区	132,462	5.3%
静岡県静岡市葵区	123,705	4.8%
静岡県静岡市清水区	117,068	4.7%

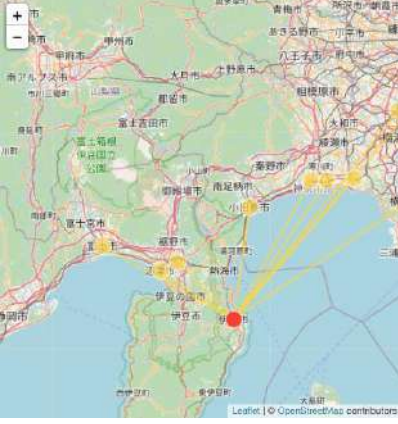


発地	来訪者数	シェア
神奈川県小田原市	226,411	8.5%
神奈川県藤沢市	199,123	7.5%
静岡県富士市	199,061	7.5%
静岡県沼津市	196,308	7.4%
神奈川県茅ヶ崎市	144,807	5.4%
東京都大田区	140,465	5.3%
静岡県伊東市	131,637	4.9%
東京都世田谷区	126,779	4.8%
神奈川県平塚市	125,053	4.7%
神奈川県横浜市戸塚区	124,373	4.7%

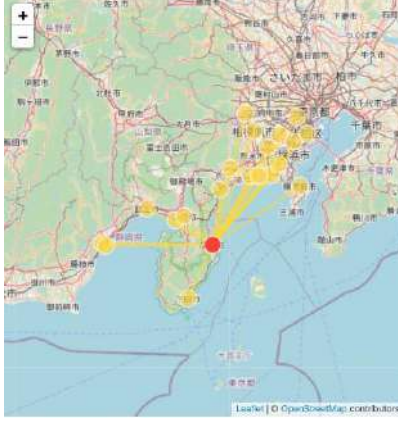
コメント

- ・神奈川県小田原市が1位に浮上した。前年度と比べて1.1ポイント割合が大きくなっている。
- ・神奈川県茅ヶ崎市、神奈川県横浜市戸塚区が新たにランクインした。

【伊東市】



発地	来訪者数	シェア
神奈川県藤沢市	111,579	8.0%
静岡県沼津市	92,685	6.6%
静岡県三島市	83,815	6.0%
神奈川県小田原市	78,479	5.6%
神奈川県平塚市	77,854	5.6%
東京都大田区	74,217	5.3%
神奈川県横須賀市	72,369	5.2%
神奈川県茅ヶ崎市	70,874	5.1%
神奈川県横浜市港北区	69,494	5.0%
静岡県富士市	68,622	4.9%



発地	来訪者数	シェア
神奈川県藤沢市	113,649	8.1%
静岡県沼津市	104,912	7.5%
神奈川県小田原市	97,311	6.9%
神奈川県茅ヶ崎市	81,154	5.8%
神奈川県横須賀市	73,418	5.2%
神奈川県平塚市	71,221	5.1%
神奈川県横浜市戸塚区	71,166	5.1%
東京都大田区	70,099	5.0%
静岡県富士市	70,064	5.0%
東京都世田谷区	67,713	4.8%

※前年度より来訪者数が増加している発地を青、減少している発地を赤、新たにランクインした発地を緑とした

- ・上位2位の順位に変化なし。
- ・前年度で3位だった静岡県三島市が、2024年度ではランク外となっている。
- ・神奈川県横浜市戸塚区、東京都世田谷区が新たにランクインした。

静岡県データ分析プラットフォーム（東伊豆エリア）

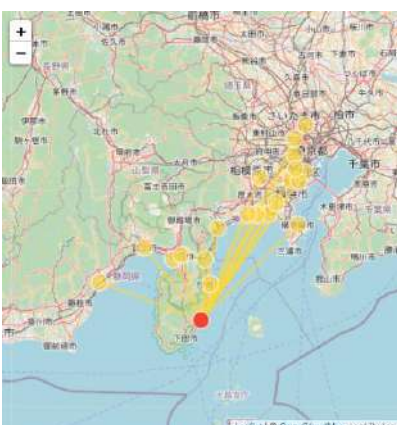
発地分析（上位10位まで掲載）

2023年4月～2024年2月

【東伊豆町】



発地	来訪者数	シェア
神奈川県藤沢市	21,210	8.0%
静岡県沼津市	19,617	7.4%
東京都大田区	18,687	7.1%
東京都世田谷区	14,521	5.5%
神奈川県横浜市青葉区	13,938	5.3%
神奈川県横浜市港北区	13,434	5.1%
静岡県三島市	12,995	4.9%
神奈川県横浜市戸塚区	12,960	4.9%
神奈川県小田原市	12,822	4.8%
神奈川県川崎市中原区	12,659	4.8%

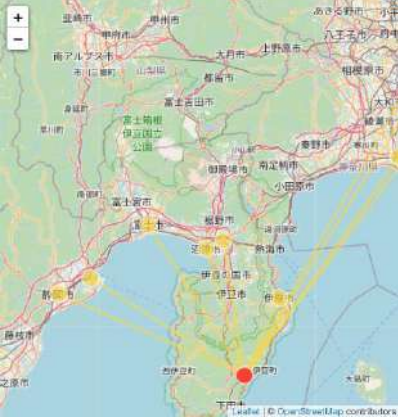


発地	来訪者数	シェア
神奈川県藤沢市	23,987	8.6%
静岡県沼津市	18,969	6.8%
静岡県熱海市	16,659	6.0%
東京都大田区	15,938	5.7%
神奈川県横浜市戸塚区	14,626	5.3%
静岡県伊東市	14,448	5.2%
東京都世田谷区	14,299	5.1%
静岡県富士市	14,222	5.1%
神奈川県茅ヶ崎市	14,211	5.1%
神奈川県平塚市	13,172	4.7%

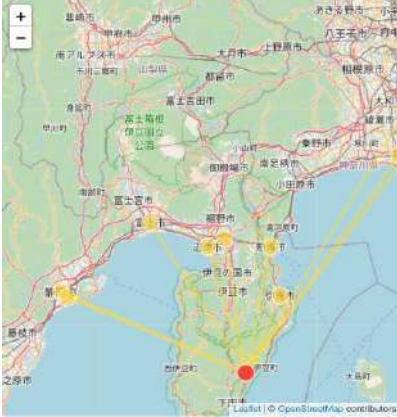
・神奈川県藤沢市が1位で変わらず。割合は前年度と比べて0.6ポイント増となった。

・熱海市、伊東市、富士市、神奈川県茅ヶ崎市、神奈川県平塚市が新たにランクインしている。

【河津町】



発地	来訪者数	シェア
静岡県伊東市	23,330	14.6%
静岡県沼津市	12,384	7.8%
神奈川県藤沢市	11,212	7.0%
東京都世田谷区	9,048	5.7%
静岡県富士市	8,381	5.3%
静岡県三島市	8,262	5.2%
静岡県静岡市清水区	7,956	5.0%
静岡県静岡市葵区	7,838	4.9%
東京都大田区	7,736	4.9%
神奈川県横浜市青葉区	6,451	4.0%



発地	来訪者数	シェア
静岡県伊東市	21,380	14.6%
静岡県沼津市	11,583	7.9%
東京都世田谷区	9,125	6.2%
神奈川県藤沢市	8,531	5.8%
静岡県三島市	7,730	5.3%
静岡県富士市	7,470	5.1%
東京都大田区	7,258	4.9%
静岡県静岡市駿河区	6,654	4.5%
静岡県静岡市葵区	6,402	4.4%
静岡県熱海市	6,257	4.3%

・上位2位の順位に変化なし。

・1～10位において、東京都世田谷区のみ来訪者数が増加した。順位は4位から3位に浮上している。

・静岡市駿河区、熱海市が新たにランクインした。

※前年度より来訪者数が増加している発地を青、減少している発地を赤、新たにランクインした発地を緑とした

静岡県データ分析プラットフォーム（中伊豆エリア）

発地分析（上位10位まで掲載）

2023年4月～2024年2月

【伊豆の国市】



発地	来訪者数	シェア
静岡県富士市	62,751	14.2%
静岡県静岡市駿河区	31,783	7.2%
静岡県静岡市清水区	28,074	6.4%
静岡県静岡市葵区	28,065	6.4%
神奈川県藤沢市	27,275	6.2%
静岡県御殿場市	25,170	5.7%
静岡県富士宮市	20,931	4.7%
神奈川県茅ヶ崎市	20,875	4.7%
神奈川県横須賀市	20,120	4.6%
東京都世田谷区	19,199	4.4%

2024年4月～2025年2月

コメント

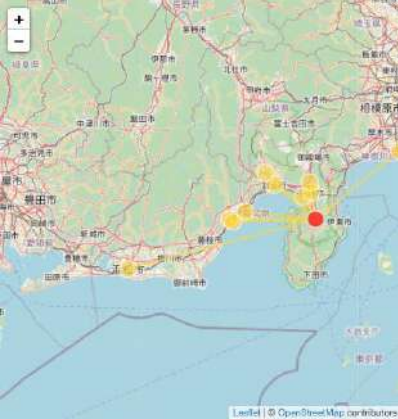


発地	来訪者数	シェア
静岡県富士市	58,283	12.6%
静岡県静岡市清水区	36,088	7.8%
静岡県静岡市葵区	32,930	7.1%
静岡県静岡市駿河区	28,458	6.2%
神奈川県藤沢市	27,331	5.9%
静岡県富士宮市	25,295	5.5%
神奈川県小田原市	25,081	5.4%
神奈川県横須賀市	23,746	5.1%
静岡県浜松市中央区	22,305	4.8%
静岡県御殿場市	21,563	4.7%

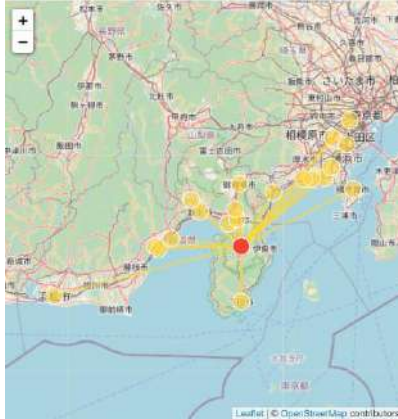
・1位は静岡県富士市で変化なし。割合は1.6ポイント減少した。
・静岡県静岡市駿河区が2位から4位に下落した。割合は1.0ポイント減となっている。

※前年度より来訪者数が増加している発地を青、減少している発地を赤、新たにランクインした発地を緑とした

【伊豆市】



発地	来訪者数	シェア
静岡県沼津市	84,128	10.7%
静岡県富士市	78,845	10.0%
静岡県静岡市清水区	54,525	6.9%
静岡県静岡市葵区	54,347	6.9%
静岡県三島市	53,726	6.8%
静岡県静岡市駿河区	50,986	6.5%
神奈川県藤沢市	40,409	5.1%
静岡県富士宮市	33,720	4.3%
静岡県裾野市	32,125	4.1%
静岡県浜松市中央区	31,815	4.0%



発地	来訪者数	シェア
静岡県沼津市	92,523	11.5%
静岡県富士市	87,653	10.9%
静岡県静岡市清水区	55,980	7.0%
静岡県静岡市葵区	52,770	6.6%
静岡県三島市	49,702	6.2%
静岡県静岡市駿河区	48,113	6.0%
神奈川県藤沢市	41,889	5.2%
静岡県富士宮市	38,894	4.8%
静岡県浜松市中央区	33,690	4.2%
神奈川県小田原市	30,328	3.8%

・上位8位の順位に変化なし。
・1位の静岡県沼津市は、前年度と比べて0.8ポイント割合が増加した。
・神奈川県小田原市が新たにランクインしている。

発地分析（上位10位まで掲載）

2023年4月～2024年2月

【三島市】



発地	来訪者数	シェア
静岡県富士市	218,679	20.3%
静岡県静岡市駿河区	150,761	14.0%
静岡県静岡市葵区	144,676	13.4%
静岡県静岡市清水区	115,661	10.7%
静岡県浜松市中央区	96,659	9.0%
神奈川県小田原市	81,583	7.6%
静岡県富士宮市	81,022	7.5%
静岡県伊東市	77,881	7.2%
神奈川県横浜市港北区	57,829	5.4%
神奈川県藤沢市	52,232	4.8%

2024年4月～2025年2月



発地	来訪者数	シェア
静岡県富士市	268,560	22.1%
静岡県静岡市葵区	139,667	11.5%
静岡県静岡市駿河区	131,536	10.8%
静岡県静岡市清水区	131,222	10.8%
静岡県浜松市中央区	125,949	10.4%
静岡県富士宮市	105,403	8.7%
神奈川県小田原市	101,549	8.4%
静岡県伊東市	81,623	6.7%
神奈川県横浜市港北区	65,607	5.4%
静岡県御殿場市	62,093	5.1%

コメント

・1位は富士市で変化なし。割合は1.8ポイント増加した。
・概ねいずれの発地からの来訪者数も増加した。静岡市葵区および駿河区は減少している。

【函南町】



発地	来訪者数	シェア
静岡県富士市	58,156	16.7%
神奈川県藤沢市	40,045	11.5%
静岡県静岡市葵区	39,231	11.3%
静岡県静岡市清水区	39,054	11.2%
静岡県静岡市駿河区	30,939	8.9%
神奈川県小田原市	30,927	8.9%
神奈川県平塚市	29,746	8.5%
神奈川県横浜市戸塚区	27,516	7.9%
神奈川県茅ヶ崎市	27,311	7.8%
静岡県御殿場市	25,668	7.4%



発地	来訪者数	シェア
静岡県富士市	57,571	14.9%
神奈川県藤沢市	44,938	11.6%
静岡県御殿場市	43,569	11.3%
静岡県静岡市葵区	42,647	11.0%
静岡県静岡市清水区	40,030	10.4%
神奈川県茅ヶ崎市	34,567	8.9%
静岡県静岡市駿河区	32,364	8.4%
神奈川県小田原市	31,527	8.2%
神奈川県平塚市	30,377	7.9%
神奈川県横浜市戸塚区	28,881	7.5%

※前年度より来訪者数が増加している発地を青、減少している発地を赤、新たにランクインした発地を緑とした

・上位2位の順位に変化なし。
・1位の静岡県富士市は、前年度と比べて1.8ポイント割合が減少した。
・2～10位の発地は、いずれも来訪者数が増加している。

静岡県データ分析プラットフォーム（南伊豆エリア）

発地分析（上位10位まで掲載）

2023年4月～2024年2月

【南伊豆町】



発地	来訪者数	シェア
静岡県東伊豆町	7,098	7.6%
神奈川県藤沢市	6,145	6.6%
東京都八王子市	5,181	5.6%
静岡県三島市	5,076	5.5%
神奈川県横浜市港北区	5,066	5.5%
静岡県静岡市葵区	4,996	5.4%
静岡県沼津市	4,911	5.3%
静岡県伊豆の国市	4,838	5.2%
静岡県伊東市	4,785	5.2%
静岡県静岡市駿河区	4,455	4.8%



発地	来訪者数	シェア
神奈川県藤沢市	7,512	8.3%
沖縄県恩納村	5,945	6.5%
静岡県三島市	5,875	6.5%
静岡県静岡市葵区	5,777	6.4%
神奈川県大和市	5,377	5.9%
静岡県沼津市	5,357	5.9%
神奈川県相模原市中央区	4,941	5.4%
東京都世田谷区	4,453	4.9%
神奈川県横浜市戸塚区	4,291	4.7%
東京都大田区	4,254	4.7%

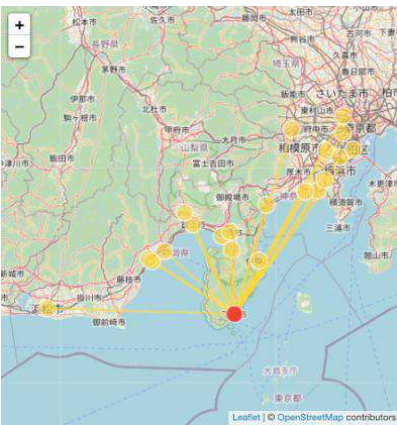
コメント

- ・神奈川県藤沢市が2位から1位に浮上した。割合は1.7ポイント増となっている。
- ・前年度でランク外だった沖縄県恩納村が2位にランクインした。

【下田市】



発地	来訪者数	シェア
静岡県伊東市	41,502	8.8%
静岡県沼津市	36,915	7.9%
神奈川県藤沢市	33,072	7.1%
静岡県富士市	27,152	5.8%
東京都世田谷区	26,998	5.8%
静岡県三島市	25,609	5.5%
神奈川県横浜市港北区	23,257	5.0%
静岡県静岡市葵区	22,854	4.9%
東京都大田区	22,701	4.8%
静岡県静岡市駿河区	21,978	4.7%



発地	来訪者数	シェア
静岡県伊東市	52,931	10.4%
静岡県沼津市	42,747	8.4%
神奈川県藤沢市	32,992	6.5%
東京都世田谷区	28,323	5.5%
静岡県静岡市葵区	28,158	5.5%
静岡県富士市	27,795	5.4%
東京都大田区	24,818	4.9%
静岡県静岡市駿河区	24,258	4.7%
静岡県三島市	23,806	4.7%
静岡県静岡市清水区	23,339	4.6%

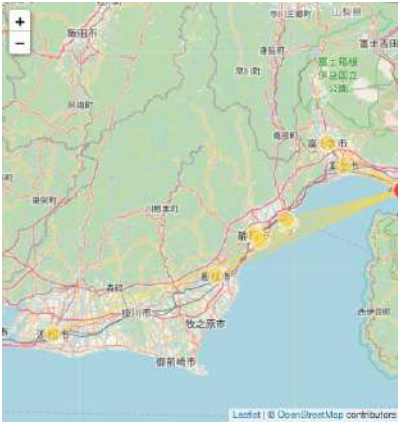
※前年度より来訪者数が増加している発地を青、減少している発地を赤、新たにランクインした発地を緑とした

- ・上位3位の順位に変化なし。
- ・1位の静岡県伊東市は、前年度と比べて1.6ポイント割合が増加した。
- ・静岡県静岡市清水区が新たにランクインしている。

発地分析（上位10位まで掲載）

2023年4月～2024年2月

【沼津市】



発地	来訪者数	シェア
静岡県富士宮市	402,595	13.5%
静岡県静岡市清水区	380,518	12.8%
静岡県御殿場市	341,960	11.5%
静岡県静岡市駿河区	294,773	9.9%
静岡県静岡市葵区	291,750	9.8%
静岡県富士市	217,570	7.3%
静岡県伊東市	171,959	5.8%
静岡県藤枝市	108,194	3.6%
静岡県浜松市中央区	97,871	3.3%
静岡県小山町	96,725	3.3%

2024年4月～2025年2月

コメント

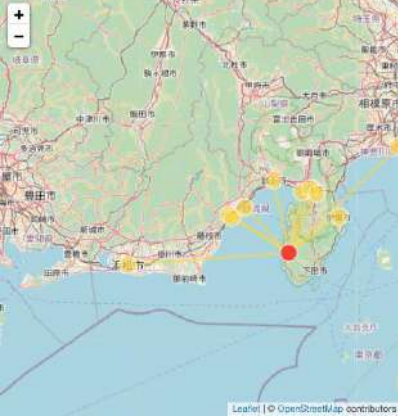


発地	来訪者数	シェア
静岡県富士宮市	420,191	13.6%
静岡県静岡市清水区	399,602	12.9%
静岡県御殿場市	368,403	11.9%
静岡県静岡市葵区	310,402	10.0%
静岡県静岡市駿河区	288,521	9.3%
静岡県富士市	250,342	8.1%
静岡県伊東市	182,300	5.9%
静岡県藤枝市	117,354	3.8%
静岡県焼津市	98,303	3.2%
静岡県浜松市中央区	92,785	3.0%

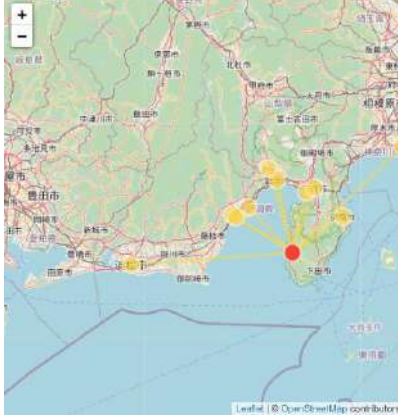
・上位3位の順位に変化なし。
・来訪者数は概ね増加傾向となっている。静岡市駿河区、浜松市中央区は来訪者数が減少した。

※前年度より来訪者数が増加している発地を青、減少している発地を赤、新たにランクインした発地を緑とした

【西伊豆町】



発地	来訪者数	シェア
静岡県富士市	15,736	8.2%
静岡県沼津市	14,796	7.7%
静岡県静岡市清水区	14,618	7.6%
静岡県静岡市葵区	11,970	6.2%
静岡県静岡市駿河区	11,924	6.2%
静岡県伊東市	11,399	5.9%
静岡県三島市	10,828	5.6%
神奈川県藤沢市	10,118	5.2%
静岡県函南町	8,627	4.5%
静岡県浜松市中央区	8,439	4.4%



発地	来訪者数	シェア
静岡県富士市	21,655	11.5%
静岡県沼津市	14,653	7.8%
静岡県三島市	12,084	6.4%
静岡県静岡市清水区	11,946	6.4%
静岡県静岡市葵区	11,730	6.3%
静岡県浜松市中央区	10,327	5.5%
静岡県富士宮市	10,051	5.4%
静岡県伊東市	9,376	5.0%
静岡県静岡市駿河区	9,052	4.8%
神奈川県藤沢市	8,863	4.7%

・上位2位の順位に変化なし。
・1位の静岡県富士市は、前年度から3.3ポイント増となっている。
・静岡県富士宮市、神奈川県藤沢市が新たにランクインした。

発地分析（上位10位まで掲載）

2023年4月～2024年2月

【松崎町】



発地	来訪者数	シェア
静岡県静岡市葵区	8,183	8.4%
静岡県静岡市駿河区	7,939	8.1%
静岡県沼津市	7,813	8.0%
静岡県富士市	7,665	7.9%
静岡県静岡市清水区	6,709	6.9%
東京都町田市	5,979	6.1%
静岡県三島市	4,822	4.9%
静岡県伊東市	4,807	4.9%
神奈川県藤沢市	4,667	4.8%
神奈川県横浜市港南区	4,232	4.3%



発地	来訪者数	シェア
静岡県静岡市葵区	13,363	12.9%
静岡県沼津市	7,869	7.6%
静岡県静岡市清水区	6,840	6.6%
静岡県富士市	6,804	6.6%
静岡県伊豆の国市	6,675	6.5%
静岡県三島市	5,902	5.7%
静岡県伊東市	5,864	5.7%
静岡県静岡市駿河区	4,962	4.8%
神奈川県藤沢市	4,366	4.2%
神奈川県横浜市鶴見区	4,081	4.0%

コメント

- 静岡県静岡市葵区が変わらず1位となった。割合は、前年度と比べて4.5ポイント割合が増加した。
- 静岡県伊豆の国市や神奈川県横浜市鶴見区が新たにランクインしている。

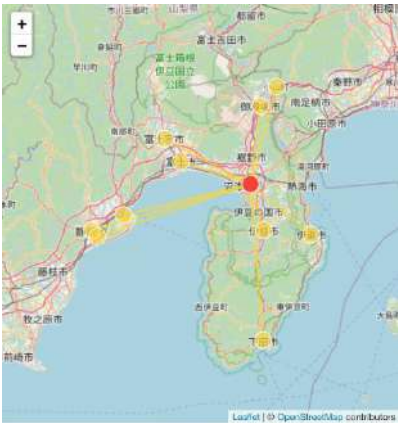
※前年度より来訪者数が増加している発地を青、減少している発地を赤、新たにランクインした発地を緑とした

静岡県データ分析プラットフォーム（清水町・長泉町）

発地分析（上位10位まで掲載）

2023年4月～2024年2月

【清水町】



発地	来訪者数	シェア
静岡県御殿場市	126,938	22.5%
静岡県富士市	100,721	17.8%
静岡県伊東市	89,211	15.8%
静岡県富士宮市	54,528	9.7%
静岡県静岡市清水区	38,680	6.8%
静岡県下田市	36,829	6.5%
静岡県静岡市駿河区	32,309	5.7%
静岡県小山町	29,350	5.2%
静岡県静岡市葵区	28,891	5.1%
静岡県伊豆市	27,247	4.8%

2024年4月～2025年2月

コメント



発地	来訪者数	シェア
静岡県御殿場市	146,316	26.4%
静岡県富士市	95,765	17.3%
静岡県伊東市	82,070	14.8%
静岡県富士宮市	50,091	9.0%
静岡県下田市	33,476	6.0%
静岡県静岡市駿河区	33,192	6.0%
静岡県静岡市清水区	30,076	5.4%
静岡県伊豆市	29,403	5.3%
静岡県小山町	28,199	5.1%
静岡県静岡市葵区	26,319	4.7%

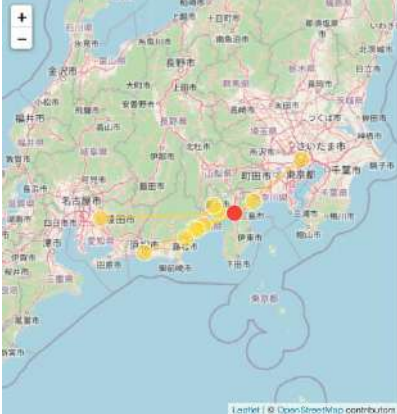
・上位4位の順位に変化なし。
・御殿場市、静岡市駿河区、伊豆市を除いていずれの発地からの来訪者も減少した。

※前年度より来訪者数が増加している発地を青、減少している発地を赤、新たにランクインした発地を緑とした

【長泉町】



発地	来訪者数	シェア
静岡県静岡市清水区	12,186	17.3%
静岡県富士宮市	8,719	12.3%
東京都台東区	8,593	12.2%
静岡県富士市	7,629	10.8%
静岡県静岡市駿河区	6,559	9.3%
静岡県静岡市葵区	6,210	8.8%
静岡県藤枝市	5,813	8.2%
静岡県浜松市中央区	5,446	7.7%
静岡県伊東市	5,190	7.3%
静岡県焼津市	4,292	6.1%



発地	来訪者数	シェア
静岡県浜松市中央区	16,884	21.6%
静岡県富士市	12,054	15.4%
静岡県静岡市清水区	9,060	11.6%
静岡県静岡市葵区	8,922	11.4%
静岡県藤枝市	8,290	10.6%
神奈川県小田原市	5,138	6.6%
静岡県静岡市駿河区	5,053	6.4%
愛知県豊田市	4,436	5.7%
東京都台東区	4,410	5.6%
静岡県富士宮市	4,095	5.2%

・浜松市中央区が1位に浮上した。前年度から13.9ポイント増となっている。
・神奈川県小田原市や愛知県豊田市が新たにランクインした。

静岡県データ分析プラットフォーム（伊豆エリア）（まとめ）

【宿泊者の性別】

- 男女比では女性が50.5%となっており、男性を約10.1ポイント上回っている。
- 2023年度と比較すると、女性の割合が0.7ポイント減少した。

【宿泊者の年齢層】

- 宿泊者数を年代別に見ると、60代が最も多く、次いで50代、40代の順となっている。
- 2024年度は、2023年度と比較して60代の割合が2.6ポイント増加した。

【宿泊者の居住地】

- 宿泊者の居住都道府県では東京都がトップとなっており、神奈川県、埼玉県と続く。
- 1～10位は、2023年度と同じ順位となった。

【旅行形態】

- 旅行形態別では、2023年度と同じく夫婦、男女ペアが最多で、次いで男女グループ、家族（子供連れ）の順となった。
- 旅行形態別の月別推移では、2023年度と同じく4～6月、9～11月、2月で夫婦・男女ペアが、7～8月で家族（子供連れ）が、12月、1月で男女グループがそれぞれ最多となった。

【宿泊日数・曜日別】

- 宿泊日数別宿泊者数の推移を見ると、2024年8月、10月、2025年2月は1泊が最多となった。その他の月は2泊が最も多い。2023年度は4月、5月、8月、9月、12月、2024年2月で1泊が最多。
- 曜日別の割合で見ると、2024年度は2023年度に比べて土曜の宿泊者が約1.1ポイント、金曜が約1.0ポイント減少。木曜、日曜は微増となった。

【人流】

- 伊豆エリア全体における発地は、2023年度と2024年度で1～5位が変わらず。
- 南伊豆町・東伊豆町では、2023年度と比較して来訪者発地TOP10の変化が激しい。函南町では富士市以外のTOP10は全て対前年で増加。
- 全般的に伊豆半島東部は神奈川県・東京都もTOP10に含まれる割合が高く、西伊豆、中伊豆では、沼津市・富士市などからの来訪者の割合が高い。清水町・長泉町も県内からの来訪者が多くを占めている。

- データプラットフォームにおける宿泊者数は2022年から増加傾向にある。属性・動向においては人流ともに前年同期と比べて大きな変化は見られない。コロナ後の伊豆半島来訪観光客の観光動態・スタイルの一層の定着がうかがえる。一方、市町別で見た場合には来訪動向に特徴が出ており、南伊豆・東伊豆町では来訪者の発地TOP10が大きく入れ替わっていること、下田市・函南町でTOP10の多くが前年比増となっていることが挙げられる。
- データプラットフォームで定量的な数値のモニタリングを行いながら、並行して観光消費額や消費傾向など質的な面をアンケート調査等で確認し、量と質の両面から動向を把握し、持続可能な観光に向けた課題抽出や機会の発見を行っていくことが引き続き重要。